

注3

大学番号：私277

[平成29年度設置]

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

九州産業大学 理工学部

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人中村産業学園

令和元年5月1日現在

### 作成担当者

#### 担当部局（課）名

職名・氏名 ソウムブチョウ 総務部長 タニザキ 谷崎 カネミツ 金光

電話番号 092-673-5511

（夜間） 092-673-5255

F A X 092-673-5599

e-mail somu@m1.kyusan-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 理工学部

< 情報科学科 >	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	22
4. 既設大学等の状況	24
5. 教員組織の状況	28
6. 附帯事項等に対する履行状況等	78
7. その他全般的事項	82

< 機械工学科 >	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	89
2. 授業科目の概要	93
3. 施設・設備の整備状況、経費	109
4. 既設大学等の状況	111
5. 教員組織の状況	115
6. 附帯事項等に対する履行状況等	162
7. その他全般的事項	166

< 電気工学科 >	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	173
2. 授業科目の概要	177
3. 施設・設備の整備状況、経費	195
4. 既設大学等の状況	197
5. 教員組織の状況	201
6. 附帯事項等に対する履行状況等	248
7. その他全般的事項	252

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人中村産業学園

## (2) 大学名

九州産業大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒813-8503

福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	仔地 秋久 一ノ瀬 秋久 平成23年3月		
学長	山本 盤 男 平成22年12月	榊 泰 輔 平成30年4月	任期満了のため 平成30年4月1日 (30)
学部長	鶴田 和 寛 平成29年4月		
学科長等	田中 康 一 郎 平成29年4月	石田 健 一 平成30年4月	任期満了のため 平成30年4月1日 (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
理工学部 情報科学科 学士（情報科学）	理学関係	4年	140人	— 年次人	560人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	140人 (—) [若干名]	— (—) [—]	140人 (—) [若干名]	— (—) [—]	140人 (—) [若干名]	140人 (—) [4]	1.05倍	—	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	741 (—) [5]	— (—) [—]	818 (—) [10]	— (—) [—]	913 (—) [10]	— (—) [—]			
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	739 (—) [5]	— (—) [—]	800 (—) [9]	— (—) [—]	903 (—) [9]	— (—) [—]			
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	404 (—) [3]	— (—) [—]	431 (—) [3]	— (—) [—]	428 (—) [5]	— (—) [—]			
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	143 (—) [3]	— (—) [—]	155 (—) [2]	— (—) [—]	146 (—) [5]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	—		—		1.02		1.10		1.04				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次					143 [ 3 ] (-)	- [ - ] (-)	155 [ 2 ] (-)	- [ - ] (-)	146 [ 5 ] (-)	- [ - ] (-)	(令和元年度) ・3年次に編入学1人、3年次に転学部1人を含む。また、他学部への転出1人(2年次)を除く。
2年次							136 [ 2 ] (-)	- [ - ] (-)	151 [ 2 ] (-)	- [ - ] (-)	
3年次									131 [ 2 ] (-)	- [ - ] (-)	
4年次											
計					143 [ 3 ] ( - )		291 [ 4 ] ( - )		428 [ 9 ] ( - )		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	- 人	- 人	平成27年度	- 人	- 人	-
平成28年度	-	-	平成27年度	- 人	- 人	-
			平成28年度	- 人	- 人	-
平成29年度	143 人	5 人	平成27年度	- 人	- 人	-
			平成28年度	- 人	- 人	-
			平成29年度	5 人	1 人	・修学意欲の低下(1人)、学力不足(1人)、除籍(3人)
平成30年度	291 人	3 人	平成27年度	- 人	- 人	-
			平成28年度	- 人	- 人	-
			平成29年度	3 人	0 人	・修学意欲の低下(1人)、就職(1人)、経済的事情(1人)
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	428 人	10 人	平成27年度	- 人	- 人	-
			平成28年度	- 人	- 人	-
			平成29年度	7 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(2名)、成績不振(2人)、修学意欲の低下(1人)、就職(1人)、除籍(1人)
			平成30年度	3 人	0 人	・成績不振(1名)、就職(1人)、除籍(1人)
			令和元年度	0 人	0 人	-
合計		18 人		18 人	1 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)  
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。  
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。  
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{143} = \boxed{3.49} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{291} = \boxed{1.03} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{10}{428} = \boxed{2.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。













卒業要件及び履修方法

専門必修科目40単位（共通必修28単位、コース必修12単位）、専門選択科目48単位、基礎教育科目導入科目2単位、基礎教育科目実践科目、教養科目及び心と身体の健康科目から12単位、外国語科目から英語8単位以上を含む10単位、専門科目、基礎教育科目、外国語科目から12単位、合計124単位以上を修得すること。（履修登録の上限：48単位（年間））

（情報数理コース）

※専門必修科目＝40単位

（理工学領域共通から2科目4単位、学部共通から3科目6単位、専門基礎から3科目6単位、情報数理から4科目8単位、計算機科学から3科目6単位、実践力育成から2科目4単位、卒業研究から1科目6単位）

（情報技術コース）

※専門必修科目＝40単位

（理工学領域共通から2科目4単位、学部共通から1科目2単位、専門基礎から3科目6単位、計算機科学から9科目18単位、実践力育成から2科目4単位、卒業研究から1科目6単位）

卒業要件及び履修方法

専門必修科目40単位（共通必修28単位、コース必修12単位）、専門選択科目48単位、基礎教育科目導入科目2単位、基礎教育科目実践科目、教養科目及び心と身体の健康科目から12単位、外国語科目から英語8単位以上を含む10単位、専門科目、基礎教育科目、外国語科目から12単位、合計124単位以上を修得すること。（履修登録の上限：48単位（年間））

（情報数理コース）

※専門必修科目＝40単位

（理工学領域共通から2科目4単位、学部共通から3科目6単位、専門基礎から3科目6単位、情報数理から4科目8単位、計算機科学から3科目6単位、実践力育成から2科目4単位、卒業研究から1科目6単位）

（情報技術コース）

※専門必修科目＝40単位

（理工学領域共通から2科目4単位、学部共通から1科目2単位、専門基礎から3科目6単位、計算機科学から9科目18単位、実践力育成から2科目4単位、卒業研究から1科目6単位）













卒業要件及び履修方法

専門必修科目 40 単位（共通必修 28 単位、コース必修 12 単位）、  
 専門選択科目 48 単位、基礎教育科目導入科目 2 単位、基礎教育科目実  
 践科目、教養科目及び心と身体の健康科目から 12 単位、外国語科目か  
 ら英語 8 単位以上を含む 10 単位、専門科目、基礎教育科目、外国語科  
 目から 12 単位、合計 124 単位以上を修得すること。（履修登録の上  
 限：48 単位（年間））

（情報数理コース）

※専門必修科目 = 40 単位

（理工学領域共通から 2 科目 4 単位、学部共通から 3 科目 6 単位、専門  
 基礎から 3 科目 6 単位、情報数理から 4 科目 8 単位、計算機科学から 3  
 科目 6 単位、実践力育成から 2 科目 4 単位、卒業研究から 1 科目 6 単位

（情報技術コース）

※専門必修科目 = 40 単位

（理工学領域共通から 2 科目 4 単位、学部共通から 1 科目 2 単位、専門  
 基礎から 3 科目 6 単位、計算機科学から 9 科目 18 単位、実践力育成か  
 ら 2 科目 4 単位、卒業研究から 1 科目 6 単位）

卒業要件及び履修方法

専門必修科目 40 単位（共通必修 28 単位、コース必修 12 単位）、  
 専門選択科目 48 単位、基礎教育科目導入科目 2 単位、基礎教育科目実  
 践科目、教養科目及び心と身体の健康科目から 12 単位、外国語科目か  
 ら英語 8 単位以上を含む 10 単位、専門科目、基礎教育科目、外国語科  
 目から 12 単位、合計 124 単位以上を修得すること。（履修登録の上  
 限：48 単位（年間））

（情報数理コース）

※専門必修科目 = 40 単位

（理工学領域共通から 2 科目 4 単位、学部共通から 3 科目 6 単位、専門  
 基礎から 3 科目 6 単位、情報数理から 4 科目 8 単位、計算機科学から 3  
 科目 6 単位、実践力育成から 2 科目 4 単位、卒業研究から 1 科目 6 単位

（情報技術コース）

※専門必修科目 = 40 単位

（理工学領域共通から 2 科目 4 単位、学部共通から 1 科目 2 単位、専門  
 基礎から 3 科目 6 単位、計算機科学から 9 科目 18 単位、実践力育成か  
 ら 2 科目 4 単位、卒業研究から 1 科目 6 単位）

- （注）
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
  - ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。  
 （2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・専任教員就任辞退に伴う担当者の変更「離散数学Ⅰ」
- ・専任教員就任辞退に伴う担当者の変更「離散数学Ⅱ」
- ・専任教員就任辞退に伴う担当者の変更「離散数学Ⅲ」
- ・専任教員就任辞退に伴う担当者の変更「ベクトル解析」
- ・専任教員就任辞退に伴う担当者の変更「初等幾何学」
- ・専任教員就任辞退に伴う担当者の変更「統計学」
- ・専任教員就任辞退に伴う担当者の変更「複素解析」
- ・専任教員就任辞退に伴う担当者の変更「微分幾何学Ⅰ」
- ・専任教員就任辞退に伴う担当者の変更「微分幾何学Ⅱ」
- ・専任教員就任辞退に伴う担当者の変更「位相幾何学Ⅰ」
- ・専任教員就任辞退に伴う担当者の変更「位相幾何学Ⅱ」
- ・専任教員就任辞退に伴う担当者の変更「位相空間論」
- ・時間割編成において開講期別の追加「実用国語Ⅰ（文章力）」
- ・時間割編成において開講期別の追加「実践キャリア演習A」
- ・時間割編成において開講期別の追加「数学の世界」
- ・時間割編成において開講期別の変更「現代の経営」
- ・時間割編成において開講期別の変更「Professional Writing Skills」
- ・時間割編成において開講期別の変更「Introduction to Translation」
- ・時間割編成において開講期別の変更「Writing for Specific Purposes」
- ・時間割編成において担当者の追加「キャリア形成基礎論」
- ・時間割編成において担当者の追加「数理的教養Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の追加「数理的教養Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の追加「実践キャリア演習B」
- ・時間割編成において担当者の追加「実践力育成演習B」
- ・時間割編成において担当者の追加「日本の歴史」
- ・時間割編成において担当者の追加「法学」
- ・時間割編成において担当者の追加「日本国憲法」
- ・時間割編成において担当者の追加「現代の政治」
- ・時間割編成において担当者の追加「文学の世界」
- ・時間割編成において担当者の追加「教養講座」
- ・時間割編成において担当者の追加「スポーツ科学演習」
- ・時間割編成において担当者の追加「Reading & WritingⅠ」
- ・時間割編成において担当者の追加「Reading & WritingⅡ」
- ・時間割編成において担当者の追加「Listening & SpeakingⅠ」
- ・時間割編成において担当者の追加「Listening & SpeakingⅡ」
- ・時間割編成において担当者の追加「ドイツ語Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の追加「ドイツ語Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の追加「ドイツ語会話Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の追加「ドイツ語会話Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の追加「フランス語Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の追加「フランス語会話Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の追加「韓国語Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の追加「韓国語会話Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の追加「中国語Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の追加「日本語初級Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の追加「日本語初級Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の追加及び開講期別の追加「実用国語Ⅱ（国語力）」
- ・時間割編成において担当者の追加及び開講期別の追加「学生ボランティア入門」
- ・時間割編成において担当者の追加及び開講期別の追加「実践キャリア学修B」
- ・時間割編成において担当者の追加及び開講期別の追加「実践力育成演習A」
- ・時間割編成において担当者の追加及び開講期別の追加「English Expressions」
- ・時間割編成において担当者の追加及び開講期別の追加「Overseas Job Training」
- ・時間割編成において担当者の追加及び開講期別の変更「Domestic Job Training」
- ・時間割編成において担当者の追加及び開講期別の変更「フランス語Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の追加及び開講期別の変更「フランス語会話Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の追加及び開講期別の変更「韓国語会話Ⅱ」

- ・時間割編成において担当者の追加及び開講期別の変更「中国語Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の追加及び開講期別の変更「中国語会話Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者的変更「世界の歴史」
- ・時間割編成において担当者的変更「倫理学」
- ・時間割編成において担当者的変更「心理学概説」
- ・時間割編成において担当者的変更「科学の世界」
- ・時間割編成において担当者的変更「地理の世界」
- ・時間割編成において担当者的変更「心の健康」
- ・時間割編成において担当者的変更「Four SkillsⅠ」
- ・時間割編成において担当者的変更「Four SkillsⅡ」
- ・時間割編成において担当者的変更「Labo TrainingⅠ」
- ・時間割編成において担当者的変更「Labo TrainingⅡ」
- ・時間割編成において担当者的変更「日本語初級Ⅲ」
- ・時間割編成において担当者的変更「日本語初級Ⅳ」
- ・時間割編成において担当者的変更及び開講期別の変更「九産大力」
- ・時間割編成において担当者的変更及び開講期別の変更「実践キャリア学修A」
- ・時間割編成において担当者的変更及び開講方法の変更「アートスクール」

### 【平成30年度】

- ・専任教員の学長就任に伴う科目担当者的変更「九州学」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置人数の変更「プログラミング基礎Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者的追加「基礎物理」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置人数の変更「プログラミング演習Ⅰ（モバイルアプリ）」
- ・時間割編成において担当者的変更「キャリア開発論」
- ・時間割編成において担当者的変更「キャリア形成戦略」
- ・時間割編成において担当者的変更「実用国語Ⅰ（文章力）」
- ・時間割編成において担当者的変更「実用国語Ⅱ（国語力）」
- ・時間割編成において担当者的変更「実用国語Ⅲ（伝達力）」
- ・時間割編成において担当者的変更「実用国語Ⅳ（表現力）」
- ・時間割編成において担当者的変更「数理的教養Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者的変更「数理的教養Ⅲ」
- ・時間割編成において開講期別の追加「九産大力」
- ・時間割編成において担当者的変更「学生ボランティア入門」
- ・時間割編成において担当者的変更「実践キャリア学修A」
- ・時間割編成において担当者的変更「実践キャリア演習A」
- ・時間割編成において担当者及び開講期別の変更「実践キャリア演習B」
- ・時間割編成において担当者的変更「実践力育成演習A」
- ・時間割編成において担当者的変更「実践力育成演習B」
- ・時間割編成において担当者的変更「世界の歴史」
- ・時間割編成において担当者的変更「法学」
- ・時間割編成において担当者的変更「文学の世界」
- ・時間割編成において担当者的変更「心理学概説」
- ・時間割編成において担当者的変更「科学の世界」
- ・時間割編成において開講期別の変更「アートスクール」
- ・時間割編成において担当者的変更「教養講座」
- ・時間割編成において担当者的変更「総合講座A」
- ・時間割編成において担当者的変更「総合講座B」
- ・時間割編成において担当者的変更「総合講座C」
- ・時間割編成において担当者的変更「総合講座D」
- ・時間割編成において担当者的変更「スポーツ科学演習」
- ・時間割編成において担当者及び開講期別の変更「心の健康」
- ・時間割編成において担当者的変更「健康学」
- ・時間割編成において担当者及び開講期別の変更「Reading & WritingⅠ」
- ・時間割編成において担当者及び開講期別の変更「Reading & WritingⅡ」
- ・時間割編成において担当者及び開講期別の変更「Reading & WritingⅢ」
- ・時間割編成において担当者及び開講期別の変更「Reading & WritingⅣ」
- ・時間割編成において担当者及び開講期別の変更「Listening & SpeakingⅠ」
- ・時間割編成において担当者及び開講期別の変更「Listening & SpeakingⅡ」
- ・時間割編成において担当者及び開講期別の変更「Listening & SpeakingⅢ」

- ・時間割編成において担当者及び開講期別の変更「Listening & SpeakingⅣ」
- ・時間割編成において担当者の変更「English Expressions」
- ・時間割編成において担当者の変更「Four SkillsⅠ」
- ・時間割編成において担当者の変更「Four SkillsⅡ」
- ・時間割編成において担当者の変更「Labo TrainingⅠ」
- ・時間割編成において担当者の変更「Labo TrainingⅡ」
- ・時間割編成において開講期別の変更「Introduction to Translation」
- ・時間割編成において担当者の変更「Overseas Job Training」
- ・時間割編成において担当者の変更「Advanced Reading & WritingⅠ」
- ・時間割編成において担当者の変更「Advanced Reading & WritingⅡ」
- ・時間割編成において担当者の変更「ドイツ語Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の変更「ドイツ語Ⅲ」
- ・時間割編成において担当者の変更「ドイツ語Ⅳ」
- ・時間割編成において担当者の変更「ドイツ語会話Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の変更「ドイツ語会話Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の変更「フランス語Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の変更「フランス語Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の変更「韓国語Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の変更「韓国語Ⅳ」
- ・時間割編成において担当者の変更「韓国語会話Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の変更「韓国語会話Ⅱ」
- ・時間割編成において開講期別の変更「中国語Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の変更「中国語会話Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の変更「日本語中級Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の変更「日本語中級Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の変更「日本語中級Ⅲ」
- ・時間割編成において担当者の変更「日本語中級Ⅳ」
- ・時間割編成において担当者の変更「日本語上級Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の変更「日本語上級Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の変更「日本語上級Ⅲ」
- ・時間割編成において担当者の変更「日本語上級Ⅳ」
- ・時間割編成において開講期別の変更「日本の歴史Ⅰ」

#### 【令和元年度】

- ・時間割編成において担当者の変更「基礎物理」
- ・時間割編成において担当者の追加「プロジェクトデザイン管理」
- ・時間割編成において期別の変更「金融システム論」
- ・時間割編成において担当者の変更「キャリア開発論」
- ・時間割編成において担当者の変更「実用国語Ⅰ（文章力）」
- ・時間割編成において担当者の変更「実用国語Ⅱ（国語力）」
- ・時間割編成において担当者の変更「数理的教養Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の変更「数理的教養Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の変更及び期別の変更「九産大力」
- ・時間割編成において担当者の変更「学生ボランティア入門」
- ・時間割編成において担当者の変更「実践キャリア学修B」
- ・時間割編成において担当者の変更「実践力育成演習A」
- ・時間割編成において担当者の変更「実践力育成演習B」
- ・時間割編成において担当者の変更「課題解決演習A」
- ・時間割編成において担当者の変更「世界の歴史」
- ・時間割編成において担当者の変更「法学」
- ・時間割編成において担当者の変更「日本国憲法」
- ・時間割編成において担当者の変更「倫理学」
- ・時間割編成において担当者の変更「文学の世界」
- ・時間割編成において担当者の変更「科学の世界」
- ・時間割編成において担当者の変更「現代の経済」
- ・時間割編成において担当者の変更「教養講座」
- ・時間割編成において担当者の変更及び期別の変更「総合講座C」
- ・時間割編成において担当者の変更「Reading & WritingⅠ」

- ・ 時間割編成において担当者の変更「Reading & WritingⅡ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Reading & WritingⅣ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Listening & SpeakingⅠ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Listening & SpeakingⅡ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Listening & SpeakingⅢ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Listening & SpeakingⅣ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「English Expressions」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Four SkillsⅡ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Labo TrainingⅡ」
- ・ 時間割編成において期別変更「Professional Writing Skills（未開講）」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Domestic Job Training」
- ・ 時間割編成において期別変更「Overseas Job Training」
- ・ 時間割編成において担当者の変更及び期別の期別「Advanced Reading & WritingⅠ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「ドイツ語会話Ⅰ」
- ・ 時間割編成において期別変更「ドイツ語会話Ⅱ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「フランス語Ⅰ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「韓国語Ⅰ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「韓国語Ⅱ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「韓国語Ⅳ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「中国語Ⅰ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「中国語Ⅱ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語初級Ⅰ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語初級Ⅱ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語初級Ⅲ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語初級Ⅳ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語中級Ⅰ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語中級Ⅱ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語上級Ⅰ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語上級Ⅱ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語上級Ⅲ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語上級Ⅳ」

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
12 科目	246 科目	科目	258 科目	12 科目 [ 0 ]	246 科目 [ 0 ]	科目 [ ]	258 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	Professional Writing Skills	4	1	一般	選択	外国語科目の時間割編成により今年度は未開講とした。代替措置無
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」  
 全学共通に開講している外国語科目は、プログラムの進行に合わせて、全学的な見地から開講科目等を調整しているため、上記(3)の科目はやむを得ず未開講となった。外国語科目については、次年度以降も教育効果野観点から、開講数を調整の上、実施する計画である。  
 「学生への周知方法」  
 混乱を避けるため、授業時間割表に掲載していない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{258} = \boxed{0.38} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	一部校舎敷地と別地 宗像運動場用地 169,907.00㎡ 所要時間：約40分 距離：約22.14Km
	校 舎 敷 地	0㎡	142,274.53㎡ 142,048.53㎡ 150,761.86㎡	2,098.00㎡	144,372.53㎡ 144,146.53㎡ 152,859.86㎡	水谷運動場用地 15,352.53㎡ 所要時間：約10分 距離：約2.5Km
	運 動 場 用 地	0㎡	264,521.18㎡ 269,225.18㎡	0㎡	264,521.18㎡ 269,225.18㎡	九州造形短期大学（必 要面積3,000㎡）と共 用
	小 計	0㎡	406,795.71㎡ 406,569.71㎡ 419,987.04㎡	2,098.00㎡	408,893.71㎡ 408,667.71㎡ 422,085.04㎡	校舎敷地から駐車場 8,710㎡、運動場用地 から駐車場4,704㎡を 除き、その他に計上 (29)
	そ の 他	0㎡	33,419.65㎡ 33,420.02㎡ 20,006.02㎡	0㎡	33,419.65㎡ 33,420.02㎡ 20,006.02㎡	校舎敷地（-3.33㎡） 地目変更による減少 (29)
	合 計	0㎡	440,215.36㎡ 439,989.73㎡ 439,993.06㎡	2,098.00㎡	442,313.36㎡ 442,087.73㎡ 442,091.06㎡	校舎敷地（226㎡）土 地購入による増加 (30) その他（-0.37㎡）地 目変更による減少 (30)
(2) 校 舎	専 用		共 用	共用する他の 学校等の専用	計	九州造形短期大学（必 要面積3,000㎡）と共 用 校舎面積専用から厚生 施設・課外活動施設 11,419.37㎡を除いた (29)
	166,750.25㎡ <del>166,752.28㎡</del> 149,887.87㎡ 161,307.24㎡	1,633㎡	4,618.64㎡ <del>4,589.32㎡</del>	173,001.89㎡ <del>172,974.60㎡</del> 156,110.19㎡ 167,529.56㎡	3号館新築（16,603.77 ㎡）売店新築（187.31 ㎡）に伴う増加（30） バス車庫解体（88.36 ㎡）に伴う減少（30） 厚生施設用途変更 （161.69㎡）に伴う増 加（30） 屋外トイレ解体 （54.50㎡）に伴う減 少（元） 屋外トイレ新築 （52.47㎡）に伴う増 加（元） 工房棟EV新設（29.32 ㎡）に伴う増加（元）	
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 一部九州造形短期大学 と共用
	169室 153室 150室	228室 227室 204室 208室	487室 491室 502室 503室	27室 26室 24室 (補助職員 0 人)	13室 15室 (補助職員 0 人)	用途を変更した（29） 3号館新築に伴う増加 および既存施設用途変 更のため（30） 用途を変更したため (元)
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		
	理工学部 情報科学科			18 室		





4. 既設大学等の状況

大学の名称	九州産業大学									備考	
	既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度		所在地
経済学部	4	400	-	1,600	学士(経済学)	1.09	-	平成5年度	-	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	平成30年より学生募集停止
経済学科	4	400	-	1,600	学士(経済学)	1.09	-	平成5年度	同上		
経済学科(夜間主コース)	4	-	-	-	学士(経済学)	-	-	平成5年度	同上		
商学部	4	500	-	1,000	学士(商学)	1.05	-	平成30年度	-		
経営・流通学科	4	500	-	1,000	学士(商学)	1.05	-	平成30年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号		
地域共創学部	4	280	-	560	学士(観光学(地域学))	0.98	-	平成30年度	-		
観光学科	4	150	-	300	学士(観光学)	0.97	-	平成30年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号		
地域づくり学科(昼夜開講制)	4	130	-	260	学士(地域学)	0.99	-	平成30年度	同上		
商学部第一部	4	-	-	-	学士(商学)	-	-	昭和35年度	-		
商学科	4	-	-	-	学士(商学)	-	-	昭和35年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号		
観光産業学科	4	-	-	-	学士(商学)	-	-	平成11年度	同上		
商学部第二部	4	-	-	-	学士(商学)	-	-	昭和39年度	-		
商学科	4	-	-	-	学士(商学)	-	-	昭和39年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号		
経営学部	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-	昭和43年度	-		
国際経営学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-	昭和56年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号		
産業経営学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-	昭和43年度	同上		
理工学部	4	370	-	1,110	学士(情報科学(工学))	0.97	-	平成29年度	-		
情報科学科	4	140	-	420	学士(情報科学)	1.05	-	平成29年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号		
機械工学科	4	130	-	390	学士(工学)	0.90	-	平成29年度	同上		
電気工学科	4	100	-	300	学士(工学)	0.97	-	平成29年度	同上		
生命科学部	4	110	-	330	学士(工学)	0.92	-	平成29年度	-		
生命科学科	4	110	-	330	学士(工学)	0.92	-	平成29年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号		
建築都市工学部	4	200	-	600	学士(工学)	1.00	-	平成29年度	-		
建築学科	4	75	-	225	学士(工学)	0.94	-	平成29年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号		
住居・インテリア学科	4	65	-	195	学士(工学)	1.11	-	平成29年度	同上		
都市デザイン工学科	4	60	-	180	学士(工学)	0.95	-	平成29年度	同上		

大学の名称	九州産業大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学定員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
工学部	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	昭和38年度	-	
機械工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	昭和38年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	平成29年より学生募集停止
電気情報工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	昭和38年度	同上	平成29年より学生募集停止
物質生命化学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	昭和38年度	同上	平成29年より学生募集停止
都市基盤デザイン工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	昭和39年度	同上	平成29年より学生募集停止
建築学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	昭和39年度	同上	平成29年より学生募集停止
住居・インテリア設計学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成22年度	同上	平成29年より学生募集停止
バイオロボティクス学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成16年度	同上	平成29年より学生募集停止
芸術学部	4	300	-	1,200	学士(芸術)	0.97	-	昭和41年度	-	
芸術表現学科	4	65	-	260	学士(芸術)	1.08	-	昭和28年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
写真・映像メディア学科	4	50	-	200	学士(芸術)	1.20	-	平成28年度	同上	
ビジュアルデザイン学科	4	75	-	300	学士(芸術)	1.16	-	平成28年度	同上	
生活環境デザイン学科	4	70	-	280	学士(芸術)	0.72	-	平成28年度	同上	
ソーシャルデザイン学科	4	40	-	160	学士(芸術)	0.59	-	平成28年度	同上	
美術学科	4	-	-	-	学士(芸術)	-	-	昭和41年度	同上	平成28年より学生募集停止
デザイン学科	4	-	-	-	学士(芸術)	-	-	昭和41年度	同上	平成28年より学生募集停止
写真映像学科	4	-	-	-	学士(芸術)	-	-	昭和41年度	同上	平成28年より学生募集停止
国際文化学部	4	140	-	680	学士(国際文化)(文学)	1.11	-	昭和6年度	-	
国際文化学科	4	80	-	320	学士(国際文化)	1.12	-	昭和6年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	平成30年より編入学学生募集停止
日本文化学科	4	60	-	240	学士(国際文化)	1.09	-	平成6年度	同上	平成30年より編入学学生募集停止
臨床心理学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	平成16年度	同上	平成30年より学生募集停止
人間科学部	4	230	-	460	学士(人間科学)	0.92	-	平成30年度	-	
臨床心理学科	4	70	-	140	学士(人間科学)	1.02	-	平成30年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
子ども教育学科	4	80	-	160	学士(人間科学)	0.72	-	平成30年度	同上	
スポーツ健康科学科	4	80	-	160	学士(人間科学)	1.03	-	平成30年度	同上	
情報科学部										
情報科学科	4	-	-	-	学士(情報科学)	-	-	昭和21年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	平成29年より学生募集停止
大学全体	4	2,530	-	10,325	-	1.00	-	-	-	

大学の名称	九州産業大学 大学院									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学定員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
経済・ビジネス研究科 経済学専攻 (博士前期課程)	2	7	-	14	修士 (経済学)	0.42	-	田成21年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
現代ビジネス専攻 (博士前期課程)	2	20	-	40	修士 (商学) 修士 (経営学)	0.32	-	平成21年度	同上	
経済・ビジネス専攻 (博士後期課程)	3	5	-	15	博士 (経済学) 博士 (商学) 博士 (経営学)	0.06	-	平成21年度	同上	
工学研究科										
産業技術デザイン専攻 (博士前期課程)	2	35	-	70	修士 (工学)	0.22	-	田成23年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
産業技術デザイン専攻 (博士後期課程)	3	4	-	12	博士 (工学)	0.08	-	平成23年度	同上	
芸術研究科										
造形表現専攻 (博士前期課程)	2	14	-	28	修士 (芸術)	1.10	-	田成24年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
造形表現専攻 (博士後期課程)	3	6	-	18	博士 (芸術)	0.27	-	平成11年度	同上	
国際文化研究科										
国際文化専攻 (博士前期課程)	2	15	-	30	修士 (文学)	0.93	-	田成10年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
国際文化専攻 (博士後期課程)	3	5	-	15	博士 (文学)	0.20	-	平成10年度	同上	
情報科学研究科										
情報科学専攻 (博士前期課程)	2	20	-	40	修士 (情報科学)	0.17	-	平成16年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
情報科学専攻 (博士後期課程)	3	4	-	12	博士 (情報科学)	0.00	-	平成16年度	同上	
大学院全体 (博士前期課程)	2	111	-	222	-	0.55	-	-		
大学院全体 (博士後期課程)	3	24	-	72	-	0.12	-	-		
大学の名称	九州産業大学造形短期大学部									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学定員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
造形芸術学科	2	150	-	300	短期大学士 (芸術)	0.95		平成19年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	平成29年度より名称変更

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。





専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	澤田 直 <平成29年4月> 博士 (工学) 基礎ゼミナール 情報科学基礎演習 ハードウェア設計Ⅰ 計算機構成論Ⅱ ハードウェア実験Ⅰ ハードウェア設計Ⅱ ハードウェア設計Ⅲ プロジェクトデザイン管理 情報科学演習Ⅰ 情報科学演習Ⅱ 卒業研究	専	准教授	澤田 直 <平成29年4月> 博士 (工学) 基礎ゼミナール 情報科学基礎演習 ハードウェア設計Ⅰ 計算機構成論Ⅱ ハードウェア実験Ⅰ ハードウェア設計Ⅱ ハードウェア設計Ⅲ プロジェクトデザイン管理 情報科学演習Ⅰ 情報科学演習Ⅱ 卒業研究	専	准教授	澤田 直 <平成29年4月> 博士 (工学) 基礎ゼミナール 情報科学基礎演習 ハードウェア設計Ⅰ 計算機構成論Ⅱ ハードウェア実験Ⅰ ハードウェア設計Ⅱ ハードウェア設計Ⅲ プロジェクトデザイン管理 情報科学演習Ⅰ 情報科学演習Ⅱ 卒業研究	専	准教授	澤田 直 <平成29年4月> 博士 (工学) 基礎ゼミナール 情報科学基礎演習 ハードウェア設計Ⅰ 計算機構成論Ⅱ ハードウェア実験Ⅰ ハードウェア設計Ⅱ ハードウェア設計Ⅲ プロジェクトデザイン管理 情報科学演習Ⅰ 情報科学演習Ⅱ 卒業研究	専	准教授	澤田 直 <平成29年4月> 博士 (工学) 基礎ゼミナール 情報科学基礎演習 ハードウェア設計Ⅰ 計算機構成論Ⅱ ハードウェア実験Ⅰ ハードウェア設計Ⅱ ハードウェア設計Ⅲ プロジェクトデザイン管理 情報科学演習Ⅰ 情報科学演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	古井 陽之助 <平成29年4月> 基礎ゼミナール 情報リテラシー 情報科学基礎演習 プログラミング演習Ⅱ(デスクトップアプリ) プログラミング基礎Ⅱ データ構造とアルゴリズムⅠ プログラミング演習Ⅲ(ビジネスアプリ) データ構造とアルゴリズムⅡ プロジェクトデザイン管理 情報科学演習Ⅰ 情報科学演習Ⅱ 卒業研究	専	准教授	古井 陽之助 <平成29年4月> 基礎ゼミナール 情報リテラシー 情報科学基礎演習 プログラミング演習Ⅱ(デスクトップアプリ) プログラミング基礎Ⅱ データ構造とアルゴリズムⅠ プログラミング演習Ⅲ(ビジネスアプリ) データ構造とアルゴリズムⅡ プロジェクトデザイン管理 情報科学演習Ⅰ 情報科学演習Ⅱ 卒業研究	専	准教授	古井 陽之助 <平成29年4月> 基礎ゼミナール 情報リテラシー 情報科学基礎演習 プログラミング演習Ⅱ(デスクトップアプリ) プログラミング基礎Ⅱ データ構造とアルゴリズムⅠ プログラミング演習Ⅲ(ビジネスアプリ) データ構造とアルゴリズムⅡ プロジェクトデザイン管理 情報科学演習Ⅰ 情報科学演習Ⅱ 卒業研究	専	准教授	古井 陽之助 <平成29年4月> 基礎ゼミナール 情報リテラシー 情報科学基礎演習 プログラミング演習Ⅱ(デスクトップアプリ) プログラミング基礎Ⅱ データ構造とアルゴリズムⅠ プログラミング演習Ⅲ(ビジネスアプリ) データ構造とアルゴリズムⅡ プロジェクトデザイン管理 情報科学演習Ⅰ 情報科学演習Ⅱ 卒業研究			
						専	准教授	于 海波 <平成31年4月> 博士 (工学) 基礎ゼミナール 情報リテラシー 情報科学基礎演習 プログラミング演習Ⅱ(デスクトップアプリ) プログラミング基礎Ⅱ データ構造とアルゴリズムⅠ プログラミング演習Ⅲ(ビジネスアプリ) データ構造とアルゴリズムⅡ プロジェクトデザイン管理 情報科学演習Ⅰ 情報科学演習Ⅱ 卒業研究						
専	准教授	安武 芳紘 <平成29年4月> 博士 (情報工学) 基礎ゼミナール 情報科学基礎演習 組込みソフトウェア演習 ハードウェア実験Ⅰ オブジェクト指向設計 ハードウェア実験Ⅱ プロジェクトデザイン管理 情報科学演習Ⅰ ソフトウェア工学 情報科学演習Ⅱ 卒業研究	専	准教授	安武 芳紘 <平成29年4月> 博士 (情報工学) 基礎ゼミナール 情報科学基礎演習 組込みソフトウェア演習 ハードウェア実験Ⅰ オブジェクト指向設計 ハードウェア実験Ⅱ プロジェクトデザイン管理 情報科学演習Ⅰ ソフトウェア工学 情報科学演習Ⅱ 卒業研究	専	准教授	安武 芳紘 <平成29年4月> 博士 (情報工学) 基礎ゼミナール 情報科学基礎演習 組込みソフトウェア演習 ハードウェア実験Ⅰ オブジェクト指向設計 ハードウェア実験Ⅱ プロジェクトデザイン管理 情報科学演習Ⅰ ソフトウェア工学 情報科学演習Ⅱ 卒業研究	専	准教授	安武 芳紘 <平成29年4月> 博士 (情報工学) 基礎ゼミナール 情報科学基礎演習 組込みソフトウェア演習 ハードウェア実験Ⅰ オブジェクト指向設計 ハードウェア実験Ⅱ プロジェクトデザイン管理 情報科学演習Ⅰ ソフトウェア工学 情報科学演習Ⅱ 卒業研究			
専	准教授	山本 卓宏 <平成29年4月> 博士 (理学) 離散数学Ⅰ 離散数学Ⅱ ベクトル解析 離散数学Ⅲ 初等幾何学 統計学 複素解析 位相幾何学Ⅰ 微分幾何学Ⅰ 位相幾何学Ⅱ 微分幾何学Ⅱ 位相空間論												
			専	講師	浜田 敬史 <平成29年4月> 博士 (情報数理学) 離散数学Ⅰ 離散数学Ⅱ ベクトル解析 離散数学Ⅲ 初等幾何学 統計学 複素解析 位相幾何学Ⅰ 微分幾何学Ⅰ 位相幾何学Ⅱ 微分幾何学Ⅱ 位相空間論	専	講師	浜田 敬史 <平成29年4月> 博士 (情報数理学) 離散数学Ⅰ 離散数学Ⅱ ベクトル解析 離散数学Ⅲ 初等幾何学 統計学 複素解析 位相幾何学Ⅰ 微分幾何学Ⅰ 位相幾何学Ⅱ 微分幾何学Ⅱ 位相空間論	専	講師	浜田 敬史 <平成29年4月> 博士 (情報数理学) 離散数学Ⅰ 離散数学Ⅱ ベクトル解析 離散数学Ⅲ 初等幾何学 統計学 複素解析 位相幾何学Ⅰ 微分幾何学Ⅰ 位相幾何学Ⅱ 微分幾何学Ⅱ 位相空間論			





















































































- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・時間割編成において担当者の変更「田中 康一郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「石田 俊一」
- ・担当者就任辞退に伴う担当者の変更「洪田 敬史」
- ・学部長就任に伴う職名の変更「鶴田 和寛」
- ・退職に伴う担当者の変更「高橋 誠」
- ・昇任に伴う職名の変更「橋口 卓平」
- ・昇任に伴う職名の変更「富田 英夫」
- ・国外研修に伴う担当者の変更「市原 猛志」
- ・時間割編成において担当者の変更「小倉 弘毅」
- ・時間割編成において担当者の変更「緒方 泉」
- ・時間割編成において担当者の変更「秋山 優」
- ・時間割編成において担当者の変更「金川 一夫」
- ・時間割編成において担当者の変更「福田 馨」
- ・時間割編成において担当者の変更「安永 信二」
- ・時間割編成において担当者の変更「奥村 浩正」
- ・時間割編成において担当者の変更「安河内 春彦」
- ・時間割編成において担当者の変更「石川 泰成」
- ・時間割編成において担当者の変更「森 英一」
- ・時間割編成において担当者の変更「清水 陽子」
- ・時間割編成において担当者の変更「間間 理」
- ・時間割編成において担当者の変更「千 相哲」
- ・時間割編成において担当者の変更「宗像 優」
- ・時間割編成において担当者の変更「佐野 彰」
- ・時間割編成において担当者の変更「酒井 順一郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「木村 俊夫」
- ・時間割編成において担当者の変更「富原 裕二」
- ・時間割編成において担当者の変更「堀内 ゆかり」
- ・時間割編成において担当者の変更「西園 秀嗣」
- ・時間割編成において担当者の変更「河野 賢治」
- ・時間割編成において担当者の変更「森 誠子」
- ・時間割編成において担当者の変更「藤田 尚志」
- ・時間割編成において担当者の変更「三浦 香織」
- ・時間割編成において担当者の変更「伊藤 高志」
- ・時間割編成において担当者の変更「JEFF ANDERSON」
- ・昇任に伴う職名の変更「長谷川 由起子」
- ・時間割編成において担当者の変更「伊藤 精男」
- ・時間割編成において担当者の変更「横井 克典」
- ・時間割編成において担当者の変更「松原 岳行」
- ・時間割編成において担当者の変更「福田 拓哉」
- ・時間割編成において担当者の変更「高橋 芳弘」
- ・時間割編成において担当者の変更「高杉 美佳子」
- ・時間割編成において担当者の変更「中尾 嘉秀」
- ・時間割編成において担当者の変更「志水 智子」
- ・時間割編成において担当者の変更「酒井 一臣」
- ・時間割編成において担当者の変更「林 政喜」
- ・時間割編成において担当者の変更「鍛冶 俊輔」
- ・時間割編成において担当者の変更「宮内 紀子」
- ・退職に伴う教員区分の変更及び時間割編成において担当者の変更「塚塚(峯) 淳子」
- ・時間割編成において担当者の変更「JEFFREY Stewart」
- ・時間割編成において担当者の変更「NICHOLAS Bovee」
- ・就任辞退のため担当者変更「SHERLOCK Zelinda」
- ・時間割編成において担当者の変更「ANDREW Thompson」
- ・時間割編成において担当者の変更「武内 梓朗」
- ・時間割編成において担当者の変更「NAGASHIMA Lyndell」
- ・時間割編成において担当者の変更「GALLAGHER Andrew」
- ・時間割編成において担当者の変更「David Johnson」
- ・時間割編成において担当者の変更「ALEXANDER Cameron」
- ・時間割編成において担当者の変更「HAROLD Peter」
- ・時間割編成において担当者の変更「HOWARTH Mark」
- ・時間割編成において担当者の変更「小田部 貴子」
- ・時間割編成において担当者の変更「堀口 悟郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「小川 悠紀」
- ・時間割編成において担当者の変更「W I T K I N Ne i l」
- ・時間割編成において担当者の変更「KUKHARUK Alexey」
- ・時間割編成において担当者の変更「CAPOBIANCO Paul」
- ・時間割編成において担当者の変更「BAKER Matthew」
- ・時間割編成において担当者の変更「PAIN Ryan」
- ・時間割編成において担当者の変更「高田 芽味」
- ・時間割編成において担当者の変更「濱川 和洋」
- ・時間割編成において担当者の変更「内田 友子」
- ・時間割編成において担当者の変更「石元 みさと」
- ・時間割編成において担当者の変更「隅田 康明」
- ・時間割編成において担当者の変更「隈本 寛」
- ・時間割編成において担当者の変更「上田 直次」
- ・時間割編成において担当者の変更「東寺 祐亮」
- ・時間割編成において担当者の変更「丹後 享」
- ・時間割編成において担当者の変更「平 誠一」
- ・時間割編成において担当者の変更「中本 幹生」
- ・時間割編成において担当者の変更「奥野 新太郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「梶原 律子」
- ・時間割編成において担当者の変更「金坂 弥起」
- ・時間割編成において担当者の変更「木村 太一」
- ・時間割編成において担当者の変更「中島 俊介」
- ・時間割編成において担当者の変更「荒井 秋晴」
- ・時間割編成において担当者の変更「紙谷 聡志」
- ・時間割編成において担当者の変更「中島 道夫」
- ・時間割編成において担当者の変更「鴨川 武文」
- ・時間割編成において担当者の変更「内島 美奈子」
- ・時間割編成において担当者の変更「渡辺 玄英」
- ・時間割編成において担当者の変更「浅田 えり佳」
- ・時間割編成において担当者の変更「大塚 知昇」
- ・時間割編成において担当者の変更「岡田 美鈴」
- ・時間割編成において担当者の変更「萱嶋 崇」
- ・時間割編成において担当者の変更「川口 千富美」
- ・時間割編成において担当者の変更「近藤 直美」
- ・時間割編成において担当者の変更「進藤 範子」

- ・時間割編成において担当者の変更「高木 留美」
- ・時間割編成において担当者の変更「高田 とも子」
- ・時間割編成において担当者の変更「都地 沙央里」
- ・時間割編成において担当者の変更「平川 知子」
- ・時間割編成において担当者の変更「松原 留美」
- ・時間割編成において担当者の変更「三瀬 亜紀」
- ・時間割編成において担当者の変更「宮本 なつき」
- ・時間割編成において担当者の変更「與古光 宏」
- ・時間割編成において担当者の変更「大場 智恵子」
- ・時間割編成において担当者の変更「Markus Yong」
- ・教員区分の変更及び時間割編成において担当者の変更「Adam Stone」
- ・時間割編成において担当者の変更「Samuel Taylor」
- ・時間割編成において担当者の変更「Gerard Maher」
- ・時間割編成において担当者の変更「Stephen Farmer」
- ・時間割編成において担当者の変更「Phillip Pinniger」
- ・時間割編成において担当者の変更「Nicholas Shillingford」
- ・時間割編成において担当者の変更「Laura-Mae Noma」
- ・時間割編成において担当者の変更「Michael Sherlock」
- ・時間割編成において担当者の変更「Luke Ashby」
- ・時間割編成において担当者の変更「篠崎 元」
- ・時間割編成において担当者の変更「Zeilhofer Luisa」
- ・時間割編成において担当者の変更「Holst Sven-Ohle」
- ・時間割編成において担当者の変更「任 春江」
- ・時間割編成において担当者の変更「原田 裕里」
- ・時間割編成において担当者の変更「山本 崇代」
- ・時間割編成において担当者の変更「末永 京子」
- ・時間割編成において担当者の変更「Benjamin Laba」
- ・時間割編成において担当者の変更「元 慶臣」
- ・時間割編成において担当者の変更「金 貞淑」
- ・時間割編成において担当者の変更「小島 大輝」
- ・時間割編成において担当者の変更「徐 正三」
- ・時間割編成において担当者の変更「安 滯珠」
- ・時間割編成において担当者の変更「朴 順伊」
- ・時間割編成において担当者の変更「荀 暁崢」
- ・時間割編成において担当者の変更「張 欣」
- ・時間割編成において担当者の変更「陳 菁」
- ・時間割編成において担当者の変更「李 岩」
- ・時間割編成において担当者の変更「岡田 美穂」
- ・教員区分の変更及び時間割編成において担当者の変更「藤田 恵里子」
- ・時間割編成において担当者の変更「青木 志穂子」
- ・時間割編成において担当者の変更「松本 妙子」
- ・時間割編成において担当者の変更「中村 萬里」
- ・時間割編成において担当者の変更「田鹿 絃」
- ・時間割編成において担当者の変更「吉原 さくら」
- ・時間割編成において担当者の変更「福田 尚法」
- ・時間割編成において担当者の変更「江藤 宏」
- ・時間割編成において担当者の変更「原田 諭」
- ・時間割編成において担当者の変更「後藤 啓倫」
- ・時間割編成において担当者の変更「西 貴倫」
- ・時間割編成において担当者の変更「栗山 雅央」
- ・時間割編成において担当者の変更「長谷川 真史」
- ・時間割編成において担当者の変更「貞方 浩二」
- ・時間割編成において担当者の変更「保家 信太郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「才津 絢子」
- ・時間割編成において担当者の変更「福田 成美」
- ・時間割編成において担当者の変更「蒲原 順子」
- ・時間割編成において担当者の変更「隈部 渉」
- ・時間割編成において担当者の変更「前屋敷 太郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「渡邊 裕子」
- ・時間割編成において担当者の変更「谷岡 敏博」
- ・時間割編成において担当者の変更「古賀 奈里」
- ・時間割編成において担当者の変更「戸丸 優作」
- ・時間割編成において担当者の変更「Aaron Gibson」
- ・時間割編成において担当者の変更「Kevin White」
- ・時間割編成において担当者の変更「Shane Shallness」
- ・時間割編成において担当者の変更「コ克蘭 由美子」
- ・時間割編成において担当者の変更「ブルノ クリスマス」
- ・時間割編成において担当者の変更「Perry Brandon」
- ・時間割編成において担当者の変更「Laurie Griffiths」
- ・時間割編成において担当者の変更「Paul Arenson」
- ・時間割編成において担当者の変更「Andrew McMahon」
- ・時間割編成において担当者の変更「Alexander Rykers」
- ・時間割編成において担当者の変更「Juha Vaittinen」
- ・時間割編成において担当者の変更「Christian Mercado」
- ・時間割編成において担当者の変更「金子 賢治」
- ・時間割編成において担当者の変更「Martin Nutt」
- ・時間割編成において担当者の変更「村上 浩明」
- ・時間割編成において担当者の変更「伊東 沙織」
- ・時間割編成において担当者の変更「Minimo Maiwald」
- ・時間割編成において担当者の変更「甲斐 春香」
- ・時間割編成において担当者の変更「野村 知佐子」
- ・時間割編成において担当者の変更「木下 樹親」
- ・時間割編成において担当者の変更「Torres Benard」
- ・時間割編成において担当者の変更「ガン'リョ'ン フビ'アン」
- ・時間割編成において担当者の変更「白岩 美穂」
- ・時間割編成において担当者の変更「李 今淑」
- ・時間割編成において担当者の変更「鄭 美京」
- ・時間割編成において担当者の変更「朴 永奎」
- ・時間割編成において担当者の変更「姜 希京」
- ・時間割編成において担当者の変更「李 延恩」
- ・時間割編成において担当者の変更「胡 山林」
- ・時間割編成において担当者の変更「顧 紅英」
- ・時間割編成において担当者の変更「塩田 寿美子」
- ・時間割編成において担当者の変更「立花 奈央」
- ・時間割編成において担当者の変更「満生 洋子」
- ・時間割編成において担当者の変更「姚 瑤」
- ・時間割編成において担当者の変更「香月 智恵」
- ・時間割編成において担当者の変更「竹下 直子」
- ・時間割編成において担当者の変更「戸田 宏治」



【平成30年度】

- ・時間割編成において担当者の変更「石田 俊一」
- ・昇任に伴う職名の変更「神屋 郁子」
- ・学長就任に伴う職名の変更「榊 泰輔」
- ・国外研修に伴う担当者の変更「富田 英夫」
- ・時間割編成において担当者の変更「小倉 弘毅」
- ・時間割編成において担当者の変更「井口 正彦」
- ・時間割編成において担当者の変更「一政 遼太郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「乾 弘幸」
- ・時間割編成において担当者の変更「田中 靖人」
- ・時間割編成において担当者の変更「原 巖」
- ・時間割編成において担当者の変更「安河内 春彦」
- ・時間割編成において担当者の変更「尾張 充典」
- ・時間割編成において担当者の変更「石川 泰成」
- ・時間割編成において担当者の変更「間間 理」
- ・時間割編成において担当者の変更「千 相哲」
- ・時間割編成において担当者の変更「森(田口) 誠子」
- ・時間割編成において担当者の変更「大菌 修一」
- ・時間割編成において担当者の変更「長谷川 由起子」
- ・時間割編成において担当者の変更「木村 隆幸」
- ・時間割編成において担当者の変更「酒井 一臣」
- ・時間割編成において担当者の変更「福田 潤」
- ・時間割編成において担当者の変更「秋山 大輔」
- ・時間割編成において担当者の変更「田中 真理」
- ・時間割編成において担当者の変更「林 政喜」
- ・時間割編成において担当者の変更「安陪 大治郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「NICHOLAS Bovee」
- ・時間割編成において担当者の変更「武内 祥朗」
- ・時間割編成において担当者の変更「NAGASHIMA Lyndell」
- ・時間割編成において担当者の変更「GALLACHER Andrew」
- ・時間割編成において担当者の変更「David Johnson」
- ・時間割編成において担当者の変更「ALEXANDER Cameron」
- ・時間割編成において担当者の変更「HARROLD Peter」
- ・時間割編成において担当者の変更「小田部 貞子」
- ・時間割編成において担当者の変更「小川 悠紀」
- ・時間割編成において担当者の変更「WITKIN Neil」
- ・時間割編成において担当者の変更「KUKHARUK Alexey」
- ・時間割編成において担当者の変更「CAPOBLANCO Paul」
- ・時間割編成において担当者の変更「BAKER Matthew」
- ・時間割編成において担当者の変更「Jonathan Shachter」
- ・時間割編成において担当者の変更「Lisa Barker」
- ・時間割編成において担当者の変更「Paul Matthews」
- ・時間割編成において担当者の変更「Samar Kassim」
- ・時間割編成において担当者の変更「大枝 和浩」
- ・時間割編成において担当者の変更「高田 芽味」
- ・時間割編成において担当者の変更「本山 清喬」
- ・時間割編成において担当者の変更「門田 理代子」
- ・時間割編成において担当者の変更「高山 和幸」
- ・時間割編成において担当者の変更「濱川 和洋」
- ・時間割編成において担当者の変更「阪田 俊輔」
- ・時間割編成において担当者の変更「豊田 直樹」
- ・時間割編成において担当者の変更「石元 みさと」
- ・時間割編成において担当者の変更「占部 匡美」
- ・時間割編成において担当者の変更「橋本 聖美」
- ・時間割編成において担当者の変更「森 元齋」
- ・時間割編成において担当者の変更「金坂 弥起」
- ・時間割編成において担当者の変更「樋渡 孝徳」
- ・時間割編成において担当者の変更「幸地 英理子」
- ・時間割編成において担当者の変更「岩崎 一恵」
- ・時間割編成において担当者の変更「鎌田 裕文」
- ・時間割編成において担当者の変更「小林 明子」
- ・時間割編成において担当者の変更「空井 由花」
- ・時間割編成において担当者の変更「松原 留美」
- ・時間割編成において担当者の変更「三瀬 亜紀」
- ・時間割編成において担当者の変更「宮本 なつき」
- ・時間割編成において担当者の変更「渡邊 晶子」
- ・時間割編成において担当者の変更「Adam Stone」
- ・時間割編成において担当者の変更「Samuel Taylor」
- ・時間割編成において担当者の変更「Stephen Farmer」
- ・時間割編成において担当者の変更「篠崎 元」
- ・時間割編成において担当者の変更「山本 洋一」
- ・時間割編成において担当者の変更「Ronald Reibert」
- ・時間割編成において担当者の変更「任 春江」
- ・時間割編成において担当者の変更「野母 倫子」
- ・時間割編成において担当者の変更「原田 裕里」
- ・時間割編成において担当者の変更「山本 崇代」
- ・時間割編成において担当者の変更「Plaut Se'bastien」
- ・時間割編成において担当者の変更「李 相穆」
- ・時間割編成において担当者の変更「申 鎬」
- ・時間割編成において担当者の変更「安 滯珠」
- ・時間割編成において担当者の変更「洪 鐘熙」
- ・時間割編成において担当者の変更「張 欣」
- ・時間割編成において担当者の変更「張 璦」
- ・時間割編成において担当者の変更「張 玲」
- ・時間割編成において担当者の変更「井料 佐紀子」
- ・時間割編成において担当者の変更「青木 志穂子」
- ・時間割編成において担当者の変更「松本 妙子」
- ・時間割編成において担当者の変更「保家 信太郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「才津 絢子」
- ・時間割編成において担当者の変更「蒲原 順子」
- ・時間割編成において担当者の変更「隈部 歩」
- ・時間割編成において担当者の変更「前屋敷 太郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「渡邊 裕子」
- ・時間割編成において担当者の変更「谷岡 敏博」
- ・時間割編成において担当者の変更「Aaron Gibson」
- ・時間割編成において担当者の変更「Kevin White」
- ・時間割編成において担当者の変更「Shane Shalless」
- ・時間割編成において担当者の変更「コクラン 由美子」

- ・時間割編成において担当者の変更「Laurie Griffiths」
- ・時間割編成において担当者の変更「Alexander Rykers」
- ・時間割編成において担当者の変更「Christian Mercado」
- ・時間割編成において担当者の変更「金子 賢治」
- ・時間割編成において担当者の変更「Martin Nutt」
- ・時間割編成において担当者の変更「伊東 沙織」
- ・時間割編成において担当者の変更「Torres Bernard」
- ・時間割編成において担当者の変更「ガント'リョン フレアン」
- ・時間割編成において担当者の変更「白岩 美穂」
- ・時間割編成において担当者の変更「塩田 寿美子」
- ・時間割編成において担当者の変更「立花 奈央」
- ・時間割編成において担当者の変更「満生 洋子」
- ・時間割編成において担当者の変更「姚 瑤」
- ・時間割編成において担当者の変更「香月 智恵」
- ・時間割編成において担当者の変更「竹下 直子」
- ・時間割編成において担当者の変更「山本 浩二」
- ・時間割編成において担当者の変更「張 玲」
- ・時間割編成において担当者の変更「池田 静香」
- ・時間割編成において担当者の変更「蛭沼 芽衣」
- ・時間割編成において担当者の変更「天野 ひろみ」
- ・時間割編成において担当者の変更「鈴木 由佳」
- ・時間割編成において担当者の変更「大谷 美咲」
- ・時間割編成において担当者の変更「鎌田 厚志」
- ・時間割編成において担当者の変更「佐藤 岳詩」
- ・時間割編成において担当者の変更「岩崎 華奈子」
- ・時間割編成において担当者の変更「中村 昌広」
- ・時間割編成において担当者の変更「秋田 寛子」
- ・時間割編成において担当者の変更「川野 祐二」
- ・時間割編成において担当者の変更「山本 幸治」
- ・時間割編成において担当者の変更「角田 佳充」
- ・時間割編成において担当者の変更「野藤 妙」
- ・時間割編成において担当者の変更「田島 健太郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「早瀬 沙織」
- ・時間割編成において担当者の変更「松崎 徹」
- ・時間割編成において担当者の変更「松下 紗耶」
- ・時間割編成において担当者の変更「横尾 聡子」
- ・時間割編成において担当者の変更「幸山 智子」
- ・時間割編成において担当者の変更「Jean Ware」
- ・時間割編成において担当者の変更「Joseph McInnis」
- ・時間割編成において担当者の変更「Linda Joyce」
- ・時間割編成において担当者の変更「Manuel Senna IV」
- ・時間割編成において担当者の変更「Raymond Stubbe」
- ・時間割編成において担当者の変更「Steven Apotheke」
- ・時間割編成において担当者の変更「Suzy Connor」
- ・時間割編成において担当者の変更「Timothy Pritchard」
- ・時間割編成において担当者の変更「内田（臼井）るり」
- ・時間割編成において担当者の変更「脇 崇晴」
- ・時間割編成において担当者の変更「赤木 祐美子」
- ・時間割編成において担当者の変更「高木 信宏」
- ・時間割編成において担当者の変更「柳 基憲」
- ・時間割編成において担当者の変更「文 芝瑛」
- ・時間割編成において担当者の変更「宋 宥佳」
- ・時間割編成において担当者の変更「増田 正彦」

【令和元年度】

- ・退職に伴う担当者の変更「古井 陽之助」
- ・新規採用に伴う担当者の変更「于 海波」
- ・時間割編成において担当者の変更「中村 賢仁」
- ・昇任に伴う職名の変更「横田 雅紀」
- ・時間割編成において担当者の変更「中坊 滋一」
- ・時間割編成において担当者の変更「野瀬 敏洋」
- ・時間割編成において担当者の変更「佐々野 詠淑」
- ・時間割編成において担当者の変更「富永 桂」
- ・時間割編成において担当者の変更「久恒 敏幸」
- ・時間割編成において担当者の変更「加藤 優」
- ・時間割編成において担当者の変更「牧 幸浩」
- ・時間割編成において担当者の変更「山田 啓一」
- ・時間割編成において担当者の変更「一政 遼太郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「乾 弘幸」
- ・時間割編成において担当者の変更「秋山 優」
- ・時間割編成において担当者の変更「高橋 公忠」
- ・時間割編成において担当者の変更「田中 靖人」
- ・時間割編成において担当者の変更「梶原 茂正」
- ・時間割編成において担当者の変更「小林 繁夫」
- ・時間割編成において担当者の変更「中原 由木子」
- ・時間割編成において担当者の変更「村谷 博美」
- ・時間割編成において担当者の変更「呉 紅華」
- ・時間割編成において担当者の変更「森 英一」
- ・時間割編成において担当者の変更「千 相哲」
- ・時間割編成において担当者の変更「宗像 優」
- ・時間割編成において担当者の変更「佐野 彰」
- ・時間割編成において担当者の変更「木村 俊夫」
- ・時間割編成において担当者の変更「河野 賢司」
- ・時間割編成において担当者の変更「垣迫 裕俊」
- ・時間割編成において担当者の変更「片桐 康宏」
- ・時間割編成において担当者の変更「和田 勉」
- ・時間割編成において担当者の変更「森(田口) 誠子」
- ・時間割編成において担当者の変更「安達 隆博」
- ・時間割編成において担当者の変更「大箇 修一」
- ・時間割編成において担当者の変更「長谷川 由起子」
- ・時間割編成において担当者の変更「木村 隆之」
- ・時間割編成において担当者の変更「酒井 一臣」
- ・時間割編成において担当者の変更「吉田 公子」
- ・時間割編成において担当者の変更「脇 夕希子」
- ・時間割編成において担当者の変更「李 泰勳」
- ・時間割編成において担当者の変更「田中 真理」
- ・時間割編成において担当者の変更「林 政喜」
- ・時間割編成において担当者の変更「宮内 紀子」
- ・昇任に伴う職名の変更「安陪 大治郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「JEFFREY Stewart」
- ・時間割編成において担当者の変更「NICHOLAS Bovee」
- ・時間割編成において担当者の変更「ANDREW Thompson」
- ・時間割編成において担当者の変更「武内 梓朗」
- ・時間割編成において担当者の変更「NAGASHIMA Lyndell」
- ・時間割編成において担当者の変更「GALLACHER Andrew」
- ・時間割編成において担当者の変更「JOHNSON David」
- ・時間割編成において担当者の変更「ALEXANDER Cameron」
- ・時間割編成において担当者の変更「HARROLD Peter」
- ・時間割編成において担当者の変更「小川 悠紀」
- ・時間割編成において担当者の変更「WITKIN Neil」
- ・時間割編成において担当者の変更「KUKHARUK Alexey」
- ・時間割編成において担当者の変更「CAPOBIANCO Paul」
- ・時間割編成において担当者の変更「Lisa Barker」
- ・時間割編成において担当者の変更「Paul Matthews」
- ・時間割編成において担当者の変更「Samar Kassim」
- ・時間割編成において担当者の変更「門田 理代子」
- ・時間割編成において担当者の変更「高山 和幸」
- ・時間割編成において担当者の変更「中世古 貞彦」
- ・時間割編成において担当者の変更「Arron Passmore」
- ・時間割編成において担当者の変更「Michael McAuliffe」
- ・時間割編成において担当者の変更「Tomas Kos」
- ・時間割編成において担当者の変更「高田 芽味」
- ・時間割編成において担当者の変更「荒木 雪葉」
- ・時間割編成において担当者の変更「石元 みさと」
- ・時間割編成において担当者の変更「宇都 義和」
- ・時間割編成において担当者の変更「宮野 真生子」
- ・時間割編成において担当者の変更「森 元齋」
- ・時間割編成において担当者の変更「倉田 剛」
- ・時間割編成において担当者の変更「松島 綾美」
- ・時間割編成において担当者の変更「中村 大輔」
- ・時間割編成において担当者の変更「石坂 元一」
- ・時間割編成において担当者の変更「杉崎 裕子」
- ・時間割編成において担当者の変更「大塚 正純」
- ・時間割編成において担当者の変更「岩崎 一恵」
- ・時間割編成において担当者の変更「鎌田 裕文」
- ・時間割編成において担当者の変更「河野 世莉奈」
- ・時間割編成において担当者の変更「小林 明子」
- ・時間割編成において担当者の変更「淵上 啓子」
- ・時間割編成において担当者の変更「大場 智恵子」
- ・時間割編成において担当者の変更「渡邊 晶子」
- ・時間割編成において担当者の変更「Adam Stone」
- ・時間割編成において担当者の変更「Zachary Robertson」
- ・時間割編成において担当者の変更「Samuel Taylor」
- ・時間割編成において担当者の変更「Laura-Mae Noma」
- ・時間割編成において担当者の変更「Mason Lambert」
- ・時間割編成において担当者の変更「Robert Preslar」
- ・時間割編成において担当者の変更「山本 崇代」
- ・時間割編成において担当者の変更「李 相穆」
- ・時間割編成において担当者の変更「申 鎬」
- ・時間割編成において担当者の変更「安 滯珠」
- ・時間割編成において担当者の変更「張 允騰」
- ・時間割編成において担当者の変更「洪 鍾嬭」

・時間割編成において担当者の変更「水本 敬子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「井料 佐紀子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「藤田 恵里子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「青木 志穂子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「松本 妙子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「波多野 真理子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「福田 尚法」  
 ・時間割編成において担当者の変更「江藤 宏」  
 ・時間割編成において担当者の変更「西 貴倫」  
 ・時間割編成において担当者の変更「隈部 歩」  
 ・時間割編成において担当者の変更「渡邊 裕子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「谷岡 敏博」  
 ・時間割編成において担当者の変更「コ克蘭 由美子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「金子 賢治」  
 ・時間割編成において担当者の変更「伊東 沙織」  
 ・時間割編成において担当者の変更「木下 樹観」  
 ・時間割編成において担当者の変更「Torres Bernard」  
 ・時間割編成において担当者の変更「ガンド'リョ' フアビ'ア」  
 ・時間割編成において担当者の変更「朴 永奎」  
 ・時間割編成において担当者の変更「塩田 寿美子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「立花 奈央」  
 ・時間割編成において担当者の変更「満生 洋子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「姚 瑤」  
 ・時間割編成において担当者の変更「香月 智恵」  
 ・時間割編成において担当者の変更「竹下 直子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「天野 ひろみ」  
 ・時間割編成において担当者の変更「鈴木 由佳」  
 ・時間割編成において担当者の変更「岩崎 華奈子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「川野 祐二」  
 ・時間割編成において担当者の変更「山本 幸治」  
 ・時間割編成において担当者の変更「野藤 妙」  
 ・時間割編成において担当者の変更「早瀬 沙織」  
 ・時間割編成において担当者の変更「松下 紗耶」  
 ・時間割編成において担当者の変更「Manuel Senna IV」  
 ・時間割編成において担当者の変更「内田 (巳井) るり」  
 ・時間割編成において担当者の変更「赤木 祐美子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「高木 信宏」  
 ・時間割編成において担当者の変更「柳 基憲」  
 ・時間割編成において担当者の変更「文 芝瑛」  
 ・時間割編成において担当者の変更「増田 正彦」  
 ・時間割編成において担当者の変更「飯嶋 裕治」  
 ・時間割編成において担当者の変更「井上 法久」  
 ・時間割編成において担当者の変更「國越 道貴」  
 ・時間割編成において担当者の変更「塩盛 俊明」  
 ・時間割編成において担当者の変更「西谷 郁」  
 ・時間割編成において担当者の変更「樋口 和美」  
 ・時間割編成において担当者の変更「松木 俊暁」  
 ・時間割編成において担当者の変更「宮崎 真佐也」  
 ・時間割編成において担当者の変更「村山 実和子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「安居 誠」  
 ・時間割編成において担当者の変更「矢野 太一」  
 ・時間割編成において担当者の変更「案浦 知仁」  
 ・時間割編成において担当者の変更「城戸 浩章」  
 ・時間割編成において担当者の変更「鈴木 裕介」  
 ・時間割編成において担当者の変更「Dragana Lazic」  
 ・時間割編成において担当者の変更「Katharina Barkley」  
 ・時間割編成において担当者の変更「Nicolas Emerson」  
 ・時間割編成において担当者の変更「Shane Minter」  
 ・時間割編成において担当者の変更「海村 佳惟」  
 ・時間割編成において担当者の変更「朴 熙成」  
 ・時間割編成において担当者の変更「矢ヶ部 あかり」  
 ・時間割編成において担当者の変更「金 活蘭」  
 ・時間割編成において担当者の変更「山口 晋平」  
 ・時間割編成において担当者の変更「清永 克己」  
 ・時間割編成において担当者の変更「中村 公泰」  
 ・時間割編成において担当者の変更「渡部 明子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「富田 裕」  
 ・時間割編成において担当者の変更「富岡 美穂」  
 ・時間割編成において担当者の変更「平川 公子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「後藤 典子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「柴藤 絵美」

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
16 名	8 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
10	6	1	1	18	10	5	3	0	18
(10)	(6)	(1)	(1)	(18)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
10	5	3	0	18	10	5	3	0	18
[ 0 ]	[ Δ 1 ]	[ 2 ]	[ Δ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ Δ 1 ]	[ 2 ]	[ Δ 1 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
教授 70/66 准教授 64 講師 64 助教 60	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{18} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	山本 卓宏	H29.3	選択	離散数学Ⅰ	①	H29.3一身上の都合により退職のため就任辞退(29)			
				選択	離散数学Ⅱ	①				
				選択	ベクトル解析	①				
				選択	離散数学Ⅲ	①				
				選択	初等幾何学	①				
				選択	統計学	①				
				選択	複素解析	①				
				選択	位相幾何学Ⅰ	①				
				選択	微分幾何学Ⅰ	①				
				選択	位相幾何学Ⅱ	①				
				選択	微分幾何学Ⅱ	①				
				選択	位相空間論	①				
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	12	科目	選択	12	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	12	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	古井 陽之助	H31.3	選択	基礎ゼミナール	①	H31.3.31付け一身上の都合のため辞任（元）			
				必修	情報リテラシー	①				
				必修	情報科学基礎演習	①				
				選択	プログラミング基礎Ⅰ (オーストラリア)	①				
				必修	プログラミング基礎Ⅱ	①				
				必修	データ構造とアルゴリズムⅠ	①				
				選択	プログラミング演習Ⅰ (オーストラリア)	①				
				選択	データ構造とアルゴリズムⅡ	①				
				選択	プロジェクトデザイン管理	①				
				必修	情報科学演習Ⅰ	①				
				必修	情報科学演習Ⅱ	①				
				必修	卒業研究	①				
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	7	科目	必修	7	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	12	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
2	人	必修	7	科目	必修	7	科目	必修	0	科目
		選択	17	科目	選択	17	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	24	科目	計	24	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{18} = 11.11 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 古井准教授の一人上の都合による退職にあたり、後任補充を行い学生への影響が出ないように対応した。</p>	<p>「学生への周知方法」 授業開始前に対応が完了しており、特に混乱はない。</p>
--	--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>設 置 時 ( 2 8 年 )</p>	<p>・芸術学部ビジュアルデザイン学科の入学定員超過の是正に努めること。</p> <p>・商学部第二部商学科、芸術学部生活環境デザイン学科及びソーシャルデザイン学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>・芸術学部ビジュアルデザイン学科の入学定員超過の是正に努め、平成29年度は入学定員75名に対し入学者は80名となった。その結果、入学定員超過率は1.07倍となり、平成29年度平均定員超過率は、1.23倍と是正されている。(29)</p> <p>①商学部第二部商学科定員充足率が数年来0.7倍未満となっていることから、教育改革や様々な入試制度改革を行いながら定員の確保に努めてきたが、社会的な需要等を含め、定員充足には至っていない。そこで、当該学部を含む「文系領域」全体の再構築を検討する中で、新たに届出により「商学部」及び「地域共創学部」を設置することとし、商学部第二部商学科は、平成30年度から学生募集を停止する。(29)</p> <p>②芸術学部生活環境デザイン学科 ③芸術学部ソーシャルデザイン学科</p> <p>芸術学部については、従来の3学科体制から、学科の学びの対象を整理し、高校生にわかり易く再配置するとともに社会の需要に合わせた新規の領域を加え、平成28年4月から5学科体制とした。</p> <p>しかしながら、学部全体の定員充足率は改組前に比して著しく向上したものの、上記の2学科については、改組の意図や学びの領域の新設等が受験生に浸透できなかったため、定員を満たすことが出来なかった。このような結果に至った原因を点検・検証し、今後は改善策を講じた上で学生募集を行い、確実に入学定員を充足できるように務める。(29)</p>	<p>左記同様、定員を満たすことが出来なかった原因を点検・検証し、今後は改善策を講じた上で学生募集を行い、確実に入学定員を充足できるように務める。(29)</p> <p>履行中</p>



<p>設置計画履行状況 調査時 (30年)</p>	<p>芸術学部生活環境デザイン学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> <p>芸術学部ソーシャルデザイン学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>芸術学部については、従来の3学科体制から、学科の学びの対象を整理し、高校生にわかり易く再配置するとともに社会の需要に合わせた新規の領域を加え、平成28年4月から5学科体制とした。</p> <p>しかしながら、学部全体の定員充足率は改組前に比して著しく向上したものの、生活環境デザイン学科及びソーシャルデザイン学科の2学科については、改組の意図や学びの領域の新設等が受験生に浸透できなかったため、定員を満たすことが出来なかった。このような結果に至った原因を点検・検証し、今後は改善策を講じた上で学生募集を行い、確実に入学定員を充足できるように務める。(30)</p> <p>当該学部を含む「文系領域」全体の再構築を行い、新たに届出により「商学部」及び「地域共創学部」を平成30年度から設置したことに伴い、商学部第二部商学科は、同年度から学生募集を停止した。(30)</p>	<p>履行中</p> <p>履行済</p>	<p>左記同様、定員を満たすことが出来なかった原因を点検・検証し、今後は改善策を講じた上で学生募集を行い、確実に入学定員を充足できるように務める。(30)</p>
<p>設置計画履行状況 調査時 (31年)</p>	<p>・入学定員未充足の改善に努めること。(芸術学部生活環境デザイン学科)</p>	<p>指摘事項(改善)</p>	<p>芸術学部については、従来の3学科体制から、学科の学びの対象を整理し、高校生にわかり易く再配置するとともに社会の需要に合わせた新規の領域を加え、平成28年4月から5学科体制とした。</p> <p>しかしながら、学部全体の定員充足率は改組前に比して著しく向上したものの、生活環境デザイン学科については、入学初年度からの定員未充足という実績を踏まえ、高校訪問やオープンキャンパス等において学生募集の強化を図った。その結果として、開設初年度からは大きく入学者数の改善は見られるが、いまだ定員の充足するには至っていない。</p> <p>来年度は、学科開設からの志願者状況等を改めて検証し、更なる学生募集活動の強化を図った上で確実に定員を充足できるよう努める。(元)</p>	<p>履行中</p>	<p>左記同様、定員を満たすことが出来なかった原因を点検・検証し、今後は改善策を講じた上で学生募集を行い、確実に入学定員を充足できるように務める。(元)</p>

<p>設置計画履行状況 調査時 (31年)</p>	<p>・入学定員未充足の改善に努めること。(芸術学部ソーシャルデザイン学科)</p>	<p>指摘事項 (改善)</p>	<p>芸術学部については、従来の3学科体制から、学科の学びの対象を整理し、高校生にわかり易く再配置するとともに社会の需要に合わせた新規の領域を加え、平成28年4月から5学科体制とした。 しかしながら、学部全体の定員充足率は改組前に比して著しく向上したものの、日本初の学科として設置したソーシャルデザイン学科については、学びの特色や教育内容等について高校生等に浸透できなかったため、開設3年間は定員を充足することができなかった。この結果を踏まえて、改めて高校訪問やオープンキャンパス等による学生募集等の強化を図り、学科の特色等について積極的に高校生等に説明する取り組みを行った。 これらの取り組みにより、平成31年度は志願者も増加し、定員を充足することができたため、今後も引き続き学生募集等の強化を図り、継続して定員を確保できるよう努める。(元)</p>	<p>履行済</p>	
-----------------------------------	--	----------------------	--	------------	--

<p>設置計画履行状況 調査時 (31年)</p>	<p>・入学定員未充足の改善に努めること。(人間科学部子ども教育学科)</p>	<p>指摘事項 (改善)</p>	<p>人間科学部子ども教育学科は、「人間の尊重」を基本理念に、乳幼児期(こども)からの人間の成長及び発達過程を「こころ」と「からだ」の両面から多角的かつ科学的に探究し、「人を支える人」を育て、地域社会に貢献できる人材を養成することを目的として、平成30年度から発足した。 しかしながら、開設初年度においては、学びの特色や教育内容等について高校生等に浸透できなかったため、定員を確保することができなかった。 この結果を踏まえ、改めて高校訪問やオープンキャンパス等の学生募集の強化を図り、学科の特色等について積極的に高校生等に説明する取り組みを行った。 また、開設と同時期に完成した子ども教育学科の実習施設等、オープンキャンパス等を通して広く高校生等に紹介することにより、入学後の学習に対するイメージの向上を図った。 これらの取り組みにより、平成31年度は定員を充足することができたため、今後も引き続き学生募集の強化を図り、継続して定員を確保できるよう努める。 (元)</p>	<p>履行済</p>	
-----------------------------------	---	----------------------	--	------------	--

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<理工学部 情報科学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

- ・ファカルティ・ディベロップメント委員会(以下「FD委員会」という。)
- ・FD委員会学部専門部会

##### b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

- ・FD委員会 年5回 構成員20人 [2018年度実績]
- ・FD委員会学部専門部会 年1回 構成員14人 [2018年度実績]
  
- ・FD委員会 年3回 構成員21人(FD専任教員1人を含む) [2019年度予定]
- ・FD委員会学部専門部会 年1回 構成員14人 [2019年度予定]

##### c 委員会の審議事項等

##### FD委員会

- ・授業及び研究指導改善のための基本方針の策定に関する事項
- ・研修会及び講習会の開催に関する事項
- ・教員の授業及び研究指導の内容・方法についての相互研鑽に関する事項
- ・学生による授業及び研究指導の評価に関する事項
- ・学生の学力育成と能力向上に関する事項
- ・学部間、学科間及び研究科間、専攻間の履修制度の整備及び授業科目の開発・支援に関する事項
- ・その他、委員会が必要と認めた事項

##### 理工学部FD委員会

- ・FD実施計画書及び実施報告書に関する事項  
(項目:公開授業、授業研究会、授業アンケート、産学懇談会、卒業時アンケート)

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

- ・授業アンケート
- ・FD研修会
- ・公開授業
- ・授業情報交換会(FDセミナー等)
- ・教員による授業改善報告書(全専任教員がその情報(抽出したもの)を共有し授業改善に有効に活用)
- ・1年次生へのアンケート
- ・シラバス第三者チェック
- ・学外FDフォーラム等研修会への参加 等

#### 理工学部FD委員会

- ・公開授業（教員相互の授業参観）
- ・学科別授業研究会（教育効果の点検評価）
- ・理工学部授業研究会（学科横断科目等についての情報共有）
- ・FD活動報告書、FD活動計画書
- ・産学懇談会
- ・卒業時アンケート

#### b 実施方法

- ・授業アンケート（マークシート自由記述併用）  
前学期は7月、後学期は12月～1月に在籍学生全員を対象に実施  
全専任教員・非常勤講師対象。
- ・FD研修会（講義方式、パネルディスカッション方式、質疑応答）
- ・公開授業  
学部で作成した計画に基づき実施。公開授業参観者のアンケート提出。各学部で授業研究会を実施。
- ・授業情報交換会（FDセミナー等）  
授業実施方法の工夫・改善に関する事例発表及び意見・情報交換
- ・1年次生へのアンケート（マークシート・自由記述併用）  
1年次生全員を対象に6月に実施（アンケート結果は全教職員が情報を共有し活用）
- ・シラバス第三者チェック  
専門科目は学部、基礎教育科目・外国語科目は基盤教育委員会においてシラバスの第三者チェックを実施  
学部長等から当該教員に対し修正依頼  
学部長等からFD委員会委員長（学長）へ結果報告  
理工学部FDの実施方法は次のとおりである。
- ・公開授業（教員相互の授業参観）
- ・学科別授業研究会（教育効果の点検評価）  
学科毎に、授業研究会を開催し、継続的に教育効果の点検評価を実施する。  
公開授業参観者アンケートについての意見交換も行う。
- ・理工学部授業研究会（学科横断科目等についての情報共有）  
各学科から前年度の学科別授業研究会の報告を行う。  
学科横断科目等についての情報共有を行う。  
他学部等教員の参加希望があれば受け入れる。
- ・FD活動報告書、FD活動計画書
- ・産学懇談会（学科により年1回開催または前期後期各1回実施。地場の企業を招き、授業視察、意見交換会を実施する）
- ・卒業時アンケート（Webにて入力させる）

#### c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・全学FD研修会（年2回開催予定）
- ・公開授業（学部で作成した計画に基づき実施予定）
- ・授業研究会（学部で作成した計画に基づき実施予定）
- ・授業情報交換会（授業実施の方法の工夫・改善に関する事例及び出席者との意見・情報交換等）  
（年1回予定）  
理工学部FDの開催状況は次のとおりである。
- ・公開授業（教員相互の授業参観） 全教員が公開授業科目と公開日を指定し、実施する。
- ・学科別授業研究会（教育効果の点検評価） 各学期末の各1回開催予定。
- ・理工学部授業研究会（学科横断科目等についての情報共有） 前期1回開催予定。
- ・産学懇談会（学科により年1回開催または各学期1回の実施）
- ・卒業時アンケート（3月に実施予定）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業アンケート結果は、各教員に授業アンケート集計結果を配付し、各々が授業改善・授業方法の工夫等に鋭意取り組んでいる。加えて、教員のみならず、学生へのフィードバックや社会への公表のため、ホームページで公表している。

理工学部FD活動結果を踏まえた授業改善への取り組み状況は次のとおりである。

- ・ 公開授業  
参観アンケートの結果を参考に、担当科目の検証・改善を行っている。
- ・ 学科別授業研究会  
授業研究会で意見交換される学生の状況や教育方法等の事例を参考に担当科目の検証・改善を行っている。
- ・ 理工学部授業研究会  
学科別授業研究会の報告を基に担当科目の検証・改善を行っている。
- ・ 産学懇談会  
企業との懇談会で出された意見を参考に、授業内容や授業方法の検証・改善を行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 授業アンケートを実施。実施時期：（前学期：7月、後学期：12月～1月を予定）年2回

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 大学ホームページ上に公開している。（過去5カ年分掲載）
- ・ 各教員にアンケート集計結果を配付している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

理工学部は、親和性の高い情報科学と機械工学、電気工学の融合による「情報メカトロニクス」という九州地域の産業を支えている学術領域を中心とした「教育研究」、「人材養成」、「地域貢献」を学部の特色としている。平成31年度の理工学部の入学者数は下表のように定員370名に対して374名となった。定員に対して4名のプラスとなった。また、情報科学科の第2志望者を機械工学科、電気工学科で数名受け入れられたことは、理工学部がわかりやすい学科構成、地域社会に貢献しやすい学術領域となっていることの表れと評価できる。今後は、学科独自の特色を出し、学部全体でもロボットや人工知能などの複合領域における研究のアウトプットを推進し、社会貢献を積極的に進めていくとともに情宣活動にも注力していく。

〈H31入試結果〉	定員	入学者	定員に対する入学者の比率
理工学部	370	374	1.010
情報科学科	140	146	1.042
機械工学科	130	124	0.953
電気工学科	100	104	1.040

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・2018年度自己点検・評価報告書 2019年5月

b 公表方法

・ホームページ上で公表（過去5カ年分掲載）。

③ 認証評価を受ける計画

・2019年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の大学評価を受審

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 ( 有 ・ 無 )

b 公表有の場合の公表（予定）時期 ( 令和元年5月31日 )

b 公表無の場合の特段の理由 ( )

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

## ファカルティ・ディベロップメント委員会規程（大学）

### （趣旨）

第1条 この規程は、九州産業大学の学部及び大学院の授業内容及び方法の改善を図ることを目的として設置するファカルティ・ディベロップメント委員会（以下「委員会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

### （任務）

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項の推進を図ることを任務とする。

- (1) 授業及び研究指導改善のための基本方針の策定に関する事項
- (2) 研修会及び講習会の開催に関する事項
- (3) 教員の授業及び研究指導の内容・方法についての相互研鑽に関する事項
- (4) 学生による授業及び研究指導の評価に関する事項
- (5) 学生の学力育成と能力向上に関する事項
- (6) 学部間、学科間及び研究科間、専攻間の履修制度の整備及び授業科目の開発・支援に関する事項
- (7) その他、委員会が必要と認めた事項

### （構成）

第3条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 各学部長
- (4) 各研究科長
- (5) 健康・スポーツ科学センター所長
- (6) 教務部長
- (7) 語学教育研究センター所長
- (8) 基礎教育センター所長
- (9) 教職課程主任
- (10) 委員長が指名する専任教員
- (11) 事務局長

### （委員長及び副委員長）

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、学長をもって充て、副委員長は副学長をもって充てる。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

### （会議）

第5条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員の3分の2以上の出席によって成立する。
- 3 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決定し、可否同数のときは、議長が決定する。
- 4 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

### （専門部会）

第6条 委員会の任務を円滑に遂行するために、委員会の下に学部専門部会及び大学院専門部会を置



く。

2 専門部会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第7条 委員会の事務は、大学評価室が行う。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、学長が協議会の意見を聴取した上で行う。

附 則

- 1 この規程は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 九州産業大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程は、廃止する。
- 3 九州産業大学大学院ファカルティ・ディベロップメント委員会規程は、廃止する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

## ファカルティ・ディベロップメント委員会学部専門部会運営要領

### (趣旨)

第1条 この要領は、ファカルティ・ディベロップメント委員会規程（大学）（以下「規程」という。）第6条第2項の規定に基づき、学部専門部会（以下「専門部会」という。）の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

### (任務)

第2条 専門部会は、ファカルティ・ディベロップメント委員会委員長の諮問に応じ、規程第2条に関する事項を協議し、委員長に答申することを任務とする。

### (構成)

第3条 専門部会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 教務部長
- (2) 各学部、健康・スポーツ科学センター及び基礎教育センターから選出された専任教員各1名
- (3) 教職課程専任教員1名
- (4) 教務部事務部長

### (部会長及び副部会長)

第4条 専門部会に部会長及び副部会長各1名を置く。

- 2 部会長は、教務部長をもって充てる。
- 3 副部会長は、委員の中から部会長が指名する。
- 4 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときは、その職務を代行する。

### (会議)

第5条 専門部会は、部会長が招集し、その議長となる。

- 2 専門部会は、委員の3分の2以上の出席により成立する。
- 3 専門部会の議事は、出席委員の過半数をもって決定し、可否同数のときは、議長が決定する。
- 4 部会長が必要と認めたときは、委員以外の者に出席を求め、意見を聞くことができる。

### (事務)

第6条 専門部会の事務は、大学評価室が行う。

### (改廃)

第7条 この要領の改廃は、学長がファカルティ・ディベロップメント委員会の意見を聴取した上で行う。

### 附 則

この要領は、平成18年4月1日から施行する。

### 附 則

この要領は、平成19年4月1日から施行する。

### 附 則

この要領は、平成27年4月1日から施行する。

### 附 則

この要領は、平成31年4月1日から施行する。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人中村産業学園

## (2) 大学名

九州産業大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒813-8503

福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	仔セ トキ ヒサ 一ノ瀬 秋 久 平成23年3月		
学 長	ヤマ モト イノ オ 山 本 盤 男 平成22年12月	サキ タイ スク 榊 泰 輔 平成30年4月	任期満了のため 平成30年4月1日 (30)
学 部 長	ツル タ カノ ヒロ 鶴 田 和 寛 平成29年4月		
学科長等	アカ サカ リョウ 赤 坂 亮 平成29年4月	ウシ ミ ノブ ヒロ 牛 見 宣 博 平成30年4月	任期満了のため 平成30年4月1日 (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
理工学部 機械工学科 学士（工学）	工学関係	4年	130人	— 年次人	520人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	130人 130 (—) [若干名]	— (—) [—]	130人 130 (—) [若干名]	— (—) [—]	130人 130 (若干名) [4]	— (—) [—]	0.90倍	—	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	462 (—) [9]	— (—) [—]	486 (—) [4]	— (—) [—]	603 (2) [10]	— (—) [—]			
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	456 (—) [8]	— (—) [—]	477 (—) [3]	— (—) [—]	587 (2) [9]	— (—) [—]			
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	390 (—) [8]	— (—) [—]	407 (—) [3]	— (—) [—]	442 (1) [3]	— (—) [—]			
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	127 (—) [7]	— (—) [—]	103 (—) [1]	— (—) [—]	124 (1) [1]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	—		—		0.97		0.79		0.95				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次					127 [ 7 ] ( - )	- [ - ] ( - )	103 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	124 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	(令和元年度) ・3年次に編入学1人を含む。また、他 学部への転出1人(3年次)を除く。
2年次							116 [ 7 ] ( - )	- [ - ] ( - )	100 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	
3年次									106 [ 7 ] ( - )	- [ - ] ( - )	
4年次											
計					127 [ 7 ] ( - )		219 [ 8 ] ( - )		330 [ 9 ] ( - )		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成27年度	- 人	- 人	平成27年度	- 人	- 人	-
平成28年度	-	-	平成27年度	- 人	- 人	-
			平成28年度	- 人	- 人	-
平成29年度	127 人	4 人	平成27年度	- 人	- 人	-
			平成28年度	- 人	- 人	-
			平成29年度	4 人	0 人	・修学意欲の低下(1人)、他の教育機関への入学・転学(2人)、就職(1人)
平成30年度	219 人	6 人	平成27年度	- 人	- 人	-
			平成28年度	- 人	- 人	-
			平成29年度	6 人	0 人	・修学意欲の低下(1人)、他の教育機関への入学・転学(3人)、経済的事情(1人)、成績不振(1人)
			平成30年度	0 人	0 人	-
令和元年度	330 人	13 人	平成27年度	- 人	- 人	-
			平成28年度	- 人	- 人	-
			平成29年度	10 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(1人)、経済的事情(1人)、学力不足(3人)、怪我・病氣治療(1人)、就職(2人)、除籍(2人)
			平成30年度	3 人	0 人	・就職(2人)、他の教育機関への入学・転学(1人)
			令和元年度	0 人	0 人	-
合計		23 人		23 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{127} = \boxed{3.14} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{219} = \boxed{2.73} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{13}{330} = \boxed{3.93} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。











科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
留学生に関する科目	日本語初級Ⅰ	1前	1								5	
	日本語初級Ⅱ	1後	1								5	
	日本語初級Ⅲ	1前	1								5	
	日本語初級Ⅳ	1後	1								5	
	日本語中級Ⅰ	2前	1								3	
	日本語中級Ⅱ	2後	1								3	
	日本語中級Ⅲ	2前	1								3	
	日本語中級Ⅳ	2後	1								3	
	日本語上級Ⅰ	3前	1								1	
	日本語上級Ⅱ	3後	1								1	
	日本語上級Ⅲ	3前	1								1	
	日本語上級Ⅳ	3後	1								1	
	日本事情	日本の歴史Ⅰ	1後	2								1
		日本の歴史Ⅱ	1後	2								1
日本の文化Ⅰ		1前	2								1	
日本の文化Ⅱ		1後	2								1	
日本の政治経済Ⅰ		1前	2								1	
日本の政治経済Ⅱ		1後	2								1	
一般日本事情Ⅰ		1前	2								1	
一般日本事情Ⅱ		1後	2								1	
小計(20科目)	-											
合計(238科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
専門必修科目 60 単位、専門選択科目 42 単位以上、基礎教育科目導入科目 2 単位、基礎教育科目実践科目、教養科目及び心と身体の健康科目から 12 単位以上、外国語科目から英語 8 単位以上、合計 124 単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限：48 単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
留学生に関する科目	日本語初級Ⅰ	1前	1								5	
	日本語初級Ⅱ	1後	1								5	
	日本語初級Ⅲ	1前	1								5	
	日本語初級Ⅳ	1後	1								5	
	日本語中級Ⅰ	2前	1								4	
	日本語中級Ⅱ	2後	1								4	
	日本語中級Ⅲ	2前	1								4	
	日本語中級Ⅳ	2後	1								4	
	日本語上級Ⅰ	3前	1								3	
	日本語上級Ⅱ	3後	1								3	
	日本語上級Ⅲ	3前	1								3	
	日本語上級Ⅳ	3後	1								3	
	日本事情	日本の歴史Ⅰ	1前	2								1
		日本の歴史Ⅱ	1後	2								1
日本の文化Ⅰ		1前	2								1	
日本の文化Ⅱ		1後	2								1	
日本の政治経済Ⅰ		1前	2								1	
日本の政治経済Ⅱ		1後	2								1	
一般日本事情Ⅰ		1前	2								1	
一般日本事情Ⅱ		1後	2								1	
小計(20科目)	-											
合計(238科目)	-											
卒業要件及び履修方法												
専門必修科目 60 単位、専門選択科目 42 単位以上、基礎教育科目導入科目 2 単位、基礎教育科目実践科目、教養科目及び心と身体の健康科目から 12 単位以上、外国語科目から英語 8 単位以上、合計 124 単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限：48 単位(年間))												









科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	韓国語 I	1前・後	1								13
	韓国語 II	1前・後	1								11
	韓国語 III	2前	1								2
	韓国語 IV	2後	1								2
	韓国語 V	3前	1								1
	韓国語 VI	3後	1								1
	韓国語 VII	4前	1								1
	韓国語 VIII	4後	1								1
	韓国語会話 I	1前・後	1								10
	韓国語会話 II	1後	1								10
	韓国語会話 III	2前	1								2
	韓国語会話 IV	2後	1								2
	韓国語会話 V	3前	1								1
	韓国語会話 VI	3後	1								1
	韓国語会話 VII	4前	1								1
	韓国語会話 VIII	4後	1								1
	中国語 I	1前・後	1								18
	中国語 II	1後	1								17
	中国語 III	2前	1								2
	中国語 IV	2後	1								2
	中国語 V	3前	1								1
	中国語 VI	3後	1								1
	中国語 VII	4前	1								1
	中国語 VIII	4後	1								1
	中国語会話 I	1前・後	1								11
	中国語会話 II	1後	1								11
	中国語会話 III	2前	1								1
中国語会話 IV	2後	1								1	
中国語会話 V	3前	1								1	
中国語会話 VI	3後	1								1	
中国語会話 VII	4前	1								1	
中国語会話 VIII	4後	1								1	
小計(95科目)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留学生に関する科目	日本語初級 I	1前	1								6
	日本語初級 II	1後	1								6
	日本語初級 III	1前	1								4
	日本語初級 IV	1後	1								4
	日本語中級 I	2前	1								3
	日本語中級 II	2後	1								3
	日本語中級 III	2前	1								3
	日本語中級 IV	2後	1								3
	日本語上級 I	3前	1								1
	日本語上級 II	3後	1								1
	日本語上級 III	3前	1								1
	日本語上級 IV	3後	1								1
	日本の歴史 I	1後	2								1
	日本の歴史 II	1後	2								1
	日本の文化 I	1前	2								1
日本の文化 II	1後	2								1	
日本の政治経済 I	1前	2								1	
日本の政治経済 II	1後	2								1	
一般日本事情 I	1前	2								1	
一般日本事情 II	1後	2								1	
小計(20科目)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計(238科目)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業要件及び履修方法											
専門必修科目 60 単位、専門選択科目 42 単位以上、基礎教育科目導入科目 2 単位、基礎教育科目実践科目、教養科目及び心と身体の健康科目から 12 単位以上、外国語科目から英語 8 単位以上、合計 124 単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限：48 単位(年間))											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	韓国語 I	1前・後	1								11
	韓国語 II	1前・後	1								11
	韓国語 III	2前	1								2
	韓国語 IV	2後	1								1
	韓国語 V	3前	1								1
	韓国語 VI	3後	1								1
	韓国語 VII	4前	1								1
	韓国語 VIII	4後	1								1
	韓国語会話 I	1前・後	1								9
	韓国語会話 II	1前・後	1								9
	韓国語会話 III	2前	1								2
	韓国語会話 IV	2後	1								2
	韓国語会話 V	3前	1								1
	韓国語会話 VI	3後	1								1
	韓国語会話 VII	4前	1								1
	韓国語会話 VIII	4後	1								1
	中国語 I	1前・後	1								18
	中国語 II	1前・後	1								17
	中国語 III	2前	1								2
	中国語 IV	2後	1								2
	中国語 V	3前	1								1
	中国語 VI	3後	1								1
	中国語 VII	4前	1								1
	中国語 VIII	4後	1								1
	中国語会話 I	1前・後	1								11
	中国語会話 II	1前・後	1								11
	中国語会話 III	2前	1								1
中国語会話 IV	2後	1								1	
中国語会話 V	3前	1								1	
中国語会話 VI	3後	1								1	
中国語会話 VII	4前	1								1	
中国語会話 VIII	4後	1								1	
小計(95科目)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
留学生に関する科目	日本語初級 I	1前	1								6
	日本語初級 II	1後	1								6
	日本語初級 III	1前	1								4
	日本語初級 IV	1後	1								4
	日本語中級 I	2前	1								5
	日本語中級 II	2後	1								5
	日本語中級 III	2前	1								4
	日本語中級 IV	2後	1								4
	日本語上級 I	3前	1								2
	日本語上級 II	3後	1								2
	日本語上級 III	3前	1								2
	日本語上級 IV	3後	1								2
	日本の歴史 I	1前	2								1
	日本の歴史 II	1後	2								1
	日本の文化 I	1前	2								1
日本の文化 II	1後	2								1	
日本の政治経済 I	1前	2								1	
日本の政治経済 II	1後	2								1	
一般日本事情 I	1前	2								1	
一般日本事情 II	1後	2								1	
小計(20科目)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計(238科目)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業要件及び履修方法											
専門必修科目 60 単位、専門選択科目 42 単位以上、基礎教育科目導入科目 2 単位、基礎教育科目実践科目、教養科目及び心と身体の健康科目から 12 単位以上、外国語科目から英語 8 単位以上、合計 124 単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限：48 単位(年間))											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)



(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「機械工学実験Ⅰ」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「機械工学実験Ⅱ」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「キャリア開発演習」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「コンピュータリテラシー」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「ロボティクス」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「センサ工学」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「卒業研究」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「基礎ゼミナール」
- ・時間割編成において開講期別を追加「実用国語Ⅰ（文章力）」
- ・時間割編成において開講期別を追加「実践キャリア演習A」
- ・時間割編成において開講期別を追加「数学の世界」
- ・時間割編成において開講期別を追加
- ・時間割編成において開講期別を変更「現代の経営」
- ・時間割編成において開講期別を変更「Professional Writing Skills」
- ・時間割編成において開講期別を変更「Introduction to Translation」
- ・時間割編成において開講期別を変更「Writing for Specific Purposes」
- ・時間割編成において開講期別を変更
- ・時間割編成においての担当者を追加「基礎物理」
- ・時間割編成においての担当者を追加「物理実験」
- ・時間割編成においての担当者を追加「キャリア形成基礎論」
- ・時間割編成においての担当者を追加「数理的教養Ⅰ」
- ・時間割編成においての担当者を追加「数理的教養Ⅱ」
- ・時間割編成においての担当者を追加「実践キャリア演習B」
- ・時間割編成においての担当者を追加「実践力育成演習B」
- ・時間割編成においての担当者を追加「日本の歴史」
- ・時間割編成においての担当者を追加「法学」
- ・時間割編成においての担当者を追加「日本国憲法」
- ・時間割編成においての担当者を追加「現代の政治」
- ・時間割編成においての担当者を追加「文学の世界」
- ・時間割編成においての担当者を追加「教養講座」
- ・時間割編成においての担当者を追加「スポーツ科学演習」
- ・時間割編成においての担当者を追加「Reading & WritingⅠ」
- ・時間割編成においての担当者を追加「Reading & WritingⅡ」
- ・時間割編成においての担当者を追加「Listening & SpeakingⅠ」
- ・時間割編成においての担当者を追加「Listening & SpeakingⅡ」
- ・時間割編成においての担当者を追加「ドイツ語Ⅰ」
- ・時間割編成においての担当者を追加「ドイツ語Ⅱ」
- ・時間割編成においての担当者を追加「ドイツ語会話Ⅰ」
- ・時間割編成においての担当者を追加「ドイツ語会話Ⅱ」
- ・時間割編成においての担当者を追加「フランス語Ⅰ」
- ・時間割編成においての担当者を追加「フランス語会話Ⅰ」
- ・時間割編成においての担当者を追加「韓国語Ⅰ」
- ・時間割編成においての担当者を追加「韓国語会話Ⅰ」
- ・時間割編成においての担当者を追加「中国語Ⅰ」
- ・時間割編成においての担当者を追加「日本語初級Ⅰ」
- ・時間割編成においての担当者を追加「日本語初級Ⅱ」
- ・時間割編成においての担当者を追加
- ・時間割編成において担当者を追加及び開講期別を追加「実用国語Ⅱ（国語力）」
- ・時間割編成において担当者を追加及び開講期別を追加「学生ボランティア入門」
- ・時間割編成において担当者を追加及び開講期別を追加「実践キャリア学修B」
- ・時間割編成において担当者を追加及び開講期別を追加「実践力育成演習A」
- ・時間割編成において担当者を追加及び開講期別を追加「English Expressions」
- ・時間割編成において担当者を追加及び開講期別を追加「Overseas Job Training」
- ・時間割編成において担当者を追加及び開講期別を追加
- ・時間割編成において担当者を追加「世界の歴史」
- ・時間割編成において担当者を追加「倫理学」

- ・時間割編成において担当者を変更「心理学概説」
- ・時間割編成において担当者を変更「科学の世界」
- ・時間割編成において担当者を変更「地理の世界」
- ・時間割編成において担当者を変更「心の健康」
- ・時間割編成において担当者を変更「Four Skills I」
- ・時間割編成において担当者を変更「Four Skills II」
- ・時間割編成において担当者を変更「Labo Training I」
- ・時間割編成において担当者を変更「Labo Training II」
- ・時間割編成において担当者を変更「日本語初級Ⅲ」
- ・時間割編成において担当者を変更「日本語初級Ⅳ」
- ・時間割編成において担当者を変更及び開講期別を変更「九産大力」
- ・時間割編成において担当者を変更及び開講期別を変更「実践キャリア学修A」
- ・時間割編成において担当者を変更及び開講期別を変更「アートスクール」
- ・時間割編成において担当者を追加及び開講期別を変更「Domestic Job Training」
- ・時間割編成において担当者を追加及び開講期別を変更「フランス語Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者を追加及び開講期別を変更「フランス語会話Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者を追加及び開講期別を変更「韓国語会話Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者を追加及び開講期別を変更「中国語Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者を追加及び開講期別を変更「中国語会話Ⅱ」

#### 【平成30年度】

- ・専任教員の学長就任に伴う科目担当者の変更「九州学」
- ・専任教員の学長就任に伴う科目担当者の変更「機械工学実験Ⅰ」
- ・専任教員の学長就任に伴う科目担当者の変更「工業力学」
- ・専任教員の学長就任に伴う科目担当者の変更「はじめての電気工学」
- ・専任教員の学長就任に伴う科目担当者の変更「機械力学」
- ・専任教員の学長就任に伴う科目担当者の変更「ロボティクス」
- ・専任教員の学部長就任に伴う科目担当者の変更「はじめての電気工学」
- ・専任教員の学部長就任に伴う科目担当者の変更「応用機械力学」
- ・専任教員の学部長就任に伴う科目担当者の変更「機械工作実習Ⅱ」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「機械工学実験Ⅰ」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「キャリア開発演習」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「エンジニアリング演習」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「機械材料」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「機械工作実習Ⅰ」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「機械工作法Ⅰ」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「機械CADⅠ」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「機械工作実習Ⅱ」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「機械工作法Ⅱ」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「ものづくり実習」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「設計製図」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「機械CADⅡ」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「卒業研究」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「基礎ゼミナール」
- ・時間割編成において担当者の変更「流体力学」
- ・時間割編成において担当者の変更「流体力学演習」
- ・時間割編成において担当者の変更「応用流体力学」
- ・時間割編成において担当者の変更「物理実験」
- ・時間割編成において担当者の変更「工業数学」
- ・時間割編成において担当者の変更「機械工作法Ⅰ」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置人数の変更「プログラミング基礎Ⅰ」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置人数の変更「プログラミング演習Ⅰ（モバイルアプリ）」
- ・時間割編成において担当者の変更「キャリア開発論」
- ・時間割編成において担当者の変更「キャリア形成戦略」
- ・時間割編成において担当者の変更「実用国語Ⅰ（文章力）」
- ・時間割編成において担当者の変更「実用国語Ⅱ（国語力）」
- ・時間割編成において担当者の変更「実用国語Ⅲ（伝達力）」
- ・時間割編成において担当者の変更「実用国語Ⅳ（表現力）」
- ・時間割編成において担当者の変更「数理的教養Ⅰ」

- ・ 時間割編成において担当者の変更「数理的教養Ⅲ」
- ・ 時間割編成において開講期別の追加「九産大力」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「学生ボランティア入門」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「実践キャリア学修A」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「実践キャリア演習A」
- ・ 時間割編成において担当者及び開講期別の変更「実践キャリア演習B」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「実践力育成演習A」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「実践力育成演習B」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「世界の歴史」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「法学」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「文学の世界」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「心理学概説」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「科学の世界」
- ・ 時間割編成において開講期別の変更「アートスクール」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「教養講座」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「総合講座A」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「総合講座B」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「総合講座C」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「総合講座D」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「スポーツ科学演習」
- ・ 時間割編成において担当者及び開講期別の変更「心の健康」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「健康学」
- ・ 時間割編成において担当者及び開講期別の変更「Reading & Writing I」
- ・ 時間割編成において担当者及び開講期別の変更「Reading & Writing II」
- ・ 時間割編成において担当者及び開講期別の変更「Reading & Writing III」
- ・ 時間割編成において担当者及び開講期別の変更「Reading & Writing IV」
- ・ 時間割編成において担当者及び開講期別の変更「Listening & Speaking I」
- ・ 時間割編成において担当者及び開講期別の変更「Listening & Speaking II」
- ・ 時間割編成において担当者及び開講期別の変更「Listening & Speaking III」
- ・ 時間割編成において担当者及び開講期別の変更「Listening & Speaking IV」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「English Expressions」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Four Skills I」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Four Skills II」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Labo Training I」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Labo Training II」
- ・ 時間割編成において開講期別の変更「Introduction to Translation」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Overseas Job Training」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Advanced Reading & Writing I」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Advanced Reading & Writing II」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「ドイツ語 I」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「ドイツ語 III」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「ドイツ語 IV」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「ドイツ語会話 I」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「ドイツ語会話 II」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「フランス語 I」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「フランス語 II」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「韓国語 I」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「韓国語 IV」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「韓国語会話 I」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「韓国語会話 II」
- ・ 時間割編成において開講期別の変更「中国語 II」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「中国語会話 II」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語中級 I」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語中級 II」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語中級 III」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語中級 IV」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語上級 I」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語上級 II」

- ・時間割編成において担当者の変更「日本語上級Ⅲ」
- ・時間割編成において担当者の変更「日本語上級Ⅳ」
- ・時間割編成において開講期別の変更「日本の歴史Ⅰ」

#### 【令和元年度】

- ・時間割編成において担当者の追加「プロジェクトデザイン管理」
- ・時間割編成において担当者の追加「微分積分演習」
- ・時間割編成において担当者の変更「ロボティクス」
- ・時間割編成において担当者の変更「キャリア開発論」
- ・時間割編成において担当者の変更「実用国語Ⅰ（文章力）」
- ・時間割編成において担当者の変更「実用国語Ⅱ（国語力）」
- ・時間割編成において担当者の変更「数理的教養Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の変更「数理的教養Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の変更及び期別の変更「九産大力」
- ・時間割編成において担当者の変更「学生ボランティア入門」
- ・時間割編成において担当者の変更「実践キャリア学修B」
- ・時間割編成において担当者の変更「実践力育成演習A」
- ・時間割編成において担当者の変更「実践力育成演習B」
- ・時間割編成において担当者の変更「課題解決演習A」
- ・時間割編成において担当者の変更「世界の歴史」
- ・時間割編成において担当者の変更「法学」
- ・時間割編成において担当者の変更「日本国憲法」
- ・時間割編成において担当者の変更「倫理学」
- ・時間割編成において担当者の変更「文学の世界」
- ・時間割編成において担当者の変更「科学の世界」
- ・時間割編成において担当者の変更「現代の経済」
- ・時間割編成において担当者の変更「教養講座」
- ・時間割編成において担当者の変更及び期別の変更「総合講座C」
- ・時間割編成において担当者の変更「Reading & WritingⅠ」
- ・時間割編成において担当者の変更「Reading & WritingⅡ」
- ・時間割編成において担当者の変更「Reading & WritingⅣ」
- ・時間割編成において担当者の変更「Listening & SpeakingⅠ」
- ・時間割編成において担当者の変更「Listening & SpeakingⅡ」
- ・時間割編成において担当者の変更「Listening & SpeakingⅢ」
- ・時間割編成において担当者の変更「Listening & SpeakingⅣ」
- ・時間割編成において担当者の変更「English Expressions」
- ・時間割編成において担当者の変更「Four SkillsⅡ」
- ・時間割編成において担当者の変更「Labo TrainingⅡ」
- ・時間割編成において期別の変更「Professional Writing Skills（未開講）」
- ・時間割編成において担当者の変更「Domestic Job Training」
- ・時間割編成において期別の変更「Overseas Job Training」
- ・時間割編成において担当者の変更及び期別の追加「Advanced Reading & WritingⅠ」
- ・時間割編成において担当者の変更「ドイツ語会話Ⅰ」
- ・時間割編成において期別の変更「ドイツ語会話Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の変更「フランス語Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の変更「韓国語Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の変更「韓国語Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の変更「韓国語Ⅳ」
- ・時間割編成において担当者の変更「中国語Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の変更「中国語Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の変更「日本語初級Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の変更「日本語初級Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の変更「日本語初級Ⅲ」
- ・時間割編成において担当者の変更「日本語初級Ⅳ」
- ・時間割編成において担当者の変更「日本語中級Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の変更「日本語中級Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の変更「日本語上級Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の変更「日本語上級Ⅱ」

- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語上級Ⅲ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語上級Ⅳ」

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
28 科目	210 科目	科目	238 科目	28 科目 [ 0 ]	210 科目 [ 0 ]	科目 [ ]	238 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	Professional Writing Skills	4	1	一般	選択	外国語科目の時間割編成により今年度は未開講とした。代替措置無
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」  
 全学共通に開講している外国語科目は、プログラムの進行に合わせて、全学的な見地から開講科目等を調整しているため、上記(3)の科目はやむを得ず未開講となった。外国語科目については、次年度以降も教育効果野観点から、開講数を調整の上、実施する計画である。  
 「学生への周知方法」  
 混乱を避けるため、授業時間割表に掲載していない。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{238} = \boxed{\phantom{0.42}} 0.42\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	一部校舎敷地と別地 宗像運動場用地 169,907.00㎡ 所要時間：約40分 距離：約22.14Km
	校 舎 敷 地	0㎡	142,274.53㎡ 142,048.53㎡ 150,761.86㎡	2,098.00㎡	144,372.53㎡ 144,146.53㎡ 152,859.86㎡	水谷運動場用地 15,352.53㎡ 所要時間：約10分 距離：約2.5Km
	運 動 場 用 地	0㎡	264,521.18㎡ 269,225.18㎡	0㎡	264,521.18㎡ 269,225.18㎡	九州造形短期大学（必 要面積3,000㎡）と共 用
	小 計	0㎡	406,795.71㎡ 406,569.71㎡ 419,987.04㎡	2,098.00㎡	408,893.71㎡ 408,667.71㎡ 422,085.04㎡	校舎敷地から駐車場 8,710㎡、運動場用地 から駐車場4,704㎡を 除き、その他に計上 (29)
	そ の 他	0㎡	33,419.65㎡ 33,420.02㎡ 20,006.02㎡	0㎡	33,419.65㎡ 33,420.02㎡ 20,006.02㎡	校舎敷地（-3.33㎡） 地目変更による減少 (29)
	合 計	0㎡	440,215.36㎡ 439,989.73㎡ 439,993.06㎡	2,098.00㎡	442,313.36㎡ 442,087.73㎡ 442,091.06㎡	校舎敷地（226㎡）土 地購入による増加 (30) その他（-0.37㎡）地 目変更による減少 (30)
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	九州造形短期大学（必 要面積3,000㎡）と共 用 校舎面積専用から厚生 施設・課外活動施設 11,419.37㎡を除いた (29)	
	166,750.25㎡ <del>166,752.28㎡</del> 149,887.87㎡ 161,307.24㎡  (161,307.24㎡)	1,633㎡  ( 1,633㎡)	4,618.64㎡ <del>4,589.32㎡</del>	173,001.89㎡ <del>172,974.60㎡</del> 156,110.19㎡ 167,529.56㎡  (167,529.56㎡)	3号館新築（16,603.77 ㎡）売店新築（187.31 ㎡）に伴う増加（30） バス車庫解体（88.36 ㎡）に伴う減少（30） 厚生施設用途変更 （161.69㎡）に伴う増 加（30）  屋外トイレ解体 （54.50㎡）に伴う減 少（元）  屋外トイレ新築 （52.47㎡）に伴う増 加（元）  工房棟EV新設（29.32 ㎡）に伴う増加（元）	
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 一部九州造形短期大学 と共用
	169室 153室 150室	228室 227室 204室 208室	487室 491室 502室 503室	27室 26室 24室  (補助職員 0 人)	13室 15室  (補助職員 0 人)	用途を変更した（29） 3号館新築に伴う増加 および既存施設用途変 更のため（30）  用途を変更したため (元)
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		
	理工学部 機械工学科			15 室		

(5)	新設学部等の名称	図書		学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標本	点	
		〔うち外国書〕	冊	〔うち外国書〕	種					電子ジャーナル
図書・設備	理工学部	79,101 [18,902]		1,039 [701]		86 [80]	2,150	10,024 <del>11,498</del> 11,664 11,372	0	大学全体での 共用分を含む 理工学部の専門分野の 分類を見直した (29) (30) 購入計画を変更した ため (29) (30) (元) 図書、視聴覚資料の増 加分は新規購入および 短期大学部図書を追加 したことによる。 (元)
		(89,849[34,020]) ( <del>70,029[18,712]</del> ) (72,472 [18,919]) ( <del>77,381 [18,902]</del> )		(1,039 [701])		(86 [80])	(2,150)	(2,776) ( <del>2,722</del> ) (10,024) ( <del>11,498</del> ) (11,664) ( <del>11,372</del> )	(0)	
	計	79,101 [18,902]		1,039 [701]		86 [80]	2,150	10,024 <del>11,498</del> 11,664 11,372	0	
(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		座席を増やしたため (29)			
	8,828.26㎡		1,091 1,020		730,667 724,889 699,194		書架を増設したため (28) (29) (30) 造形短期大学部書架を 含む (29)			
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
	6,689.58㎡		武道館		弓道場					
		屋内プール		—						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。図書購入費について当初は、予算額を記入していたが、執行額に変更したため (29) (30) 当初は予算額を記入していたが、執行額に変更したため (29) (30) (元)		
		497千円 460千円	497千円 460千円	図書購入費	6,281千円 4,300千円	15,050千円 4,300千円	4,300千円			
	教員1人当り研究費等	14,379千円 18,200千円	72,600千円	設備購入費	184,305千円 111,640千円	253,921千円 14,800千円	59,100千円			
	共同研究費等									
学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
	1,450千円	1,250千円	1,250千円	1,250千円	—千円	—千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資金運用収入等								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消のまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。



4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	九州産業大学								備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学定 員 超過率	定員変更年度 (AC期間の学 科のみ)	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍				
経済学部	4	400	-	1,600	学士 (経済学)	1.09	-	平成5年度	-	
経済学科	4	400	-	1,600	学士 (経済学)	1.09	-	平成5年度	福岡県福岡市東 区松香台二丁目 3番1号	
経済学科 (夜間主コース)	4	-	-	-	学士 (経済学)	-	-	平成5年度	同上	平成30年より学 生募集停止
商学部	4	500	-	1,000	学士 (商学)	1.05	-	平成30年度	-	
経営・流通学科	4	500	-	1,000	学士 (商学)	1.05	-	平成30年度	福岡県福岡市東 区松香台二丁目 3番1号	
地域共創学部	4	280	-	560	学士 (観光学) (地域学)	0.98	-	平成30年度	-	
観光学科	4	150	-	300	学士 (観光学)	0.97	-	平成30年度	福岡県福岡市東 区松香台二丁目 3番1号	
地域づくり学科 (昼夜開講制)	4	130	-	260	学士 (地域学)	0.99	-	平成30年度	同上	
商学部第一部	4	-	-	-	学士 (商学)	-	-	昭和35年度	-	
商学科	4	-	-	-	学士 (商学)	-	-	昭和35年度	福岡県福岡市東 区松香台二丁目 3番1号	平成30年より学 生募集停止
観光産業学科	4	-	-	-	学士 (商学)	-	-	平成11年度	同上	平成30年より学 生募集停止
商学部第二部	4	-	-	-	学士 (商学)	-	-	昭和39年度	-	
商学科	4	-	-	-	学士 (商学)	-	-	昭和39年度	福岡県福岡市東 区松香台二丁目 3番1号	平成30年より学 生募集停止
経営学部	4	-	-	-	学士 (経営学)	-	-	昭和43年度	-	
国際経営学科	4	-	-	-	学士 (経営学)	-	-	昭和56年度	福岡県福岡市東 区松香台二丁目 3番1号	平成30年より学 生募集停止
産業経営学科	4	-	-	-	学士 (経営学)	-	-	昭和43年度	同上	平成30年より学 生募集停止
理工学部	4	370	-	1,110	学士 (情報科学) (工学)	0.97	-	平成29年度	-	
情報科学科	4	140	-	420	学士 (情報科学)	1.05	-	平成29年度	福岡県福岡市東 区松香台二丁目 3番1号	
機械工学科	4	130	-	390	学士 (工学)	0.90	-	平成29年度	同上	
電気工学科	4	100	-	300	学士 (工学)	0.97	-	平成29年度	同上	
生命科学部	4	110	-	330	学士 (工学)	0.92	-	平成29年度	-	
生命科学科	4	110	-	330	学士 (工学)	0.92	-	平成29年度	福岡県福岡市東 区松香台二丁目 3番1号	
建築都市工学部	4	200	-	600	学士 (工学)	1.00	-	平成29年度	-	
建築学科	4	75	-	225	学士 (工学)	0.94	-	平成29年度	福岡県福岡市東 区松香台二丁目 3番1号	
住居・インテリア 学科	4	65	-	195	学士 (工学)	1.11	-	平成29年度	同上	
都市デザイン工 学科	4	60	-	180	学士 (工学)	0.95	-	平成29年度	同上	

大学の名称	九州産業大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
工学部	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	昭和38年度	-	平成29年より学生募集停止
機械工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	昭和38年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目2番1号	平成29年より学生募集停止
電気情報工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	昭和38年度	同上	平成29年より学生募集停止
物質生命化学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	昭和38年度	同上	平成29年より学生募集停止
都市基盤デザイン工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	昭和39年度	同上	平成29年より学生募集停止
建築学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	昭和39年度	同上	平成29年より学生募集停止
住居・インテリア設計学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成22年度	同上	平成29年より学生募集停止
バイオロボティクス学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成16年度	同上	平成29年より学生募集停止
芸術学部	4	300	-	1,200	学士(芸術)	0.97	-	昭和41年度	-	
芸術表現学科	4	65	-	260	学士(芸術)	1.08	-	昭和28年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
写真・映像メディア学科	4	50	-	200	学士(芸術)	1.20	-	平成28年度	同上	
ビジュアルデザイン学科	4	75	-	300	学士(芸術)	1.16	-	平成28年度	同上	
生活環境デザイン学科	4	70	-	280	学士(芸術)	0.72	-	平成28年度	同上	
ソーシャルデザイン学科	4	40	-	160	学士(芸術)	0.59	-	平成28年度	同上	
美術学科	4	-	-	-	学士(芸術)	-	-	昭和41年度	同上	平成28年より学生募集停止
デザイン学科	4	-	-	-	学士(芸術)	-	-	昭和41年度	同上	平成28年より学生募集停止
写真映像学科	4	-	-	-	学士(芸術)	-	-	昭和41年度	同上	平成28年より学生募集停止
国際文化学部	4	140	-	680	学士(国際文化)(文学)	1.11	-	昭和6年度	-	
国際文化学科	4	80	-	320	学士(国際文化)	1.12	-	昭和6年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	平成30年より編入学学生募集停止
日本文化学科	4	60	-	240	学士(国際文化)	1.09	-	平成6年度	同上	平成30年より編入学学生募集停止
臨床心理学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	平成16年度	同上	平成30年より学生募集停止
人間科学部	4	230	-	460	学士(人間科学)	0.92	-	平成30年度	-	
臨床心理学科	4	70	-	140	学士(人間科学)	1.02	-	平成30年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
子ども教育学科	4	80	-	160	学士(人間科学)	0.72	-	平成30年度	同上	
スポーツ健康科学科	4	80	-	160	学士(人間科学)	1.03	-	平成30年度	同上	
情報科学部										
情報科学科	4	-	-	-	学士(情報科学)	-	-	昭和21年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	平成29年より学生募集停止
大学全体	4	2,530	-	10,325	-	1.00	-	-	-	

大学の名称	九州産業大学 大学院									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
経済・ビジネス研究科 経済学専攻 (博士前期課程)	2	7	-	14	修士 (経済学)	0.42	-	平成21年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
現代ビジネス専攻 (博士前期課程)	2	20	-	40	修士 (商学) 修士 (経営学)	0.32	-	平成21年度	同上	
経済・ビジネス専攻 (博士後期課程)	3	5	-	15	博士 (経済学) 博士 (商学) 博士 (経営学)	0.06	-	平成21年度	同上	
工学研究科										
産業技術デザイン専攻 (博士前期課程)	2	35	-	70	修士 (工学)	0.22	-	平成23年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
産業技術デザイン専攻 (博士後期課程)	3	4	-	12	博士 (工学)	0.08	-	平成23年度	同上	
芸術研究科										
造形表現専攻 (博士前期課程)	2	14	-	28	修士 (芸術)	1.10	-	平成24年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
造形表現専攻 (博士後期課程)	3	6	-	18	博士 (芸術)	0.27	-	平成11年度	同上	
国際文化研究科										
国際文化専攻 (博士前期課程)	2	15	-	30	修士 (文学)	0.93	-	平成10年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
国際文化専攻 (博士後期課程)	3	5	-	15	博士 (文学)	0.20	-	平成10年度	同上	
情報科学研究科										
情報科学専攻 (博士前期課程)	2	20	-	40	修士 (情報科学)	0.17	-	平成16年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
情報科学専攻 (博士後期課程)	3	4	-	12	博士 (情報科学)	0.00	-	平成16年度	同上	
大学院全体 (博士前期課程)	2	111	-	222	-	0.55	-	-		
大学院全体 (博士後期課程)	3	24	-	72	-	0.12	-	-		
大学の名称	九州産業大学造形短期大学部									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
造形芸術学科	2	150	-	300	短期大学士 (芸術)	0.95	-	平成19年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	平成29年度より名称変更

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学部 機械学科>

(1) ① 担当教員表

【届出時】		【平成29年度】		【平成30年度】		【令和元年度】		【令和2年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	<就任(予定)年月>保有学位等	氏名	<就任(予定)年月>保有学位等	氏名	<就任(予定)年月>保有学位等	氏名	<就任(予定)年月>保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
専	教授	赤坂 亮	<平成29年4月>博士(工学)	赤坂 亮	<平成29年4月>博士(工学)	赤坂 亮	<平成29年4月>博士(工学)	赤坂 亮	<平成29年4月>博士(工学)
		基礎ゼミナール 流体力学 熱力学 応用熱力学 機械工学実験Ⅰ 熱力学演習 伝熱工学 機械工学実験Ⅱ キャリア開発演習 エンジニアリング演習※ 卒業研究		基礎ゼミナール 流体力学 熱力学 応用熱力学 機械工学実験Ⅰ 熱力学演習 伝熱工学 機械工学実験Ⅱ キャリア開発演習 エンジニアリング演習※ 卒業研究		基礎ゼミナール 流体力学 熱力学 応用熱力学 熱力学演習 伝熱工学 機械工学実験Ⅱ キャリア開発演習 エンジニアリング演習※ 卒業研究		基礎ゼミナール 流体力学 熱力学 応用熱力学 熱力学演習 伝熱工学 機械工学実験Ⅱ キャリア開発演習 エンジニアリング演習※ 卒業研究 <b>インターンシップ</b>	
専	教授	牛見 宣博	<平成29年4月>博士(工学)	牛見 宣博	<平成29年4月>博士(工学)	牛見 宣博	<平成29年4月>博士(工学)	牛見 宣博	<平成29年4月>博士(工学)
		機械製図Ⅰ 基礎ゼミナール 機械製図Ⅱ 機械材料 材料力学Ⅰ 材料力学Ⅱ 機械工作法Ⅰ 計算機システム プロジェクトデザイン管理 機械・ロボット設計Ⅰ キャリア開発演習 卒業研究		機械製図Ⅰ 基礎ゼミナール 機械製図Ⅱ 機械材料 材料力学Ⅰ 材料力学Ⅱ 機械工作法Ⅰ 計算機システム プロジェクトデザイン管理 機械・ロボット設計Ⅰ キャリア開発演習 卒業研究		機械製図Ⅰ 基礎ゼミナール 機械製図Ⅱ 機械材料 材料力学Ⅰ 材料力学Ⅱ 機械工作法Ⅰ 計算機システム プロジェクトデザイン管理 機械・ロボット設計Ⅰ キャリア開発演習 卒業研究		機械製図Ⅰ 基礎ゼミナール 機械製図Ⅱ 機械材料 材料力学Ⅰ 材料力学Ⅱ 機械工作法Ⅰ 計算機システム プロジェクトデザイン管理 機械・ロボット設計Ⅰ キャリア開発演習 卒業研究	
専	教授	丘 華	<平成29年4月>工学博士	丘 華	<平成29年4月>工学博士	丘 華	<平成29年4月>工学博士	丘 華	<平成29年4月>工学博士
		基礎ゼミナール 機械工作法Ⅰ メカトロニクス 機械工作実習Ⅰ 機械力学 工業数学 機械工作実習Ⅱ 機構学 機械・ロボット設計Ⅰ 機械・ロボット設計Ⅱ キャリア開発演習 エンジニアリング演習※ 卒業研究		基礎ゼミナール 機械工作法Ⅰ メカトロニクス 機械工作実習Ⅰ 機械力学 工業数学 機械工作実習Ⅱ 機構学 機械・ロボット設計Ⅰ 機械・ロボット設計Ⅱ キャリア開発演習 エンジニアリング演習※ 卒業研究		基礎ゼミナール メカトロニクス 機械工作実習Ⅰ 機械力学 機械工作実習Ⅱ 機構学 機械・ロボット設計Ⅰ 機械・ロボット設計Ⅱ キャリア開発演習 エンジニアリング演習※ 卒業研究		基礎ゼミナール メカトロニクス 機械工作実習Ⅰ 機械力学 機械工作実習Ⅱ 機構学 機械・ロボット設計Ⅰ 機械・ロボット設計Ⅱ キャリア開発演習 エンジニアリング演習※ 卒業研究	
専	教授	榊 泰輔	<平成29年4月>博士(工学)	榊 泰輔	<平成29年4月>博士(工学)	榊 泰輔	<平成29年4月>博士(工学)		
		基礎ゼミナール はじめての電気工学 九州学※ 工業力学 機械力学 機械工作実習Ⅰ ロボティクス プロジェクトデザイン管理 キャリア開発演習 インターンシップ 卒業研究		基礎ゼミナール はじめての電気工学 九州学※ 工業力学 機械力学 機械工作実習Ⅰ ロボティクス プロジェクトデザイン管理 キャリア開発演習 インターンシップ 卒業研究		プロジェクトデザイン管理 キャリア開発演習 インターンシップ 卒業研究			
専	教授	鶴田 和寛	<平成29年4月>博士(工学)	鶴田 和寛	<平成29年4月>博士(工学)	鶴田 和寛	<平成29年4月>博士(工学)	鶴田 和寛	<平成29年4月>博士(工学)
		基礎ゼミナール はじめての電気工学 九州学※ 技術者倫理 メカトロニクス 応用機械力学 機械工作実習Ⅱ 制御工学 プロジェクトデザイン管理 モータ制御 キャリア開発演習 卒業研究		基礎ゼミナール はじめての電気工学 九州学※ 技術者倫理 メカトロニクス 応用機械力学 機械工作実習Ⅱ 制御工学 プロジェクトデザイン管理 モータ制御 キャリア開発演習 卒業研究		九州学※ 技術者倫理 メカトロニクス 機械工作実習Ⅱ 制御工学 プロジェクトデザイン管理 モータ制御 キャリア開発演習 卒業研究 <b>ロボティクス</b>			
専	教授	寺西 高広	<平成29年4月>博士(工学)	寺西 高広	<平成29年4月>博士(工学)	寺西 高広	<平成29年4月>博士(工学)	寺西 高広	<平成29年4月>博士(工学)
		基礎ゼミナール 工学 機械材料 材料力学Ⅰ 材料力学Ⅱ 機械工学実験Ⅰ 機械工学実験Ⅱ 材料強度学 設計製図 キャリア開発演習 エンジニアリング演習※ 卒業研究		基礎ゼミナール 工学 機械材料 材料力学Ⅰ 材料力学Ⅱ 機械工学実験Ⅰ 機械工学実験Ⅱ 材料強度学 設計製図 キャリア開発演習 エンジニアリング演習※ 卒業研究		基礎ゼミナール 工学 機械材料 材料力学Ⅰ 材料力学Ⅱ 機械工学実験Ⅰ 機械工学実験Ⅱ 材料強度学 設計製図 キャリア開発演習 エンジニアリング演習※ 卒業研究		基礎ゼミナール 工学 機械材料 材料力学Ⅰ 材料力学Ⅱ 機械工学実験Ⅰ 機械工学実験Ⅱ 材料強度学 設計製図 キャリア開発演習 エンジニアリング演習※ 卒業研究	



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 助教		福田 翔 <平成30年4月> 博士 (工学)
		基礎ゼミナール 機械CAD I 熱力学 応用熱力学 熱力学演習 熱機関 伝熱工学 キャリア開発演習 機械CAD II 自動車工学 卒業研究
兼任 教授		織田 一弘 <平成29年4月> 博士 (工学) 九州学※
兼任 教授		金子 和也 <平成29年4月> 理学博士 基礎物理 物理実験
兼任 教授		合志 和晃 <平成29年4月> 博士 (情報科学) プログラミング入門
兼任 教授		長須 正明 <平成31年4月> 職業指導
兼任 教授		山下 三平 <平成29年4月> 博士 (工学) 九州学※
兼任 教授		米満 宗明 <平成29年4月> 農学士 九州学※
兼任 教授		大江 英夫 <平成29年4月> 米英学士 九州学※
兼任 准教授		鷹野 重之 <平成31年4月> 博士 (学術) 物理実験 基礎物理 科学の世界
兼任 講師		鷹野 重之 <平成29年4月> 博士 (学術) 物理実験 基礎物理 科学の世界
兼任 准教授		信濃 康博 <平成29年4月> 工学修士 九州学※
兼任 准教授		橋口 卓平 <平成29年4月> 博士 (工学) 九州学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 助教		福田 翔 <平成30年4月> 博士 (工学)
		基礎ゼミナール 機械CAD I 熱力学 応用熱力学 熱力学演習 熱機関 伝熱工学 キャリア開発演習 機械CAD II 自動車工学 卒業研究
兼任 教授		織田 一弘 <平成29年4月> 博士 (工学) 九州学※
兼任 教授		金子 和也 <平成29年4月> 理学博士 基礎物理 物理実験
兼任 教授		合志 和晃 <平成29年4月> 博士 (情報科学) プログラミング入門
兼任 教授		長須 正明 <平成31年4月> 職業指導
兼任 教授		山下 三平 <平成29年4月> 博士 (工学) 九州学※
兼任 教授		米満 宗明 <平成29年4月> 農学士 九州学※
兼任 教授		高橋 誠 <平成29年4月> 農学士 九州学※
兼任 准教授		鷹野 重之 <平成31年4月> 博士 (学術) 物理実験 基礎物理 科学の世界
兼任 講師		鷹野 重之 <平成29年4月> 博士 (学術) 物理実験 基礎物理 科学の世界
兼任 准教授		信濃 康博 <平成29年4月> 工学修士 九州学※
兼任 教授		橋口 卓平 <平成29年4月> 博士 (工学) 九州学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 助教		福田 翔 <平成30年4月> 博士 (工学)
		基礎ゼミナール 機械CAD I 熱力学 応用熱力学 熱力学演習 熱機関 伝熱工学 キャリア開発演習 機械CAD II 自動車工学 機械工学実験 I 卒業研究
兼任 教授		織田 一弘 <平成29年4月> 博士 (工学) 九州学※
兼任 教授		金子 和也 <平成29年4月> 理学博士 基礎物理 物理実験
兼任 教授		合志 和晃 <平成29年4月> 博士 (情報科学) プログラミング入門
兼任 教授		長須 正明 <平成31年4月> 職業指導
兼任 教授		山下 三平 <平成29年4月> 博士 (工学) 九州学※
兼任 教授		米満 宗明 <平成29年4月> 農学士 九州学※
兼任 教授		高橋 誠 <平成29年4月> 農学士 九州学※
兼任 准教授		鷹野 重之 <平成31年4月> 博士 (学術) 物理実験 基礎物理 科学の世界
兼任 講師		鷹野 重之 <平成29年4月> 博士 (学術) 物理実験 基礎物理 科学の世界
兼任 准教授		信濃 康博 <平成29年4月> 工学修士 九州学※
兼任 教授		橋口 卓平 <平成29年4月> 博士 (工学) 九州学※
兼任 准教授		小倉 弘毅 <平成30年4月> 博士 (工学) はじめての電気工学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 助教		福田 翔 <平成30年4月> 博士 (工学)
		基礎ゼミナール 機械CAD I 熱力学 応用熱力学 熱力学演習 熱機関 伝熱工学 キャリア開発演習 機械CAD II 自動車工学 機械工学実験 I 卒業研究
兼任 教授		織田 一弘 <平成29年4月> 博士 (工学) 九州学※
兼任 教授		金子 和也 <平成29年4月> 理学博士 基礎物理 物理実験
兼任 教授		合志 和晃 <平成29年4月> 博士 (情報科学) プログラミング入門
兼任 教授		長須 正明 <平成31年4月> 職業指導
兼任 教授		山下 三平 <平成29年4月> 博士 (工学) 九州学※
兼任 教授		米満 宗明 <平成29年4月> 農学士 九州学※
兼任 教授		高橋 誠 <平成29年4月> 農学士 九州学※
兼任 准教授		鷹野 重之 <平成31年4月> 博士 (学術) 物理実験 基礎物理 科学の世界
兼任 講師		鷹野 重之 <平成29年4月> 博士 (学術) 物理実験 基礎物理 科学の世界
兼任 准教授		信濃 康博 <平成29年4月> 工学修士 九州学※
兼任 教授		橋口 卓平 <平成29年4月> 博士 (工学) 九州学※
兼任 准教授		小倉 弘毅 <平成30年4月> 博士 (工学) はじめての電気工学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 教授		田中 靖人 <平成31年4月> 農学士 職業指導
兼任 教授		山下 三平 <平成29年4月> 博士 (工学) 九州学※
兼任 教授		米満 宗明 <平成29年4月> 農学士 九州学※
兼任 教授		高橋 誠 <平成29年4月> 農学士 九州学※
兼任 教授		阿久根 忠博 <平成20年4月> 博士 (工学) はじめての電気工学
兼任 准教授		鷹野 重之 <平成31年4月> 博士 (学術) 物理実験 基礎物理 科学の世界
兼任 講師		鷹野 重之 <平成29年4月> 博士 (学術) 物理実験 基礎物理 科学の世界
兼任 准教授		信濃 康博 <平成29年4月> 工学修士 九州学※
兼任 教授		橋口 卓平 <平成29年4月> 博士 (工学) 九州学※
兼任 准教授		小倉 弘毅 <平成30年4月> 博士 (工学) はじめての電気工学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	山本 卓宏 <平成29年4月> 博士 (理学)
		基礎数学
兼任	講師	真方 敦雄 <平成29年4月> 博士 (工学)
		九州学※
兼任	講師	富田 英夫 <平成29年4月> 博士 (工学)
		九州学※
兼任	講師	鳴海 孝之 <平成29年4月> 博士 (工学)
		物理実験 基礎物理
兼任	講師	福永 知則 <平成29年4月> 博士 (理学)
		基礎数学 I 微分積分 I 微分積分 II 微分方程式
兼任	講師	山田 忠 <平成29年4月> 博士 (農学)
		九州学※
兼任	講師	横田 雅紀 <平成29年4月> 博士 (工学)
		九州学※
兼任	助教	溝田 裕介 <平成29年4月> 博士 (数理学)
		基礎数学 I 微分積分 I 微分積分演習 微分積分 II 微分方程式
兼任	助教	神屋 郁子 <平成29年4月> 博士 (情報科学)
		プログラミング入門 プログラミング基礎 I
兼任	講師	大田 暢彦 <平成30年4月> 博士 (工学)
		品質管理 I 品質管理 II
兼任	講師	久恒 敏幸 <平成31年4月> 芸術工学士
		プロダクトデザイン演習
兼任	講師	西釜 義勝 <平成31年4月>
		工業経営

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	浜田 敬史 <平成29年4月> 博士 (情報数理学)
		基礎数学
兼任	講師	真方 敦雄 <平成29年4月> 博士 (工学)
		九州学※
兼任	講師	市原 猛志 <平成29年4月> 博士 (工学)
		九州学※
兼任	講師	福永 知則 <平成29年4月> 博士 (理学)
		基礎数学 I 微分積分 I 微分積分 II 微分方程式
兼任	講師	山田 忠 <平成29年4月> 博士 (農学)
		九州学※
兼任	講師	横田 雅紀 <平成29年4月> 博士 (工学)
		九州学※
兼任	助教	溝田 裕介 <平成29年4月> 博士 (数理学)
		基礎数学 I 微分積分 I 微分積分演習 微分積分 II 微分方程式
兼任	助教	神屋 郁子 <平成29年4月> 博士 (情報科学)
		プログラミング入門 プログラミング基礎 I
兼任	講師	大田 暢彦 <平成30年4月> 博士 (工学)
		品質管理 I 品質管理 II
兼任	講師	久恒 敏幸 <平成31年4月> 芸術工学士
		プロダクトデザイン演習
兼任	講師	西釜 義勝 <平成31年4月>
		工業経営

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	浜田 敬史 <平成29年4月> 博士 (情報数理学)
		基礎数学
兼任	講師	真方 敦雄 <平成29年4月> 博士 (工学)
		九州学※
兼任	講師	富田 英夫 <平成30年4月> 博士 (工学)
		九州学※
兼任	講師	福永 知則 <平成29年4月> 博士 (理学)
		基礎数学 I 微分積分 I 微分積分 II 微分方程式 工業数学
兼任	講師	山田 忠 <平成29年4月> 博士 (農学)
		九州学※
兼任	講師	横田 雅紀 <平成29年4月> 博士 (工学)
		九州学※
兼任	助教	溝田 裕介 <平成29年4月> 博士 (数理学)
		基礎数学 I 微分積分 I 微分積分演習 微分積分 II 微分方程式
兼任	講師	神屋 郁子 <平成29年4月> 博士 (情報科学)
		プログラミング入門 プログラミング基礎 I
兼任	助教	三浦 賢明 <平成30年4月> 博士 (理学)
		基礎物理 物理実験
兼任	講師	大田 暢彦 <平成30年4月> 博士 (工学)
		品質管理 I 品質管理 II
兼任	講師	久恒 敏幸 <平成31年4月> 芸術工学士
		プロダクトデザイン演習
兼任	講師	西釜 義勝 <平成31年4月>
		工業経営

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	浜田 敬史 <平成29年4月> 博士 (情報数理学)
		基礎数学
兼任	講師	真方 敦雄 <平成29年4月> 博士 (工学)
		九州学※
兼任	講師	富田 英夫 <平成30年4月> 博士 (工学)
		九州学※
兼任	講師	福永 知則 <平成29年4月> 博士 (理学)
		基礎数学 I 微分積分 I 微分積分 II 微分方程式 工業数学 微分積分演習
兼任	講師	山田 忠 <平成29年4月> 博士 (農学)
		九州学※
兼任	准教授	横田 雅紀 <平成29年4月> 博士 (工学)
		九州学※
兼任	助教	溝田 裕介 <平成29年4月> 博士 (数理学)
		基礎数学 I 微分積分 I 微分積分演習 微分積分 II 微分方程式
兼任	講師	神屋 郁子 <平成29年4月> 博士 (情報科学)
		プログラミング入門 プログラミング基礎 I
兼任	助教	三浦 賢明 <平成30年4月> 博士 (理学)
		基礎物理 物理実験
兼任	講師	大田 暢彦 <平成30年4月> 博士 (工学)
		品質管理 I 品質管理 II
兼任	講師	加藤 優 <平成31年4月> 芸術工学士
		プロダクトデザイン演習
兼任	講師	飛田 勇 <平成31年4月> 博士 (経営学)
		工業経営

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	山本 卓宏 <平成29年4月> 博士 (理学)
		基礎数学
兼任	講師	真方 敦雄 <平成29年4月> 博士 (工学)
		九州学※
兼任	講師	富田 英夫 <平成29年4月> 博士 (工学)
		九州学※
兼任	講師	鳴海 孝之 <平成29年4月> 博士 (工学)
		物理実験 基礎物理
兼任	講師	福永 知則 <平成29年4月> 博士 (理学)
		基礎数学 I 微分積分 I 微分積分 II 微分方程式
兼任	講師	山田 忠 <平成29年4月> 博士 (農学)
		九州学※
兼任	講師	横田 雅紀 <平成29年4月> 博士 (工学)
		九州学※
兼任	助教	溝田 裕介 <平成29年4月> 博士 (数理学)
		基礎数学 I 微分積分 I 微分積分演習 微分積分 II 微分方程式
兼任	助教	神屋 郁子 <平成29年4月> 博士 (情報科学)
		プログラミング入門 プログラミング基礎 I
兼任	講師	大田 暢彦 <平成30年4月> 博士 (工学)
		品質管理 I 品質管理 II
兼任	講師	久恒 敏幸 <平成31年4月> 芸術工学士
		プロダクトデザイン演習
兼任	講師	西釜 義勝 <平成31年4月>
		工業経営





専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	原田 晴美 <平成30年4月> 短期大学卒業 物理実験
兼任	講師	中坊 滋一 <平成30年4月> 博士 (数理学) 工業数学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	原田 晴美 <平成30年4月> 短期大学卒業 機械CAD I
兼任	講師	中坊 滋一 <平成30年4月> 博士 (数理学) 工業数学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

















専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	小田部 貴子 <平成29年4月> 博士 (心理学) キャリア形成基礎論			小田部 貴子 <平成29年4月> 博士 (心理学) キャリア形成基礎論 キャリア形成戦略 学生ボランティア入門			小田部 貴子 <平成29年4月> 博士 (心理学) キャリア形成基礎論 キャリア形成戦略 学生ボランティア入門			
			兼任	講師	堀口 悟郎 <平成29年4月> 法務博士 (専門職) 実践力育成演習A※									
			兼任	講師	小川 悠紀 <平成29年4月> 修士 (教育学) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV Four Skills I			小川 悠紀 <平成29年4月> 修士 (教育学) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV English Expressions Four Skills I Four Skills II			小川 悠紀 <平成29年4月> 修士 (教育学) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV Four Skills I Domestic Job Training			
			兼任	講師	WITKIN Neil <平成29年4月> Master of Arts (英国) Reading & Writing I Reading & Writing II Listening & Speaking I Listening & Speaking II			WITKIN Neil <平成29年4月> Master of Arts (英国) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV Project I Project II			WITKIN Neil <平成29年4月> Master of Arts (英国) Reading & Writing I Reading & Writing II Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV Domestic Job Training			
			兼任	講師	KUKHARUK Alexey <平成29年4月> MA TESOL (英国) Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV Four Skills I Labo Training I Labo Training II			KUKHARUK Alexey <平成29年4月> MA TESOL (英国) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV Four Skills I Four Skills II Labo Training I Labo Training II			KUKHARUK Alexey <平成29年4月> MA TESOL (英国) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV Writing for Specific Purposes			
			兼任	講師	GAPOBIANCO Paul <平成29年4月> M.A.(Asian Studies) Reading & Writing III Reading & Writing IV Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV			GAPOBIANCO Paul <平成29年4月> M.A.(Asian Studies) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV						
			兼任	講師	BAKER Matthew <平成29年4月> MA TEFL/TESL (英国) Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV Introduction to Translation			BAKER Matthew <平成29年4月> MA TEFL/TESL (英国) Reading & Writing III Reading & Writing IV Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV Introduction to Translation			BAKER Matthew <平成29年4月> MA TEFL/TESL (英国) Reading & Writing III Reading & Writing IV Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV Introduction to Translation			
			兼任	講師	PAIN Ryan <平成29年4月> Master of Applied Linguistics (泰州) Reading & Writing III Reading & Writing IV Listening & Speaking III Listening & Speaking IV Four Skills I Four Skills II Labo Training I Labo Training II									
			兼任	講師	Jonathan Shechter <平成30年4月> 修士 (教育学) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV			Jonathan Shechter <平成30年4月> 修士 (教育学) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV			Jonathan Shechter <平成30年4月> 修士 (教育学) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV			



























専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Plaut Se'bastien <平成29年4月> Maitrise (仏)
		フランス語会話 I フランス語会話 II フランス語会話 III フランス語会話 IV フランス語会話 V フランス語会話 VI フランス語会話 VII フランス語会話 VIII
兼任	講師	Benjamin Laba <平成29年4月> GRADE DE MASTER (仏)
兼任	講師	李 相穆 <平成29年4月> 博士 (国際文化)
兼任	講師	元 慶臣 <平成29年4月> 修士 (文学) (韓国)
兼任	講師	大川 大輔 <平成29年4月> 博士 (文学) (韓国)
兼任	講師	金 貞淑 <平成29年4月> 修士 (文学) ※
兼任	講師	高 仁淑 <平成29年4月> 博士 (教育学)
兼任	講師	小島 大輝 <平成29年4月> M.A. in Korean Language and Literature (韓国)
兼任	講師	申 鎬 <平成29年4月> 修士 (比較社会文化)
兼任	講師	徐 正三 <平成29年4月> 修士 (芸術工学) ※
兼任	講師	張 美仙 <平成29年4月> 博士 (教育学)
兼任	講師	朴 明美 <平成29年4月> 修士 (文学)
兼任	講師	安 潯珠 <平成29年4月> 修士 (政治学) ※
兼任	講師	李 知映 <平成29年4月> 家政学修士 (韓国)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Plaut Se'bastien <平成29年4月> Maitrise (仏)
		フランス語会話 I フランス語会話 II フランス語会話 III フランス語会話 IV フランス語会話 V フランス語会話 VI フランス語会話 VII フランス語会話 VIII
兼任	講師	李 相穆 <平成29年4月> 博士 (国際文化)
兼任	講師	大川 大輔 <平成29年4月> 博士 (文学) (韓国)
兼任	講師	高 仁淑 <平成29年4月> 博士 (教育学)
兼任	講師	申 鎬 <平成29年4月> 修士 (比較社会文化)
兼任	講師	張 美仙 <平成29年4月> 博士 (教育学)
兼任	講師	朴 明美 <平成29年4月> 修士 (文学)
兼任	講師	安 潯珠 <平成29年4月> 修士 (政治学) ※
兼任	講師	李 知映 <平成29年4月> 家政学修士 (韓国)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Plaut Se'bastien <平成29年4月> Maitrise (仏)
		フランス語会話 I フランス語会話 II フランス語会話 III フランス語会話 IV
兼任	講師	李 相穆 <平成29年4月> 博士 (国際文化)
兼任	講師	大川 大輔 <平成29年4月> 博士 (文学) (韓国)
兼任	講師	高 仁淑 <平成29年4月> 博士 (教育学)
兼任	講師	申 鎬 <平成29年4月> 修士 (比較社会文化)
兼任	講師	張 美仙 <平成29年4月> 博士 (教育学)
兼任	講師	安 潯珠 <平成29年4月> 修士 (政治学) ※
兼任	講師	李 知映 <平成29年4月> 家政学修士 (韓国)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Plaut Se'bastien <平成29年4月> Maitrise (仏)
		フランス語会話 I フランス語会話 II フランス語会話 III フランス語会話 IV
兼任	講師	大川 大輔 <平成29年4月> 博士 (文学) (韓国)
兼任	講師	高 仁淑 <平成29年4月> 博士 (教育学)
兼任	講師	申 鎬 <平成29年4月> 修士 (比較社会文化)
兼任	講師	張 美仙 <平成29年4月> 博士 (教育学)
兼任	講師	安 潯珠 <平成29年4月> 修士 (政治学) ※
兼任	講師	李 知映 <平成29年4月> 家政学修士 (韓国)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	李 知映 <平成29年4月> 家政学修士 (韓国)









専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	長谷川 真史 <平成29年4月> 博士 (文学) 文学の世界 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ									
			兼任	講師	真方 浩二 <平成29年4月> 修士 (スポーツ健康科学) スポーツ科学演習	兼任	講師	真方 浩二 <平成29年4月> 修士 (スポーツ健康科学) スポーツ科学演習	兼任	講師	真方 浩二 <平成30年4月> 修士 (スポーツ健康科学) スポーツ科学演習			
			兼任	講師	保家 信太郎 <平成29年4月> 修士 (教育学) Reading & Writing I Reading & Writing II	兼任	講師	保家 信太郎 <平成29年4月> 修士 (教育学) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV	兼任	講師	保家 信太郎 <平成29年4月> 修士 (教育学) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV			
			兼任	講師	才津 純子 <平成29年4月> 修士 (文学) Reading & Writing I Reading & Writing II	兼任	講師	才津 純子 <平成29年4月> 修士 (文学) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV	兼任	講師	才津 純子 <平成29年4月> 修士 (文学) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV			
			兼任	講師	福田 成典 <平成29年4月> 修士 (文学) Reading & Writing I Reading & Writing II									
			兼任	講師	蒲原 順子 <平成29年4月> 博士 (応用言語学) Reading & Writing I Reading & Writing II	兼任	講師	蒲原 順子 <平成29年4月> 博士 (応用言語学) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV	兼任	講師	蒲原 順子 <平成29年4月> 博士 (応用言語学) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV			
			兼任	講師	隈部 歩 <平成29年4月> 修士 (文学) Reading & Writing I Reading & Writing II	兼任	講師	隈部 歩 <平成29年4月> 修士 (文学) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV						
			兼任	講師	前原 敦 太郎 <平成29年4月> 修士 (英米言語文化) Reading & Writing I Reading & Writing II	兼任	講師	前原 敦 太郎 <平成29年4月> 修士 (英米言語文化) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV	兼任	講師	前原 敦 太郎 <平成29年4月> 修士 (英米言語文化) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV			
			兼任	講師	渡邊 裕子 <平成29年4月> 修士 (文学) Reading & Writing I Reading & Writing II	兼任	講師	渡邊 裕子 <平成29年4月> 修士 (文学) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV						
			兼任	講師	谷岡 敏博 <平成29年4月> Master of Arts (米國) Reading & Writing I Reading & Writing II	兼任	講師	谷岡 敏博 <平成29年4月> Master of Arts (米國) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV						
			兼任	講師	古賀 奈里 <平成29年4月> Ph.D. in Education (米國) Reading & Writing I Reading & Writing II									
			兼任	講師	戸丸 優作 <平成29年4月> 修士 (学術) Reading & Writing I Reading & Writing II									
			兼任	講師	Aaron Gibson <平成29年4月> M.S.Ed. in TESOL Listening & Speaking I Listening & Speaking II	兼任	講師	Aaron Gibson <平成29年4月> M.S.Ed. in TESOL Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV	兼任	講師	Aaron Gibson <平成29年4月> M.S.Ed. in TESOL Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV			
			兼任	講師	Kevin White <平成29年4月> M.A. in TESOL (英國) Listening & Speaking I Listening & Speaking II	兼任	講師	Kevin White <平成29年4月> M.A. in TESOL (英國) Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV	兼任	講師	Kevin White <平成29年4月> M.A. in TESOL (英國) Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV			
			兼任	講師	Shane Shalless <平成29年4月> M.A. in Applied Linguistics (臺灣) Listening & Speaking I Listening & Speaking II	兼任	講師	Shane Shalless <平成29年4月> M.A. in Applied Linguistics (臺灣) Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV	兼任	講師	Shane Shalless <平成29年4月> M.A. in Applied Linguistics (臺灣) Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	コクラム 由美子 <平成29年4月> 修士 (文学) Listening & Speaking I Listening & Speaking II			コクラム 由美子 <平成29年4月> 修士 (文学) Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV						
			兼任	講師	Bruno Christiaens <平成29年4月> 経営修士 (専門職)/MBA Listening & Speaking I Listening & Speaking II									
			兼任	講師	Perry Brandon <平成29年4月> Bachelor of Arts (米国) Listening & Speaking I Listening & Speaking II									
			兼任	講師	Laurie Griffiths <平成29年4月> Bachelor of Arts (英国) Listening & Speaking I Listening & Speaking II			Laurie Griffiths <平成29年4月> Bachelor of Arts (英国) Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV	兼任	講師	Laurie Griffiths <平成29年4月> Bachelor of Arts (英国) Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV			
			兼任	講師	Paul Arenson <平成29年4月> Master of Arts(米国) Listening & Speaking I Listening & Speaking II									
			兼任	講師	Andrew McMahon (40) <平成29年4月> MA in TESOL (英国) Listening & Speaking I Listening & Speaking II									
			兼任	講師	Alexander Rykers <平成29年4月> Masters of Applied Linguistics (香州) Listening & Speaking I Listening & Speaking II			Alexander Rykers <平成29年4月> Masters of Applied Linguistics (香州) Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV	兼任	講師	Alexander Rykers <平成29年4月> Masters of Applied Linguistics (香州) Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV			
			兼任	講師	Juha Vaittinen <平成29年4月> Master of Arts (芬蘭) Listening & Speaking I Listening & Speaking II									
			兼任	講師	Christian Mercado <平成29年4月> 修士 (アジア太平洋学) Listening & Speaking I Listening & Speaking II			Christian Mercado <平成29年4月> 修士 (アジア太平洋学) Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV	兼任	講師	Christian Mercado <平成29年4月> 修士 (アジア太平洋学) Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV			
			兼任	講師	金子 賢治 <平成29年4月> 博士 (アジア太平洋学) Listening & Speaking I Listening & Speaking II			金子 賢治 <平成29年4月> 博士 (アジア太平洋学) Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV						
			兼任	講師	Martin Nutt <平成29年4月> MA with distinction in composition and sonic arts (英国) Listening & Speaking I Listening & Speaking II			Martin Nutt <平成29年4月> MA with distinction in composition and sonic arts (英国) Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV	兼任	講師	Martin Nutt <平成29年4月> MA with distinction in composition and sonic arts (英国) Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV			
			兼任	講師	村上 浩明 <平成29年4月> 修士 (文学) ※ ドイツ語 I ドイツ語 II									
			兼任	講師	伊東 沙織 <平成29年4月> 修士 (学術) ドイツ語 I ドイツ語 II			伊東 沙織 <平成29年4月> 修士 (学術) ドイツ語 I ドイツ語 II ドイツ語 III ドイツ語 IV	兼任	講師	伊東 沙織 <平成29年4月> 修士 (学術) ドイツ語 I ドイツ語 II ドイツ語 III ドイツ語 IV			
			兼任	講師	Minimo Maiwald <平成29年4月> 理学士 (独) ドイツ語会話 I ドイツ語会話 II ドイツ語会話 III ドイツ語会話 IV			Minimo Maiwald <平成29年4月> 理学士 (独) ドイツ語会話 I ドイツ語会話 II ドイツ語会話 III ドイツ語会話 IV	兼任	講師	Minimo Maiwald <平成29年4月> 理学士 (独) ドイツ語会話 I ドイツ語会話 II ドイツ語会話 III ドイツ語会話 IV			
			兼任	講師	甲斐 春香 <平成29年4月> 修士 (比較社会文化) ※ フランス語 I フランス語 II フランス語 III フランス語 IV			甲斐 春香 <平成29年4月> 修士 (比較社会文化) ※ フランス語 I フランス語 II フランス語 III フランス語 IV	兼任	講師	甲斐 春香 <平成29年4月> 修士 (比較社会文化) ※ フランス語 I フランス語 II フランス語 III フランス語 IV			















(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・学部長就任に伴う職名の変更及び担当科目見直しのため「鶴田 和寛」
- ・時間割編成において担当者の追加「濱田 英隆」
- ・昇任に伴う職名の変更「村上 剛司」
- ・退職に伴う担当者変更のため「高橋 誠」
- ・昇任に伴う職名の変更「橋口 卓平」
- ・時間割編成において担当者の変更「洪田 敬史」
- ・昇任に伴う職名の変更「富田 英夫」
- ・国外研修に伴う担当者の変更「市原 猛志」
- ・時間割編成において担当者の変更「鳴海 孝之」
- ・時間割編成において担当者の変更「石橋 睦」
- ・時間割編成において担当者の変更「西岡 昌幸」
- ・時間割編成において担当者の変更「寺田 貢」
- ・時間割編成において担当者の変更「久保 幸貴」
- ・時間割編成において担当者の変更「緒方 泉」
- ・時間割編成において担当者の変更「秋山 優」
- ・時間割編成において担当者の変更「金川 一夫」
- ・時間割編成において担当者の変更「福田 馨」
- ・時間割編成において担当者の変更「安永 信二」
- ・時間割編成において担当者の変更「奥村 浩正」
- ・時間割編成において担当者の変更「安河内 春彦」
- ・時間割編成において担当者の変更「石川 泰成」
- ・時間割編成において担当者の変更「森 英一」
- ・時間割編成において担当者の変更「清水 陽子」
- ・時間割編成において担当者の変更「開間 理」
- ・時間割編成において担当者の変更「千 相哲」
- ・時間割編成において担当者の変更「宗像 優」
- ・時間割編成において担当者の変更「佐野 彰」
- ・時間割編成において担当者の変更「酒井 順一郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「木村 俊夫」
- ・時間割編成において担当者の変更「富原 裕二」
- ・時間割編成において担当者の変更「堀内 ゆかり」
- ・時間割編成において担当者の変更「西園 秀嗣」
- ・時間割編成において担当者の変更「河野 賢治」
- ・時間割編成において担当者の変更「田中 康一郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「森 誠子」
- ・時間割編成において担当者の変更「藤田 尚志」
- ・時間割編成において担当者の変更「三浦 香織」
- ・時間割編成において担当者の変更「伊藤 高志」
- ・時間割編成において担当者の変更「JEFF ANDERSON」
- ・昇任に伴う職名の変更「長谷川 由起子」
- ・時間割編成において担当者の変更「伊藤 精男」
- ・時間割編成において担当者の変更「横井 克典」
- ・時間割編成において担当者の変更「松原 岳行」
- ・時間割編成において担当者の変更「福田 拓哉」
- ・時間割編成において担当者の変更「高橋 芳弘」
- ・時間割編成において担当者の変更「高杉 美佳子」
- ・時間割編成において担当者の変更「中尾 嘉秀」
- ・時間割編成において担当者の変更「志水 智子」
- ・時間割編成において担当者の変更「酒井 一臣」
- ・時間割編成において担当者の変更「石田 俊一」
- ・時間割編成において担当者の変更「林 政喜」
- ・時間割編成において担当者の変更「鍛冶 俊輔」
- ・時間割編成において担当者の変更「宮内 紀子」
- ・退職に伴う教員区分の変更及び時間割編成において担当者の変更「鬼塚 (峯) 淳子」
- ・時間割編成において担当者の変更「JEFFREY Stewart」
- ・時間割編成において担当者の変更「NICHOLAS Bovee」
- ・就任辞退のため担当者変更「SHERLOCK Zelinda」
- ・時間割編成において担当者の変更「ANDREW Thompson」
- ・時間割編成において担当者の変更「武内 梓朗」
- ・時間割編成において担当者の変更「NAGASHIMA Lyndell」
- ・時間割編成において担当者の変更「GALLACHER Andrew」
- ・時間割編成において担当者の変更「David Johnson」
- ・時間割編成において担当者の変更「ALEXANDER Cameron」
- ・時間割編成において担当者の変更「HARROLD Peter」
- ・時間割編成において担当者の変更「HOWARTH Mark」
- ・時間割編成において担当者の変更「小田部 貴子」
- ・時間割編成において担当者の変更「堀口 悟郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「小川 悠紀」
- ・時間割編成において担当者の変更「W I T K I N Neil」
- ・時間割編成において担当者の変更「KUKHARUK Alexey」
- ・時間割編成において担当者の変更「CAPOBIANCO Paul」
- ・時間割編成において担当者の変更「BAKER Matthew」
- ・時間割編成において担当者の変更「PAIN Ryan」
- ・時間割編成において担当者の変更「内田 友子」
- ・時間割編成において担当者の変更「石元 みさと」
- ・時間割編成において担当者の変更「隅田 康明」
- ・時間割編成において担当者の変更「隈本 覚」
- ・時間割編成において担当者の変更「上田 直次」
- ・時間割編成において担当者の変更「東寺 祐亮」
- ・時間割編成において担当者の変更「丹後 享」
- ・時間割編成において担当者の変更「平 誠一」
- ・時間割編成において担当者の変更「中本 幹生」
- ・時間割編成において担当者の変更「奥野 新太郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「梶原 律子」
- ・時間割編成において担当者の変更「金坂 弥起」
- ・時間割編成において担当者の変更「木村 太一」
- ・時間割編成において担当者の変更「中島 俊介」
- ・時間割編成において担当者の変更「荒井 秋晴」
- ・時間割編成において担当者の変更「紙谷 聡志」
- ・時間割編成において担当者の変更「中島 道夫」
- ・時間割編成において担当者の変更「鴨川 文武」
- ・時間割編成において担当者の変更「内島 美奈子」
- ・時間割編成において担当者の変更「渡辺 玄英」
- ・時間割編成において担当者の変更「浅田 えり佳」
- ・時間割編成において担当者の変更「大塚 知昇」
- ・時間割編成において担当者の変更「岡田 美鈴」
- ・時間割編成において担当者の変更「萱嶋 崇」
- ・時間割編成において担当者の変更「川口 千富美」
- ・時間割編成において担当者の変更「近藤 直美」
- ・時間割編成において担当者の変更「進藤 範子」
- ・時間割編成において担当者の変更「高木 留美」
- ・時間割編成において担当者の変更「高田 とも子」
- ・時間割編成において担当者の変更「都地 沙央里」
- ・時間割編成において担当者の変更「平川 知子」
- ・時間割編成において担当者の変更「松原 留美」
- ・時間割編成において担当者の変更「三瀬 亜紀」

- ・時間割編成において担当者の変更「宮本 なつき」
- ・時間割編成において担当者の変更「與古光 宏」
- ・時間割編成において担当者の変更「大場 智恵子」
- ・時間割編成において担当者の変更「Markus Yong」
- ・教員区分の変更及び時間割編成において担当者の変更「Adam Stone」
- ・時間割編成において担当者の変更「Samuel Taylor」
- ・時間割編成において担当者の変更「Gerard Maher」
- ・時間割編成において担当者の変更「Stephen Farmer」
- ・時間割編成において担当者の変更「Phillip Pinniger」
- ・時間割編成において担当者の変更「Nicholas Shillingford」
- ・時間割編成において担当者の変更「Laura-Mae Noma」
- ・時間割編成において担当者の変更「Michael Sherlock」
- ・時間割編成において担当者の変更「Luke Ashby」
- ・時間割編成において担当者の変更「篠崎 元」
- ・時間割編成において担当者の変更「Zeilhofer Luisa」
- ・時間割編成において担当者の変更「Holst Sven-Ohle」
- ・時間割編成において担当者の変更「任 春江」
- ・時間割編成において担当者の変更「原田 裕里」
- ・時間割編成において担当者の変更「山本 崇代」
- ・時間割編成において担当者の変更「末永 京子」
- ・時間割編成において担当者の変更「Benjamin Laba」
- ・時間割編成において担当者の変更「元 慶臣」
- ・時間割編成において担当者の変更「金 真淑」
- ・時間割編成において担当者の変更「小島 大輝」
- ・時間割編成において担当者の変更「徐 正三」
- ・時間割編成において担当者の変更「安 滄珠」
- ・時間割編成において担当者の変更「朴 順伊」
- ・時間割編成において担当者の変更「荀 曉崢」
- ・時間割編成において担当者の変更「張 欣」
- ・時間割編成において担当者の変更「陳 菁」
- ・時間割編成において担当者の変更「李 岩」
- ・時間割編成において担当者の変更「岡田 美穂」
- ・教員区分の変更及び時間割編成において担当者の変更「藤田 恵里子」
- ・時間割編成において担当者の変更「青木 志穂子」
- ・時間割編成において担当者の変更「松本 妙子」
- ・時間割編成において担当者の変更「中村 萬里」
- ・時間割編成において担当者の変更「田鹿 紘」
- ・時間割編成において担当者の変更「吉原 さくら」
- ・時間割編成において担当者の変更「福田 尚法」
- ・時間割編成において担当者の変更「江藤 宏」
- ・時間割編成において担当者の変更「原田 諭」
- ・時間割編成において担当者の変更「後藤 啓倫」
- ・時間割編成において担当者の変更「西 貴倫」
- ・時間割編成において担当者の変更「栗山 雅央」
- ・時間割編成において担当者の変更「長谷川 真史」
- ・時間割編成において担当者の変更「貞方 浩二」
- ・時間割編成において担当者の変更「保家 信太郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「才津 絢子」
- ・時間割編成において担当者の変更「福田 成美」
- ・時間割編成において担当者の変更「蒲原 順子」
- ・時間割編成において担当者の変更「隈部 渉」
- ・時間割編成において担当者の変更「前屋敷 太郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「渡邊 裕子」
- ・時間割編成において担当者の変更「谷岡 敏博」
- ・時間割編成において担当者の変更「古賀 奈里」
- ・時間割編成において担当者の変更「戸丸 優作」
- ・時間割編成において担当者の変更「Aaron Gibson」
- ・時間割編成において担当者の変更「Kevin White」
- ・時間割編成において担当者の変更「Shane Shalless」
- ・時間割編成において担当者の変更「コ克蘭 由美子」
- ・時間割編成において担当者の変更「ブルノ カスチンス」
- ・時間割編成において担当者の変更「Perry Brandon」
- ・時間割編成において担当者の変更「Laurie Griffiths」
- ・時間割編成において担当者の変更「Paul Arenson」
- ・時間割編成において担当者の変更「Andrew McMahon」
- ・時間割編成において担当者の変更「Alexander Rykers」
- ・時間割編成において担当者の変更「Juha Vaittinen」
- ・時間割編成において担当者の変更「Christian Mercado」
- ・時間割編成において担当者の変更「金子 賢治」
- ・時間割編成において担当者の変更「Martin Nutt」
- ・時間割編成において担当者の変更「村上 浩明」
- ・時間割編成において担当者の変更「伊東 沙織」
- ・時間割編成において担当者の変更「Minimo Maiwald」
- ・時間割編成において担当者の変更「甲斐 春香」
- ・時間割編成において担当者の変更「野村 知佐子」
- ・時間割編成において担当者の変更「木下 樹親」
- ・時間割編成において担当者の変更「Torres Benard」
- ・時間割編成において担当者の変更「ガンドリヨン フビアン」
- ・時間割編成において担当者の変更「白岩 美穂」
- ・時間割編成において担当者の変更「李 今淑」
- ・時間割編成において担当者の変更「鄭 美京」
- ・時間割編成において担当者の変更「朴 永奎」
- ・時間割編成において担当者の変更「姜 希京」
- ・時間割編成において担当者の変更「李 延恩」
- ・時間割編成において担当者の変更「胡 山林」
- ・時間割編成において担当者の変更「顧 紅英」
- ・時間割編成において担当者の変更「塩田 寿美子」
- ・時間割編成において担当者の変更「立花 奈央」
- ・時間割編成において担当者の変更「溝生 洋子」
- ・時間割編成において担当者の変更「姚 瑤」
- ・時間割編成において担当者の変更「香月 智恵」
- ・時間割編成において担当者の変更「竹下 直子」
- ・時間割編成において担当者の変更「戸田 宏治」

【平成30年度】

- ・時間割編成において担当者の変更「赤坂 亮」
- ・時間割編成において担当者の変更「丘 華」
- ・学長就任に伴う職名の変更「榊 泰輔」
- ・学部長就任に伴う職名の変更及び時間割編成において担当者の変更「鶴田 和寛」
- ・時間割編成において担当者の変更「久保 明雄」
- ・昇任に伴う職名の変更「村田 光昭」
- ・時間割編成において担当者の変更「福田 翔」
- ・時間割編成において担当者の変更「阿久根 忠博」
- ・時間割編成において担当者の変更「小倉 弘毅」
- ・国外研修に伴う担当者の変更「富田 英夫」
- ・時間割編成において担当者の変更「福永 知則」
- ・昇任に伴う職名の変更「神屋 郁子」
- ・時間割編成において担当者の変更「三澤 賢明」
- ・時間割編成において担当者の変更「中條 大介」
- ・時間割編成において担当者の変更「石橋 睦」
- ・時間割編成において担当者の変更「小代 哲也」
- ・時間割編成において担当者の変更「原田 晴美」
- ・時間割編成において担当者の変更「中坊 滋一」
- ・時間割編成において担当者の変更「乾 弘幸」
- ・時間割編成において担当者の変更「田中 靖人」
- ・時間割編成において担当者の変更「原 巖」
- ・時間割編成において担当者の変更「安河内 春彦」
- ・時間割編成において担当者の変更「尾張 充典」
- ・時間割編成において担当者の変更「石川 泰成」
- ・時間割編成において担当者の変更「間間 理」
- ・時間割編成において担当者の変更「千 相哲」
- ・時間割編成において担当者の変更「森(田口) 誠子」
- ・時間割編成において担当者の変更「大園 修一」
- ・時間割編成において担当者の変更「長谷川 由起子」
- ・時間割編成において担当者の変更「木村 隆幸」
- ・時間割編成において担当者の変更「酒井 一臣」
- ・時間割編成において担当者の変更「福田 潤」
- ・時間割編成において担当者の変更「秋山 大輔」
- ・時間割編成において担当者の変更「田中 真理」
- ・時間割編成において担当者の変更「林 政喜」
- ・時間割編成において担当者の変更「安陪 大治郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「NICHOLAS Bovee」
- ・時間割編成において担当者の変更「武内 梓朗」
- ・時間割編成において担当者の変更「NAGASHIMA Lyndell」
- ・時間割編成において担当者の変更「GALLACHER Andrew」
- ・時間割編成において担当者の変更「David Johnson」
- ・時間割編成において担当者の変更「ALEXANDER Cameron」
- ・時間割編成において担当者の変更「HARROLD Peter」
- ・時間割編成において担当者の変更「小田部 貴子」
- ・時間割編成において担当者の変更「小川 悠紀」
- ・時間割編成において担当者の変更「WITKIN Neil」
- ・時間割編成において担当者の変更「KUKHARUK Alexey」
- ・時間割編成において担当者の変更「CAPOBIANCO Paul」
- ・時間割編成において担当者の変更「BAKER Matthew」
- ・時間割編成において担当者の変更「Jonathan Shachter」
- ・時間割編成において担当者の変更「Lisa Barker」
- ・時間割編成において担当者の変更「Paul Matthews」
- ・時間割編成において担当者の変更「Samar Kassim」
- ・時間割編成において担当者の変更「大枝 和浩」
- ・時間割編成において担当者の変更「高田 芽味」
- ・時間割編成において担当者の変更「本山 清喬」
- ・時間割編成において担当者の変更「門田 理代子」
- ・時間割編成において担当者の変更「高山 和幸」
- ・時間割編成において担当者の変更「濱川 和洋」
- ・時間割編成において担当者の変更「飯田 俊輔」
- ・時間割編成において担当者の変更「豊田 直樹」
- ・時間割編成において担当者の変更「石元 みさと」
- ・時間割編成において担当者の変更「占部 匡美」
- ・時間割編成において担当者の変更「橋本 聖美」
- ・時間割編成において担当者の変更「森 元斎」
- ・時間割編成において担当者の変更「金坂 弥起」
- ・時間割編成において担当者の変更「樋渡 孝徳」
- ・時間割編成において担当者の変更「幸地 英理子」
- ・時間割編成において担当者の変更「岩崎 一恵」
- ・時間割編成において担当者の変更「鎌田 裕文」
- ・時間割編成において担当者の変更「小林 明子」
- ・時間割編成において担当者の変更「空井 由花」
- ・時間割編成において担当者の変更「松原 留美」
- ・時間割編成において担当者の変更「三瀬 亜紀」
- ・時間割編成において担当者の変更「宮本 なつき」
- ・時間割編成において担当者の変更「渡邊 晶子」
- ・時間割編成において担当者の変更「Adam Stone」
- ・時間割編成において担当者の変更「Samuel Taylor」
- ・時間割編成において担当者の変更「Stephen Farmer」
- ・時間割編成において担当者の変更「篠崎 元」
- ・時間割編成において担当者の変更「山本 洋一」
- ・時間割編成において担当者の変更「Ronald Reibert」
- ・時間割編成において担当者の変更「任 春江」
- ・時間割編成において担当者の変更「野母 倫子」
- ・時間割編成において担当者の変更「原田 裕里」
- ・時間割編成において担当者の変更「山本 崇代」
- ・時間割編成において担当者の変更「Plaut Se bastien」
- ・時間割編成において担当者の変更「李 相穆」
- ・時間割編成において担当者の変更「申 鎬」
- ・時間割編成において担当者の変更「安 滯珠」
- ・時間割編成において担当者の変更「洪 鍾熙」
- ・時間割編成において担当者の変更「張 欣」
- ・時間割編成において担当者の変更「張 璐」
- ・時間割編成において担当者の変更「張 玲」
- ・時間割編成において担当者の変更「井料 佐紀子」
- ・時間割編成において担当者の変更「青木 志穂子」
- ・時間割編成において担当者の変更「松本 妙子」
- ・時間割編成において担当者の変更「保家 信太郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「才津 絢子」
- ・時間割編成において担当者の変更「蒲原 順子」
- ・時間割編成において担当者の変更「隈部 歩」
- ・時間割編成において担当者の変更「前屋敷 太郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「渡邊 裕子」
- ・時間割編成において担当者の変更「谷岡 敏博」
- ・時間割編成において担当者の変更「Aaron Gibson」
- ・時間割編成において担当者の変更「Kevin White」
- ・時間割編成において担当者の変更「Shane Shallless」
- ・時間割編成において担当者の変更「コ克蘭 由美子」
- ・時間割編成において担当者の変更「Laurie Griffiths」

- ・時間割編成において担当者の変更「Alexander Rykers」
- ・時間割編成において担当者の変更「Christian Mercado」
- ・時間割編成において担当者の変更「金子 賢治」
- ・時間割編成において担当者の変更「Martin Nutt」
- ・時間割編成において担当者の変更「伊東 沙織」
- ・時間割編成において担当者の変更「Torres Bernard」
- ・時間割編成において担当者の変更「カント'リオン フレミア」
- ・時間割編成において担当者の変更「白岩 美穂」
- ・時間割編成において担当者の変更「塩田 寿美子」
- ・時間割編成において担当者の変更「立花 奈央」
- ・時間割編成において担当者の変更「満生 洋子」
- ・時間割編成において担当者の変更「姚 瑤」
- ・時間割編成において担当者の変更「香月 智恵」
- ・時間割編成において担当者の変更「竹下 直子」
- ・時間割編成において担当者の変更「山本 浩二」
- ・時間割編成において担当者の変更「張 玲」
- ・時間割編成において担当者の変更「池田 静香」
- ・時間割編成において担当者の変更「蛭沼 芽衣」
- ・時間割編成において担当者の変更「天野 ひろみ」
- ・時間割編成において担当者の変更「鈴木 由佳」
- ・時間割編成において担当者の変更「大谷 美咲」
- ・時間割編成において担当者の変更「鎌田 厚志」
- ・時間割編成において担当者の変更「佐藤 岳詩」
- ・時間割編成において担当者の変更「岩崎 華奈子」
- ・時間割編成において担当者の変更「中村 昌広」
- ・時間割編成において担当者の変更「秋田 寛子」
- ・時間割編成において担当者の変更「川野 祐二」
- ・時間割編成において担当者の変更「山本 幸治」
- ・時間割編成において担当者の変更「角田 佳充」
- ・時間割編成において担当者の変更「野藤 妙」
- ・時間割編成において担当者の変更「田島 健太郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「早瀬 沙織」
- ・時間割編成において担当者の変更「松崎 徹」
- ・時間割編成において担当者の変更「松下 紗耶」
- ・時間割編成において担当者の変更「横尾 聡子」
- ・時間割編成において担当者の変更「幸山 智子」
- ・時間割編成において担当者の変更「Jean Ware」
- ・時間割編成において担当者の変更「Joseph McInnis」
- ・時間割編成において担当者の変更「Linda Joyce」
- ・時間割編成において担当者の変更「Manuel Senna IV」
- ・時間割編成において担当者の変更「Raymond Stubbe」
- ・時間割編成において担当者の変更「Steven Apotheker」
- ・時間割編成において担当者の変更「Suzy Connor」
- ・時間割編成において担当者の変更「Timothy Pritchard」
- ・時間割編成において担当者の変更「内田（臼井） るり」
- ・時間割編成において担当者の変更「脇 崇晴」
- ・時間割編成において担当者の変更「赤木 祐美子」
- ・時間割編成において担当者の変更「高木 信宏」
- ・時間割編成において担当者の変更「柳 基憲」
- ・時間割編成において担当者の変更「文 芝瑛」
- ・時間割編成において担当者の変更「宋 宥佳」
- ・時間割編成において担当者の変更「増田 正彦」

【令和元年度】

- ・時間割編成において担当者の変更「赤坂 亮」
- ・学長就任に伴う担当者の変更「榊 泰輔」
- ・時間割編成において担当者の変更「鶴田 和寛」
- ・時間割編成において担当者の変更「金子 和也」
- ・時間割編成において担当者の変更「長須 正明」
- ・時間割編成において担当者の変更「田中 靖人」
- ・時間割編成において担当者の変更「鷹野 重之」
- ・時間割編成において担当者の変更「末松 安由美」
- ・時間割編成において担当者の変更「福永 知則」
- ・昇任に伴う職名の変更「横田 雅紀」
- ・時間割編成において担当者の変更「久恒 敏幸」
- ・時間割編成において担当者の変更「加藤 優」
- ・時間割編成において担当者の変更「西釜 義勝」
- ・時間割編成において担当者の変更「飛田 努」
- ・時間割編成において担当者の変更「中條 大介」
- ・時間割編成において担当者の変更「入江 洋右」
- ・時間割編成において担当者の変更「石橋 睦」
- ・時間割編成において担当者の変更「花元 誠一」
- ・時間割編成において担当者の変更「小代 哲也」
- ・時間割編成において担当者の変更「原田 晴美」
- ・時間割編成において担当者の変更「乾 弘幸」
- ・時間割編成において担当者の変更「秋山 優」
- ・時間割編成において担当者の変更「高橋 公忠」
- ・時間割編成において担当者の変更「田中 靖人」
- ・時間割編成において担当者の変更「梶原 茂正」
- ・時間割編成において担当者の変更「小林 繁夫」
- ・時間割編成において担当者の変更「中原 由木子」
- ・時間割編成において担当者の変更「村谷 博美」
- ・時間割編成において担当者の変更「呉 紅華」
- ・時間割編成において担当者の変更「森 菜一」
- ・時間割編成において担当者の変更「千 相哲」
- ・時間割編成において担当者の変更「宗像 優」
- ・時間割編成において担当者の変更「佐野 彰」
- ・時間割編成において担当者の変更「木村 俊夫」
- ・時間割編成において担当者の変更「河野 賢司」
- ・時間割編成において担当者の変更「垣迫 裕後」
- ・時間割編成において担当者の変更「片桐 康宏」
- ・時間割編成において担当者の変更「和田 勉」
- ・時間割編成において担当者の変更「森(田口) 誠子」
- ・時間割編成において担当者の変更「安達 隆博」
- ・時間割編成において担当者の変更「大園 修一」
- ・時間割編成において担当者の変更「長谷川 由紀子」
- ・時間割編成において担当者の変更「木村 隆之」
- ・時間割編成において担当者の変更「酒井 一臣」
- ・時間割編成において担当者の変更「吉田 公子」
- ・時間割編成において担当者の変更「脇 夕希子」
- ・時間割編成において担当者の変更「李 泰勳」
- ・時間割編成において担当者の変更「田中 直理」
- ・時間割編成において担当者の変更「林 政喜」
- ・時間割編成において担当者の変更「宮内 紀子」
- ・昇任に伴う職名の変更「安陪 大治郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「JEFFREY Stewart」
- ・時間割編成において担当者の変更「NICHOLAS Bovee」
- ・時間割編成において担当者の変更「ANDREW Thompson」
- ・時間割編成において担当者の変更「武内 祥朗」
- ・時間割編成において担当者の変更「NAGASHIMA Lyndell」
- ・時間割編成において担当者の変更「GALLACHER Andrew」
- ・時間割編成において担当者の変更「JOHNSON David」
- ・時間割編成において担当者の変更「ALEXANDER Cameron」
- ・時間割編成において担当者の変更「HARROLD Peter」
- ・時間割編成において担当者の変更「小川 悠紀」
- ・時間割編成において担当者の変更「WITKIN Neil」
- ・時間割編成において担当者の変更「KUKHARUK Alexey」
- ・時間割編成において担当者の変更「CAPOBIANCO Paul」
- ・時間割編成において担当者の変更「Lisa Barker」
- ・時間割編成において担当者の変更「Paul Matthews」
- ・時間割編成において担当者の変更「Samar Kassim」
- ・時間割編成において担当者の変更「門田 理代子」
- ・時間割編成において担当者の変更「高山 和幸」
- ・時間割編成において担当者の変更「中世古 貴彦」
- ・時間割編成において担当者の変更「Arron Passmore」
- ・時間割編成において担当者の変更「Michael McAuliffe」
- ・時間割編成において担当者の変更「Tomas Kosi」
- ・時間割編成において担当者の変更「高田 芽味」
- ・時間割編成において担当者の変更「荒木 雪葉」
- ・時間割編成において担当者の変更「石元 みさと」
- ・時間割編成において担当者の変更「宇都 義和」
- ・時間割編成において担当者の変更「宮野 真生子」
- ・時間割編成において担当者の変更「森 元舎」
- ・時間割編成において担当者の変更「倉田 剛」
- ・時間割編成において担当者の変更「松島 綾美」
- ・時間割編成において担当者の変更「中村 大輔」
- ・時間割編成において担当者の変更「石坂 元一」
- ・時間割編成において担当者の変更「杉崎 裕子」
- ・時間割編成において担当者の変更「大塚 正純」
- ・時間割編成において担当者の変更「岩崎 一恵」
- ・時間割編成において担当者の変更「鎌田 裕文」
- ・時間割編成において担当者の変更「河野 世莉奈」
- ・時間割編成において担当者の変更「小林 明子」
- ・時間割編成において担当者の変更「洲上 啓子」
- ・時間割編成において担当者の変更「大場 智恵子」
- ・時間割編成において担当者の変更「渡邊 晶子」
- ・時間割編成において担当者の変更「Adam Stone」
- ・時間割編成において担当者の変更「Zachary Robertson」
- ・時間割編成において担当者の変更「Samuel Taylor」
- ・時間割編成において担当者の変更「Laura-Mae Noma」
- ・時間割編成において担当者の変更「Mason Lampert」
- ・時間割編成において担当者の変更「Robert Preslar」
- ・時間割編成において担当者の変更「山本 兼代」
- ・時間割編成において担当者の変更「李 相穆」
- ・時間割編成において担当者の変更「申 鎬」
- ・時間割編成において担当者の変更「安 滯珠」
- ・時間割編成において担当者の変更「張 允慶」
- ・時間割編成において担当者の変更「洪 鍾熾」
- ・時間割編成において担当者の変更「水本 敬子」
- ・時間割編成において担当者の変更「井料 佐紀子」
- ・時間割編成において担当者の変更「藤田 恵里子」
- ・時間割編成において担当者の変更「青木 志穂子」
- ・時間割編成において担当者の変更「松本 妙子」
- ・時間割編成において担当者の変更「波多野 真理子」
- ・時間割編成において担当者の変更「福田 尚法」
- ・時間割編成において担当者の変更「江藤 宏」
- ・時間割編成において担当者の変更「西 貴倫」
- ・時間割編成において担当者の変更「隈部 歩」
- ・時間割編成において担当者の変更「渡邊 裕子」
- ・時間割編成において担当者の変更「谷岡 敏博」
- ・時間割編成において担当者の変更「コクラン 由美子」
- ・時間割編成において担当者の変更「金子 賢治」
- ・時間割編成において担当者の変更「伊東 沙織」
- ・時間割編成において担当者の変更「木下 樹親」

・時間割編成において担当者の変更	「Torres Bernard」
・時間割編成において担当者の変更	「カント'リオン フォビア」
・時間割編成において担当者の変更	「朴 永奎」
・時間割編成において担当者の変更	「塩田 寿美子」
・時間割編成において担当者の変更	「立花 奈央」
・時間割編成において担当者の変更	「溝生 洋子」
・時間割編成において担当者の変更	「姚 瑤」
・時間割編成において担当者の変更	「香月 智恵」
・時間割編成において担当者の変更	「竹下 直子」
・時間割編成において担当者の変更	「天野 ひろみ」
・時間割編成において担当者の変更	「鈴木 由佳」
・時間割編成において担当者の変更	「岩崎 華奈子」
・時間割編成において担当者の変更	「川野 祐二」
・時間割編成において担当者の変更	「山本 幸治」
・時間割編成において担当者の変更	「野藤 妙」
・時間割編成において担当者の変更	「早瀬 沙織」
・時間割編成において担当者の変更	「松下 紗耶」
・時間割編成において担当者の変更	「Manuel Senna IV」
・時間割編成において担当者の変更	「内田 (臼井) るり」
・時間割編成において担当者の変更	「赤木 祐美子」
・時間割編成において担当者の変更	「高木 信宏」
・時間割編成において担当者の変更	「柳 基憲」
・時間割編成において担当者の変更	「文 之瑛」
・時間割編成において担当者の変更	「増田 正彦」
・時間割編成において担当者の変更	「飯嶋 裕治」
・時間割編成において担当者の変更	「井上 法久」
・時間割編成において担当者の変更	「國越 道貴」
・時間割編成において担当者の変更	「塩盛 俊明」
・時間割編成において担当者の変更	「西谷 郁」
・時間割編成において担当者の変更	「樋口 和美」
・時間割編成において担当者の変更	「松本 俊曉」
・時間割編成において担当者の変更	「宮崎 真佐也」
・時間割編成において担当者の変更	「村山 実和子」
・時間割編成において担当者の変更	「安居 誠」
・時間割編成において担当者の変更	「矢野 太一」
・時間割編成において担当者の変更	「案浦 知仁」
・時間割編成において担当者の変更	「城戸 浩章」
・時間割編成において担当者の変更	「鈴木 裕介」
・時間割編成において担当者の変更	「Dragana Lazic」
・時間割編成において担当者の変更	「Katharina Barkley」
・時間割編成において担当者の変更	「Nicolas Emerson」
・時間割編成において担当者の変更	「Shane Minter」
・時間割編成において担当者の変更	「海村 佳惟」
・時間割編成において担当者の変更	「朴 照成」
・時間割編成において担当者の変更	「矢ヶ部 あかり」
・時間割編成において担当者の変更	「金 活蘭」
・時間割編成において担当者の変更	「山口 晋平」
・時間割編成において担当者の変更	「清永 克己」
・時間割編成において担当者の変更	「中村 公泰」
・時間割編成において担当者の変更	「渡部 明子」
・時間割編成において担当者の変更	「富田 裕」
・時間割編成において担当者の変更	「富岡 美穂」
・時間割編成において担当者の変更	「平川 公子」
・時間割編成において担当者の変更	「後藤 典子」
・時間割編成において担当者の変更	「柴藤 絵美」

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、**大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。



(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
8	5	1	1	15	9	5	0	1	15
(8)	(5)	(1)	(0)	(14)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
9	5	0	1	15	9	5	0	1	15
[ 1 ]	[ 0 ]	[ Δ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ Δ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
教授 70/66 准教授 64 講師 64 助教 60	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{15} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計					後任補充状況の集計		
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし(元)
---------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>設 置 時 ( 2 8 年 )</p>	<p>・芸術学部ビジュアルデザイン学科の入学定員超過の是正に努めること。</p> <p>・商学部第二部商学科、芸術学部生活環境デザイン学科及びソーシャルデザイン学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>・芸術学部ビジュアルデザイン学科の入学定員超過の是正に努め、平成29年度は入学定員75名に対し入学者は80名となった。その結果、入学定員超過率は1.07倍となり、平成29年度平均定員超過率は、1.23倍と是正されている。(29)</p> <p>①商学部第二部商学科定員充足率が数年来0.7倍未満となっていることから、教育改革や様々な入試制度改革を行いながら定員の確保に努めてきたが、社会的な需要等を含め、定員充足には至っていない。そこで、当該学部を含む「文系領域」全体の再構築を検討する中で、新たに届出により「商学部」及び「地域共創学部」を設置することとし、商学部第二部商学科は、平成30年度から学生募集を停止する。(29)</p> <p>②芸術学部生活環境デザイン学科 ③芸術学部ソーシャルデザイン学科</p> <p>芸術学部については、従来の3学科体制から、学科の学びの対象を整理し、高校生にわかり易く再配置するとともに社会の需要に合わせた新規の領域を加え、平成28年4月から5学科体制とした。</p> <p>しかしながら、学部全体の定員充足率は改組前に比して著しく向上したものの、上記の2学科については、改組の意図や学びの領域の新設等が受験生に浸透できなかったため、定員を満たすことが出来なかった。このような結果に至った原因を点検・検証し、今後は改善策を講じた上で学生募集を行い、確実に入学定員を充足できるように務める。(29)</p>	<p>左記同様、定員を満たすことが出来なかった原因を点検・検証し、今後は改善策を講じた上で学生募集を行い、確実に入学定員を充足できるように務める。(29)</p> <p>履行中</p>

<p>設置計画履行状況 調査時 (30年)</p>	<p>芸術学部生活環境デザイン学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> <p>芸術学部ソーシャルデザイン学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>芸術学部については、従来の3学科体制から、学科の学びの対象を整理し、高校生にわかり易く再配置するとともに社会の需要に合わせた新規の領域を加え、平成28年4月から5学科体制とした。</p> <p>しかしながら、学部全体の定員充足率は改組前に比して著しく向上したものの、生活環境デザイン学科及びソーシャルデザイン学科の2学科については、改組の意図や学びの領域の新設等が受験生に浸透できなかったため、定員を満たすことが出来なかった。このような結果に至った原因を点検・検証し、今後は改善策を講じた上で学生募集を行い、確実に入学定員を充足できるように務める。(30)</p> <p>当該学部を含む「文系領域」全体の再構築を行い、新たに届出により「商学部」及び「地域共創学部」を平成30年度から設置したことに伴い、商学部第二部商学科は、同年度から学生募集を停止した。(30)</p>	<p>履行中</p> <p>履行済</p>	<p>左記同様、定員を満たすことが出来なかった原因を点検・検証し、今後は改善策を講じた上で学生募集を行い、確実に入学定員を充足できるように務める。(30)</p>
<p>設置計画履行状況 調査時 (31年)</p>	<p>・入学定員未充足の改善に努めること。(芸術学部生活環境デザイン学科)</p>	<p>指摘事項(改善)</p>	<p>芸術学部については、従来の3学科体制から、学科の学びの対象を整理し、高校生にわかり易く再配置するとともに社会の需要に合わせた新規の領域を加え、平成28年4月から5学科体制とした。</p> <p>しかしながら、学部全体の定員充足率は改組前に比して著しく向上したものの、生活環境デザイン学科については、入学初年度からの定員未充足という実績を踏まえ、高校訪問やオープンキャンパス等において学生募集の強化を図った。その結果として、開設初年度からは大きく入学者数の改善は見られるが、いまだ定員の充足するには至っていない。</p> <p>来年度は、学科開設からの志願者状況等を改めて検証し、更なる学生募集活動の強化を図った上で確実に定員を充足できるよう努める。(元)</p>	<p>履行中</p>	<p>左記同様、定員を満たすことが出来なかった原因を点検・検証し、今後は改善策を講じた上で学生募集を行い、確実に入学定員を充足できるように務める。(元)</p>

<p>設置計画履行状況 調査時 (31年)</p>	<p>・入学定員未充足の改善に努めること。(芸術学部ソーシャルデザイン学科)</p>	<p>指摘事項 (改善)</p>	<p>芸術学部については、従来の3学科体制から、学科の学びの対象を整理し、高校生にわかり易く再配置するとともに社会の需要に合わせた新規の領域を加え、平成28年4月から5学科体制とした。 しかしながら、学部全体の定員充足率は改組前に比して著しく向上したものの、日本初の学科として設置したソーシャルデザイン学科については、学びの特色や教育内容等について高校生等に浸透できなかったため、開設3年間は定員を充足することができなかった。この結果を踏まえて、改めて高校訪問やオープンキャンパス等による学生募集等の強化を図り、学科の特色等について積極的に高校生等に説明する取り組みを行った。 これらの取り組みにより、平成31年度は志願者も増加し、定員を充足することができたため、今後も引き続き学生募集等の強化を図り、継続して定員を確保できるよう努める。(元)</p>	<p>履行済</p>	
-----------------------------------	--	----------------------	--	------------	--

<p>設置計画履行状況 調査時 (31年)</p>	<p>・入学定員未充足の改善に努めること。(人間科学部子ども教育学科)</p>	<p>指摘事項 (改善)</p>	<p>人間科学部子ども教育学科は、「人間の尊重」を基本理念に、乳幼児期(こども)からの人間の成長及び発達過程を「こころ」と「からだ」の両面から多角的かつ科学的に探究し、「人を支える人」を育て、地域社会に貢献できる人材を養成することを目的として、平成30年度から発足した。 しかしながら、開設初年度においては、学びの特色や教育内容等について高校生等に浸透できなかったため、定員を確保することができなかった。 この結果を踏まえ、改めて高校訪問やオープンキャンパス等の学生募集の強化を図り、学科の特色等について積極的に高校生等に説明する取り組みを行った。 また、開設と同時期に完成した子ども教育学科の実習施設等、オープンキャンパス等を通して広く高校生等に紹介することにより、入学後の学習に対するイメージの向上を図った。 これらの取り組みにより、平成31年度は定員を充足することができたため、今後も引き続き学生募集の強化を図り、継続して定員を確保できるよう努める。 (元)</p>	<p>履行済</p>	
-----------------------------------	---	----------------------	--	------------	--

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<理工学部 機械工学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

- ・ファカルティ・ディベロップメント委員会（以下「FD委員会」という。）
- ・FD委員会学部専門部会

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・FD委員会 年5回 構成員20人 [2018年度実績]
- ・FD委員会学部専門部会 年1回 構成員14人 [2018年度実績]
  
- ・FD委員会 年3回 構成員21人 (FD専任教員1人を含む) [2019年度予定]
- ・FD委員会学部専門部会 年1回 構成員14人 [2019年度予定]

##### c 委員会の審議事項等

##### FD委員会

- ・授業及び研究指導改善のための基本方針の策定に関する事項
- ・研修会及び講習会の開催に関する事項
- ・教員の授業及び研究指導の内容・方法についての相互研鑽に関する事項
- ・学生による授業及び研究指導の評価に関する事項
- ・学生の学力育成と能力向上に関する事項
- ・学部間、学科間及び研究科間、専攻間の履修制度の整備及び授業科目の開発・支援に関する事項
- ・その他、委員会が必要と認めた事項

##### 理工学部FD委員会

- ・FD実施計画書及び実施報告書に関する事項  
（項目：公開授業、授業研究会、授業アンケート、産学懇談会、卒業時アンケート）

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

- ・授業アンケート
- ・FD研修会
- ・公開授業
- ・授業情報交換会（FDセミナー等）
- ・教員による授業改善報告書（全専任教員がその情報（抽出したもの）を共有し授業改善に有効に活用）
- ・1年次生へのアンケート
- ・シラバス第三者チェック
- ・学外FDフォーラム等研修会への参加 等



#### 理工学部FD委員会

- ・公開授業（教員相互の授業参観）
- ・学科別授業研究会（教育効果の点検評価）
- ・理工学部授業研究会（学科横断科目等についての情報共有）
- ・FD活動報告書、FD活動計画書
- ・産学懇談会
- ・卒業時アンケート

#### b 実施方法

- ・授業アンケート（マークシート自由記述併用）  
前学期は7月、後学期は12月～1月に在籍学生全員を対象に実施  
全専任教員・非常勤講師対象。
- ・FD研修会（講義方式、パネルディスカッション方式、質疑応答）
- ・公開授業  
学部で作成した計画に基づき実施。公開授業参観者のアンケート提出。各学部で授業研究会を実施。
- ・授業情報交換会（FDセミナー等）  
授業実施方法の工夫・改善に関する事例発表及び意見・情報交換
- ・1年次生へのアンケート（マークシート・自由記述併用）  
1年次生全員を対象に6月に実施（アンケート結果は全教職員が情報を共有し活用）
- ・シラバス第三者チェック  
専門科目は学部、基礎教育科目・外国語科目は基盤教育委員会においてシラバスの第三者チェックを実施  
学部長等から当該教員に対し修正依頼  
学部長等からFD委員会委員長（学長）へ結果報告  
理工学部FDの実施方法は次のとおりである。
- ・公開授業（教員相互の授業参観）
- ・学科別授業研究会（教育効果の点検評価）  
学科毎に、授業研究会を開催し、継続的に教育効果の点検評価を実施する。  
公開授業参観者アンケートについての意見交換も行う。
- ・理工学部授業研究会（学科横断科目等についての情報共有）  
各学科から前年度の学科別授業研究会の報告を行う。  
学科横断科目等についての情報共有を行う。  
他学部等教員の参加希望があれば受け入れる。
- ・FD活動報告書、FD活動計画書
- ・産学懇談会（学科により年1回開催または前期後期各1回実施。地場の企業を招き、授業視察、意見交換会を実施する）
- ・卒業時アンケート（Webにて入力させる）

#### c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・全学FD研修会（年2回開催予定）
- ・公開授業（学部で作成した計画に基づき実施予定）
- ・授業研究会（学部で作成した計画に基づき実施予定）
- ・授業情報交換会（授業実施の方法の工夫・改善に関する事例及び出席者との意見・情報交換等）  
（年1回予定）  
理工学部FDの開催状況は次のとおりである。
- ・公開授業（教員相互の授業参観） 全教員が公開授業科目と公開日を指定し、実施する。
- ・学科別授業研究会（教育効果の点検評価） 各学期末の各1回開催予定。
- ・理工学部授業研究会（学科横断科目等についての情報共有） 前期1回開催予定。
- ・産学懇談会（学科により年1回開催または各学期1回の実施）
- ・卒業時アンケート（3月に実施予定）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業アンケート結果は、各教員に授業アンケート集計結果を配付し、各々が授業改善・授業方法の工夫等に鋭意取り組んでいる。加えて、教員のみならず、学生へのフィードバックや社会への公表のため、ホームページで公表している。

理工学部FD活動結果を踏まえた授業改善への取り組み状況は次のとおりである。

- ・ 公開授業  
参観アンケートの結果を参考に、担当科目の検証・改善を行っている。
- ・ 学科別授業研究会  
授業研究会で意見交換される学生の状況や教育方法等の事例を参考に担当科目の検証・改善を行っている。
- ・ 理工学部授業研究会  
学科別授業研究会の報告を基に担当科目の検証・改善を行っている。
- ・ 産学懇談会  
企業との懇談会で出された意見を参考に、授業内容や授業方法の検証・改善を行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 授業アンケートを実施。実施時期：（前学期：7月、後学期：12月～1月を予定）年2回

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 大学ホームページ上に公開している。（過去5カ年分掲載）
- ・ 各教員にアンケート集計結果を配付している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

理工学部は、親和性の高い情報科学と機械工学、電気工学の融合による「情報メカトロニクス」という九州地域の産業を支えている学術領域を中心とした「教育研究」、「人材養成」、「地域貢献」を学部の特色としている。平成31年度の理工学部の入学者数は下表のように定員370名に対して374名となった。定員に対して4名のプラスとなった。また、情報科学科の第2志望者を機械工学科、電気工学科で数名受け入れられたことは、理工学部がわかりやすい学科構成、地域社会に貢献しやすい学術領域となっていることの表れと評価できる。今後は、学科独自の特色を出し、学部全体でもロボットや人工知能などの複合領域における研究のアウトプットを推進し、社会貢献を積極的に進めていくとともに情宣活動にも注力していく。

〈H31入試結果〉	定員	入学者	定員に対する入学者の比率
理工学部	370	374	1.010
情報科学科	140	146	1.042
機械工学科	130	124	0.953
電気工学科	100	104	1.040

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

- ・2018年度自己点検・評価報告書 2019年5月

###### b 公表方法

- ・ホームページ上で公表（過去5カ年分掲載）。

##### ③ 認証評価を受ける計画

- ・2019年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の大学評価を受審

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （  有 ・  無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年5月31日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

## ファカルティ・ディベロップメント委員会規程（大学）

### （趣旨）

第1条 この規程は、九州産業大学の学部及び大学院の授業内容及び方法の改善を図ることを目的として設置するファカルティ・ディベロップメント委員会（以下「委員会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

### （任務）

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項の推進を図ることを任務とする。

- (1) 授業及び研究指導改善のための基本方針の策定に関する事項
- (2) 研修会及び講習会の開催に関する事項
- (3) 教員の授業及び研究指導の内容・方法についての相互研鑽に関する事項
- (4) 学生による授業及び研究指導の評価に関する事項
- (5) 学生の学力育成と能力向上に関する事項
- (6) 学部間、学科間及び研究科間、専攻間の履修制度の整備及び授業科目の開発・支援に関する事項
- (7) その他、委員会が必要と認めた事項

### （構成）

第3条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 各学部長
- (4) 各研究科長
- (5) 健康・スポーツ科学センター所長
- (6) 教務部長
- (7) 語学教育研究センター所長
- (8) 基礎教育センター所長
- (9) 教職課程主任
- (10) 委員長が指名する専任教員
- (11) 事務局長

### （委員長及び副委員長）

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、学長をもって充て、副委員長は副学長をもって充てる。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

### （会議）

第5条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員の3分の2以上の出席によって成立する。
- 3 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決定し、可否同数のときは、議長が決定する。
- 4 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

### （専門部会）

第6条 委員会の任務を円滑に遂行するために、委員会の下に学部専門部会及び大学院専門部会を置

く。

2 専門部会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第7条 委員会の事務は、大学評価室が行う。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、学長が協議会の意見を聴取した上で行う。

附 則

- 1 この規程は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 九州産業大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程は、廃止する。
- 3 九州産業大学大学院ファカルティ・ディベロップメント委員会規程は、廃止する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

## ファカルティ・ディベロップメント委員会学部専門部会運営要領

### (趣旨)

第1条 この要領は、ファカルティ・ディベロップメント委員会規程（大学）（以下「規程」という。）第6条第2項の規定に基づき、学部専門部会（以下「専門部会」という。）の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

### (任務)

第2条 専門部会は、ファカルティ・ディベロップメント委員会委員長の諮問に応じ、規程第2条に関する事項を協議し、委員長に答申することを任務とする。

### (構成)

第3条 専門部会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 教務部長
- (2) 各学部、健康・スポーツ科学センター及び基礎教育センターから選出された専任教員各1名
- (3) 教職課程専任教員1名
- (4) 教務部事務部長

### (部会長及び副部会長)

第4条 専門部会に部会長及び副部会長各1名を置く。

- 2 部会長は、教務部長をもって充てる。
- 3 副部会長は、委員の中から部会長が指名する。
- 4 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときは、その職務を代行する。

### (会議)

第5条 専門部会は、部会長が招集し、その議長となる。

- 2 専門部会は、委員の3分の2以上の出席により成立する。
- 3 専門部会の議事は、出席委員の過半数をもって決定し、可否同数のときは、議長が決定する。
- 4 部会長が必要と認めたときは、委員以外の者に出席を求め、意見を聞くことができる。

### (事務)

第6条 専門部会の事務は、大学評価室が行う。

### (改廃)

第7条 この要領の改廃は、学長がファカルティ・ディベロップメント委員会の意見を聴取した上で行う。

### 附 則

この要領は、平成18年4月1日から施行する。

### 附 則

この要領は、平成19年4月1日から施行する。

### 附 則

この要領は、平成27年4月1日から施行する。

### 附 則

この要領は、平成31年4月1日から施行する。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人中村産業学園

## (2) 大学名

九州産業大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒813-8503

福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	仔ノ 秋 久 一ノ瀬 秋 久 平成23年3月		
学長	山 本 盤 男 平成22年12月	サキ 泰 輔 榊 泰 輔 平成30年4月	任期満了のため 平成30年4月1日 (30)
学部長	ツル タ 加 寛 鶴 田 和 寛 平成29年4月		
学科長等	オ 田 一 弘 織 田 一 弘 平成29年4月	イ 坂 公 宣 今 坂 公 宣 平成30年4月	任期満了のため 平成30年4月1日 (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。）
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
理工学部 電気工学科  学士（工学）	工学関係	4 年	100 人	— 年次 人	400 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	100人 100 (—) [—]	— (—) [—]	100人 100 (—) [—]	— (—) [—]	100人 100 (若干名) [3]	— (—) [—]	0.97倍	—	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	366 (—) [1]	— (—) [—]	407 (—) [1]	— (—) [—]	416 (—) [1]	— (—) [—]			
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	360 (—) [1]	— (—) [—]	402 (—) [0]	— (—) [—]	410 (—) [1]	— (—) [—]			
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	308 (—) [1]	— (—) [—]	323 (—) [0]	— (—) [—]	311 (—) [0]	— (—) [—]			
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	99 (—) [1]	— (—) [—]	89 (—) [—]	— (—) [—]	104 (—) [—]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	—		—		0.99		0.89		1.04				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。



(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次					99 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	89 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	104 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
2年次							97 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	84 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
3年次									93 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	
4年次											
計					99 [ 1 ] ( - )		186 [ 1 ] ( - )		281 [ 1 ] ( - )		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	- 人	- 人	平成27年度	- 人	- 人	-
平成28年度	- 人	- 人	平成27年度	- 人	- 人	-
			平成28年度	- 人	- 人	-
平成29年度	99 人	1 人	平成27年度	- 人	- 人	-
			平成28年度	- 人	- 人	-
			平成29年度	1 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(1人)
平成30年度	186 人	1 人	平成27年度	- 人	- 人	-
			平成28年度	- 人	- 人	-
			平成29年度	1 人	0 人	・修学意欲の低下(1人)
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	281 人	9 人	平成27年度	- 人	- 人	-
			平成28年度	- 人	- 人	-
			平成29年度	4 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(1人)、除籍(2人)、学力不足(1人)
			平成30年度	5 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(3人)、就職(1人)、経済的事情(1人)
			令和元年度	0 人	0 人	-
合計		11 人		11 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{99} = \boxed{1.01} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{186} = \boxed{0.53} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{9}{281} = \boxed{3.2} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。









科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	韓国語 I	1前・後	1								11
	韓国語 II	1前・後	1								11
	韓国語 III	2前	1								2
	韓国語 IV	2後	1								2
	韓国語 V	3前	1								1
	韓国語 VI	3後	1								1
	韓国語 VII	4前	1								1
	韓国語 VIII	4後	1								1
	韓国語会話 I	1前・後	1								9
	韓国語会話 II	1前・後	1								8
	韓国語会話 III	2前	1								2
	韓国語会話 IV	2後	1								2
	韓国語会話 V	3前	1								1
	韓国語会話 VI	3後	1								1
	韓国語会話 VII	4前	1								1
	韓国語会話 VIII	4後	1								1
	中国語 I	1前・後	1								17
	中国語 II	1前・後	1								16
	中国語 III	2前	1								2
	中国語 IV	2後	1								2
	中国語 V	3前	1								1
	中国語 VI	3後	1								1
	中国語 VII	4前	1								1
	中国語 VIII	4後	1								1
	中国語会話 I	1前・後	1								11
	中国語会話 II	1前・後	1								10
	中国語会話 III	2前	1								1
	中国語会話 IV	2後	1								1
	中国語会話 V	3前	1								1
	中国語会話 VI	3後	1								1
中国語会話 VII	4前	1								1	
中国語会話 VIII	4後	1								1	
小計(95科目)	-	-									
留学生に関する科目	日本語	日本語初級 I	1前	1							5
		日本語初級 II	1後	1							5
		日本語初級 III	1前	1							5
		日本語初級 IV	1後	1							5
		日本語中級 I	2前	1							3
		日本語中級 II	2後	1							3
		日本語中級 III	2前	1							3
		日本語中級 IV	2後	1							3
		日本語上級 I	3前	1							1
		日本語上級 II	3後	1							1
	日本語上級 III	3前	1							1	
	日本語上級 IV	3後	1							1	
	日本事情	日本の歴史 I	1後	2							1
		日本の歴史 II	1後	2							1
		日本の文化 I	1前	2							1
日本の文化 II		1後	2							1	
日本の政治経済 I		1前	2							1	
日本の政治経済 II	1後	2							1		
一般日本事情 I	1前	2							1		
一般日本事情 II	1後	2							1		
小計(20科目)	-	-									
合計(241科目)	-	-									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	韓国語 I	1前・後	1								12
	韓国語 II	1前・後	1								12
	韓国語 III	2前	1								2
	韓国語 IV	2後	1								2
	韓国語 V	3前	1								1
	韓国語 VI	3後	1								1
	韓国語 VII	4前	1								1
	韓国語 VIII	4後	1								1
	韓国語会話 I	1前・後	1								9
	韓国語会話 II	1前・後	1								9
	韓国語会話 III	2前	1								2
	韓国語会話 IV	2後	1								2
	韓国語会話 V	3前	1								1
	韓国語会話 VI	3後	1								1
	韓国語会話 VII	4前	1								1
	韓国語会話 VIII	4後	1								1
	中国語 I	1前・後	1								19
	中国語 II	1前・後	1								18
	中国語 III	2前	1								2
	中国語 IV	2後	1								2
	中国語 V	3前	1								1
	中国語 VI	3後	1								1
	中国語 VII	4前	1								1
	中国語 VIII	4後	1								1
	中国語会話 I	1前・後	1								11
	中国語会話 II	1前・後	1								11
	中国語会話 III	2前	1								1
	中国語会話 IV	2後	1								1
	中国語会話 V	3前	1								1
	中国語会話 VI	3後	1								1
中国語会話 VII	4前	1								1	
中国語会話 VIII	4後	1								1	
小計(95科目)	-	-									
留学生に関する科目	日本語	日本語初級 I	1前	1							5
		日本語初級 II	1後	1							5
		日本語初級 III	1前	1							5
		日本語初級 IV	1後	1							5
		日本語中級 I	2前	1							4
		日本語中級 II	2後	1							4
		日本語中級 III	2前	1							4
		日本語中級 IV	2後	1							4
		日本語上級 I	3前	1							3
		日本語上級 II	3後	1							3
	日本語上級 III	3前	1							3	
	日本語上級 IV	3後	1							3	
	日本事情	日本の歴史 I	1前	2							1
		日本の歴史 II	1後	2							1
		日本の文化 I	1前	2							1
日本の文化 II		1後	2							1	
日本の政治経済 I		1前	2							1	
日本の政治経済 II	1後	2							1		
一般日本事情 I	1前	2							1		
一般日本事情 II	1後	2							1		
小計(20科目)	-	-									
合計(241科目)	-	-									

卒業要件及び履修方法

専門必修科目 5 6 単位、専門選択必修科目 4 単位以上、専門選択科目 2 4 単位以上、基礎教育科目 1 4 単位以上、外国語科目英語 8 単位以上、さらに専門、基礎教育科目及び外国語科目から 1 8 単位以上、合計 1 2 4 単位以上を修得すること。（履修科目の登録の上限：4 8 単位（年間））

（電気エネルギーコース）

※専門選択必修科目 = 4 単位

（キャリア基礎から 4 科目のうちから 4 単位）

※専門選択科目 = 2 4 単位

（専門共通から 6 科目 1 2 単位以上、電気エネルギーコースから 6 科目 1 2 単位以上）

（通信システムコース）

※専門選択必修科目 = 4 単位

（キャリア基礎から 4 科目のうちから 4 単位）

※専門選択科目 = 2 4 単位

（専門共通から 6 科目 1 2 単位以上、通信システムコースから 6 科目 1 2 単位以上）

卒業要件及び履修方法

専門必修科目 5 6 単位、専門選択必修科目 4 単位以上、専門選択科目 2 4 単位以上、基礎教育科目 1 4 単位以上、外国語科目英語 8 単位以上、さらに専門、基礎教育科目及び外国語科目から 1 8 単位以上、合計 1 2 4 単位以上を修得すること。（履修科目の登録の上限：4 8 単位（年間））

（電気エネルギーコース）

※専門選択必修科目 = 4 単位

（キャリア基礎から 4 科目のうちから 4 単位）

※専門選択科目 = 2 4 単位

（専門共通から 6 科目 1 2 単位以上、電気エネルギーコースから 6 科目 1 2 単位以上）

（通信システムコース）

※専門選択必修科目 = 4 単位

（キャリア基礎から 4 科目のうちから 4 単位）

※専門選択科目 = 2 4 単位

（専門共通から 6 科目 1 2 単位以上、通信システムコースから 6 科目 1 2 単位以上）







科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
実践科目	基礎ゼミナール	1前		2		7	4	1			
	キャリア形成基礎論	1前		2							3
	キャリア開発論	2前		2							1
	キャリア形成戦略	3後		2							1
	実用国語Ⅰ(文章力)	1前・後		2							8
	実用国語Ⅱ(国語力)	1前・後		2							8
	実用国語Ⅲ(伝達力)	2前		2							3
	実用国語Ⅳ(表現力)	2後		2							1
	数理的教養Ⅰ	1前・後		2							7
	数理的教養Ⅱ	1前・後		2							4
	数理的教養Ⅲ	2前・後		2							1
	九産大力	1前		2							1
	学生サポーター	1通		2							2
	学生ボランティア入門	1前・後		2							2
	実践キャリア学修A	1後		2							3
	実践キャリア学修B	1前・後		2							3
	実践キャリア演習A	1前・後		2							4
	実践キャリア演習B	1前・後		2							8
	実践力育成演習A	1前・後		2							6
	実践力育成演習B	1後		2							6
課題解決演習A	1前		2							1	
課題解決演習B	1後		2							1	
基礎教育科目	日本の歴史	1前・後		2							2
	世界の歴史	1前・後		2							5
	法学	1前・後		2							5
	日本国憲法	1前・後		2							4
	現代の政治	1前・後		2							6
	倫理学	1前・後		2							4
	哲学の世界	1前・後		2							4
	文学の世界	1前・後		2							7
	心理学概説	1前・後		2							3
	文化人類学	1前・後		2							2
	科学・技術史	1前・後		2							2
	科学の世界	1前・後		2							4
	地理の世界	1前・後		2							2
	現代の経済	1前・後		2							2
	現代の経営	1前		2							1
	地学の世界	1前・後		2							2
	数学の世界	1前・後		2							2
	美学・美術史	1前・後		2							1
	音楽概論	1前・後		2							1
	アートスクール	1前		2							1
世界の美術館	1前・後		2							1	
人権・同和問題	1前・後		2							2	
ジェンダーと社会	1前・後		2							3	
教養講座	1後		2							7	
総合講座A(未開講)	1前		2							1	
総合講座B(未開講)	1後		2							1	
総合講座C(未開講)	1前		2							1	
総合講座D(未開講)	1後		2							1	
心と身体の健康	スポーツ科学演習	1前・後		2							8
	心の健康	1前・後		2							3
	健康学	1前・後		2							6
	小計(53科目)	1前・後		2							6

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
実践科目	基礎ゼミナール	1前		2		7	4	1			
	キャリア形成基礎論	1前		2							3
	キャリア開発論	2前		2							2
	キャリア形成戦略	3後		2							2
	実用国語Ⅰ(文章力)	1前・後		2							9
	実用国語Ⅱ(国語力)	1前・後		2							9
	実用国語Ⅲ(伝達力)	2前		2							2
	実用国語Ⅳ(表現力)	2後		2							3
	数理的教養Ⅰ	1前・後		2							6
	数理的教養Ⅱ	1前・後		2							2
	数理的教養Ⅲ	2前・後		2							4
	九産大力	1前・後		2							1
	学生サポーター	1通		2							2
	学生ボランティア入門	1前・後		2							1
	実践キャリア学修A	1後		2							2
	実践キャリア学修B	1前・後		2							3
	実践キャリア演習A	1前・後		2							3
	実践キャリア演習B	1前		2							2
	実践力育成演習A	1前・後		2							7
	実践力育成演習B	1後		2							4
課題解決演習A	1前		2							1	
課題解決演習B	1後		2							1	
基礎教育科目	日本の歴史	1前・後		2							2
	世界の歴史	1前・後		2							4
	法学	1前・後		2							6
	日本国憲法	1前・後		2							4
	現代の政治	1前・後		2							6
	倫理学	1前・後		2							4
	哲学の世界	1前・後		2							4
	文学の世界	1前・後		2							5
	心理学概説	1前・後		2							5
	文化人類学	1前・後		2							2
	科学・技術史	1前・後		2							2
	科学の世界	1前・後		2							5
	地理の世界	1前・後		2							2
	現代の経済	1前・後		2							2
	現代の経営	1前		2							1
	地学の世界	1前・後		2							2
	数学の世界	1前・後		2							2
	美学・美術史	1前・後		2							1
	音楽概論	1前・後		2							1
	アートスクール	1後		2							1
世界の美術館	1前・後		2							1	
人権・同和問題	1前・後		2							2	
ジェンダーと社会	1前・後		2							3	
教養講座	1後		2							6	
総合講座A(未開講)	1前		2							1	
総合講座B(未開講)	1後		2							1	
総合講座C(未開講)	1前		2							1	
総合講座D(未開講)	1後		2							1	
心と身体の健康	スポーツ科学演習	1前・後		2							13
	心の健康	1後		2							5
	健康学	1前・後		2							3
	小計(53科目)	1前・後		2							3





卒業要件及び履修方法

専門必修科目56単位、専門選択必修科目4単位以上、専門選択科目24単位以上、基礎教育科目14単位以上、外国語科目英語8単位以上、さらに専門、基礎教育科目及び外国語科目から18単位以上、合計124単位以上を修得すること。（履修科目の登録の上限：48単位（年間））

（電気エネルギーコース）

※専門選択必修科目＝4単位

（キャリア基礎から4科目のうちから4単位）

※専門選択科目＝24単位

（専門共通から6科目12単位以上、電気エネルギーコースから6科目12単位以上）

（通信システムコース）

※専門選択必修科目＝4単位

（キャリア基礎から4科目のうちから4単位）

※専門選択科目＝24単位

（専門共通から6科目12単位以上、通信システムコースから6科目12単位以上）

卒業要件及び履修方法

専門必修科目56単位、専門選択必修科目4単位以上、専門選択科目24単位以上、基礎教育科目14単位以上、外国語科目英語8単位以上、さらに専門、基礎教育科目及び外国語科目から18単位以上、合計124単位以上を修得すること。（履修科目の登録の上限：48単位（年間））

（電気エネルギーコース）

※専門選択必修科目＝4単位

（キャリア基礎から4科目のうちから4単位）

※専門選択科目＝24単位

（専門共通から6科目12単位以上、電気エネルギーコースから6科目12単位以上）

（通信システムコース）

※専門選択必修科目＝4単位

（キャリア基礎から4科目のうちから4単位）

※専門選択科目＝24単位

（専門共通から6科目12単位以上、通信システムコースから6科目12単位以上）

- （注）
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
  - ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**本字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・専任教員の昇任及び採用に伴う配置人数の変更「電気工学基礎」
- ・専任教員の昇任に伴う配置人数の変更「九州学」
- ・専任教員の昇任に伴う配置人数の変更「電気工学演習Ⅰ」
- ・専任教員の昇任に伴う配置人数の変更「電気工学実験Ⅰ」
- ・専任教員の昇任に伴う配置人数の変更「電気工学演習Ⅱ」
- ・専任教員の昇任に伴う配置人数の変更「制御工学Ⅰ」
- ・専任教員の昇任に伴う配置人数の変更「電気回路Ⅲ」
- ・専任教員の昇任に伴う配置人数の変更「制御工学Ⅱ」
- ・専任教員の昇任に伴う配置人数の変更「電気エネルギー概論」
- ・専任教員の昇任に伴う配置人数の変更「電力システム工学Ⅰ」
- ・専任教員の昇任に伴う配置人数の変更「卒業研究」
- ・専任教員の昇任、採用、就任前に伴う配置人数の変更「基礎ゼミナール」
- ・時間割編成において開講期別の追加「実用国語Ⅰ（文章力）」
- ・時間割編成において開講期別の追加「実践キャリア演習A」
- ・時間割編成において開講期別の追加「数学の世界」
- ・時間割編成において開講期別の変更「現代の経営」
- ・時間割編成において開講期別の変更「Professional Writing Skills」
- ・時間割編成において開講期別の変更「Introduction to Translation」
- ・時間割編成において開講期別の変更「Writing for Specific Purposes」
- ・時間割編成において担当者の追加「基礎物理」
- ・時間割編成において担当者の追加「物理学Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の追加「キャリア形成基礎論」
- ・時間割編成において担当者の追加「数理的教養Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の追加「数理的教養Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の追加「実践キャリア演習B」
- ・時間割編成において担当者の追加「実践力育成演習B」
- ・時間割編成において担当者の追加「日本の歴史」
- ・時間割編成において担当者の追加「法学」
- ・時間割編成において担当者の追加「日本国憲法」
- ・時間割編成において担当者の追加「現代の政治」
- ・時間割編成において担当者の追加「文学の世界」
- ・時間割編成において担当者の追加「教養講座」
- ・時間割編成において担当者の追加「スポーツ科学演習」
- ・時間割編成において担当者の追加「Reading & WritingⅠ」
- ・時間割編成において担当者の追加「Reading & WritingⅡ」
- ・時間割編成において担当者の追加「Listening & SpeakingⅠ」
- ・時間割編成において担当者の追加「Listening & SpeakingⅡ」
- ・時間割編成において担当者の追加「ドイツ語Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の追加「ドイツ語Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の追加「ドイツ語会話Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の追加「ドイツ語会話Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の追加「フランス語Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の追加「フランス語会話Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の追加「韓国語Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の追加「韓国語会話Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の追加「中国語Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の追加「日本語初級Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者の追加「日本語初級Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の追加及び開講期別の追加「実用国語Ⅱ（国語力）」
- ・時間割編成において担当者の追加及び開講期別の追加「学生ボランティア入門」
- ・時間割編成において担当者の追加及び開講期別の追加「実践キャリア学修B」
- ・時間割編成において担当者の追加及び開講期別の追加「実践力育成演習A」
- ・時間割編成において担当者の追加及び開講期別の追加「English Expressions」
- ・時間割編成において担当者の追加及び開講期別の追加「Overseas Job Training」
- ・時間割編成において担当者の追加及び開講期別の変更「Domestic Job Training」
- ・時間割編成において担当者の追加及び開講期別の変更「フランス語Ⅱ」

- ・時間割編成において担当者の追加及び開講期別の変更「フランス語会話Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の追加及び開講期別の変更「韓国語会話Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の追加及び開講期別の変更「中国語Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者の追加及び開講期別の変更「中国語会話Ⅱ」
- ・時間割編成において担当者的変更「物理実験」
- ・時間割編成において担当者的変更「世界の歴史」
- ・時間割編成において担当者的変更「倫理学」
- ・時間割編成において担当者的変更「心理学概説」
- ・時間割編成において担当者的変更「地理の世界」
- ・時間割編成において担当者的変更「心の健康」
- ・時間割編成において担当者的変更「Four Skills I」
- ・時間割編成において担当者的変更「Four Skills II」
- ・時間割編成において担当者的変更「Labo Training I」
- ・時間割編成において担当者的変更「Labo Training II」
- ・時間割編成において担当者的変更「日本語初級Ⅲ」
- ・時間割編成において担当者的変更「日本語初級Ⅳ」
- ・時間割編成において担当者的変更及び開講期別の変更「九産大力」
- ・時間割編成において担当者的変更及び開講期別の変更「実践キャリア学修A」
- ・時間割編成において担当者的変更及び開講方法の変更「アートスクール」
- ・就任前及び時間割編成において担当者的変更「科学の世界」

### 【平成30年度】

- ・専任教員の学長就任に伴う科目担当者の調整「九州学」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「電気工学基礎」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「電気工学導入演習」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「電気工学演習Ⅰ」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「電気基礎実験Ⅱ」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「電気工学演習Ⅱ」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「電子物性Ⅰ」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「電子物性Ⅱ」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「超伝導工学」
- ・教員の昇任に伴い専任教員等の配置を変更「卒業研究」
- ・非常勤講師の辞退に伴う担当者的変更「電気工学演習Ⅰ」
- ・時間割調整に伴う担当者増「電気工学導入演習」
- ・時間割編成において担当者的変更「キャリア開発論」
- ・時間割編成において担当者的変更「キャリア形成戦略」
- ・時間割編成において担当者的変更「実用国語Ⅰ（文章力）」
- ・時間割編成において担当者的変更「実用国語Ⅱ（国語力）」
- ・時間割編成において担当者的変更「実用国語Ⅲ（伝達力）」
- ・時間割編成において担当者的変更「実用国語Ⅳ（表現力）」
- ・時間割編成において担当者的変更「数理的教養Ⅰ」
- ・時間割編成において担当者的変更「数理的教養Ⅲ」
- ・時間割編成において開講期別の追加「九産大力」
- ・時間割編成において担当者的変更「学生ボランティア入門」
- ・時間割編成において担当者的変更「実践キャリア学修A」
- ・時間割編成において担当者的変更「実践キャリア演習A」
- ・時間割編成において担当者及び開講期別の変更「実践キャリア演習B」
- ・時間割編成において担当者的変更「実践力育成演習A」
- ・時間割編成において担当者的変更「実践力育成演習B」
- ・時間割編成において担当者的変更「世界の歴史」
- ・時間割編成において担当者的変更「法学」
- ・時間割編成において担当者的変更「文学の世界」
- ・時間割編成において担当者的変更「心理学概説」
- ・時間割編成において担当者的変更「科学の世界」
- ・時間割編成において開講期別の変更「アートスクール」
- ・時間割編成において担当者的変更「教養講座」
- ・時間割編成において担当者的変更「総合講座A」
- ・時間割編成において担当者的変更「総合講座B」
- ・時間割編成において担当者的変更「総合講座C」



- ・ 時間割編成において担当者の変更「総合講座D」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「スポーツ科学演習」
- ・ 時間割編成において担当者及び開講期別の変更「心の健康」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「健康学」
- ・ 時間割編成において担当者及び開講期別の変更「Reading & Writing I」
- ・ 時間割編成において担当者及び開講期別の変更「Reading & Writing II」
- ・ 時間割編成において担当者及び開講期別の変更「Reading & Writing III」
- ・ 時間割編成において担当者及び開講期別の変更「Reading & Writing IV」
- ・ 時間割編成において担当者及び開講期別の変更「Listening & Speaking I」
- ・ 時間割編成において担当者及び開講期別の変更「Listening & Speaking II」
- ・ 時間割編成において担当者及び開講期別の変更「Listening & Speaking III」
- ・ 時間割編成において担当者及び開講期別の変更「Listening & Speaking IV」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「English Expressions」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Four Skills I」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Four Skills II」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Labo Training I」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Labo Training II」
- ・ 時間割編成において開講期別の変更「Introduction to Translation」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Overseas Job Training」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Advanced Reading & Writing I」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Advanced Reading & Writing II」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「ドイツ語 I」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「ドイツ語 III」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「ドイツ語 IV」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「ドイツ語会話 I」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「ドイツ語会話 II」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「フランス語 I」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「フランス語 II」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「韓国語 I」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「韓国語 IV」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「韓国語会話 I」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「韓国語会話 II」
- ・ 時間割編成において開講期別の変更「中国語 II」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「中国語会話 II」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語中級 I」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語中級 II」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語中級 III」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語中級 IV」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語上級 I」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語上級 II」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語上級 III」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語上級 IV」
- ・ 時間割編成において開講期別の変更「日本の歴史 I」

#### 【令和元年度】

- ・ 専任教員の定年に伴い担当者及び配置人数の変更「物理学 I」
- ・ 専任教員の定年に伴い担当者及び配置人数の変更「物理学 II」
- ・ 専任教員の定年に伴い担当者及び配置人数の変更「物理実験」
- ・ 時間割編成において期別の変更「電磁気学 III」
- ・ 時間割編成において期別の変更「電磁波工学」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「数値計算法」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「電気工学演習 II」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「電気機器 I」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「電気機器 II」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「パワーエレクトロニクス」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「キャリア開発論」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「実用国語 I（文章力）」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「実用国語 II（国語力）」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「数理的教養 I」

- ・ 時間割編成において担当者の変更「数理的教養Ⅱ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更及び期別の変更「九産大力」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「学生ボランティア入門」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「実践キャリア学修B」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「実践力育成演習A」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「実践力育成演習B」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「課題解決演習A」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「世界の歴史」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「法学」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本国憲法」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「倫理学」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「文学の世界」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「科学の世界」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「現代の経済」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「教養講座」
- ・ 時間割編成において担当者の変更及び期別の変更「総合講座C」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Reading & Writing I」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Reading & Writing II」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Reading & Writing IV」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Listening & Speaking I」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Listening & Speaking II」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Listening & Speaking III」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Listening & Speaking IV」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「English Expressions」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Four Skills II」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Labo Training II」
- ・ 時間割編成において期別の変更「Professional Writing Skills (未開講)」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「Domestic Job Training」
- ・ 時間割編成において期別の変更「Overseas Job Training」
- ・ 時間割編成において担当者の変更及び期別の追加「Advanced Reading & Writing I」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「ドイツ語会話Ⅰ」
- ・ 時間割編成において期別の変更「ドイツ語会話Ⅱ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「フランス語Ⅰ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「韓国語Ⅰ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「韓国語Ⅱ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「韓国語Ⅳ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「中国語Ⅰ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「中国語Ⅱ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語初級Ⅰ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語初級Ⅱ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語初級Ⅲ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語初級Ⅳ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語中級Ⅰ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語中級Ⅱ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語上級Ⅰ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語上級Ⅱ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語上級Ⅲ」
- ・ 時間割編成において担当者の変更「日本語上級Ⅳ」

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
26 科目	215 科目	科目	241 科目	26 科目 [ 0 ]	215 科目 [ 0 ]	科目 [ ]	241 科目 [ 0 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	Professional Writing Skills	4	1	一般	選択	外国語科目の時間割編成により今年度は未開講とした。代替措置無
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」          全学共通に開講している外国語科目は、プログラムの進行に合わせて、全学的な見地から開講科目等を調整しているため、上記（3）の科目はやむを得ず未開講となった。外国語科目については、次年度以降も教育効果野観点から、開講数を調整の上、実施する計画である。</p> <p>「学生への周知方法」          混乱を避けるため、授業時間割表に掲載していない。</p>
---

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{1}{241} = \boxed{0.41} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（3）未開講科目」と「（4）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	一部校舎敷地と別地 宗像運動場用地 169,907.00㎡ 所要時間：約40分 距離：約22.14Km
	校 舎 敷 地	0㎡	142,274.53㎡ 142,048.53㎡ 150,761.86㎡	2,098.00㎡	144,372.53㎡ 144,146.53㎡ 152,859.86㎡	水谷運動場用地 15,352.53㎡ 所要時間：約10分 距離：約2.5Km
	運 動 場 用 地	0㎡	264,521.18㎡ 269,225.18㎡	0㎡	264,521.18㎡ 269,225.18㎡	九州造形短期大学（必 要面積3,000㎡）と共 用
	小 計	0㎡	406,795.71㎡ 406,569.71㎡ 419,987.04㎡	2,098.00㎡	408,893.71㎡ 408,667.71㎡ 422,085.04㎡	校舎敷地から駐車場 8,710㎡、運動場用地 から駐車場4,704㎡を 除き、その他に計上 (29)
	そ の 他	0㎡	33,419.65㎡ 33,420.02㎡ 20,006.02㎡	0㎡	33,419.65㎡ 33,420.02㎡ 20,006.02㎡	校舎敷地（-3.33㎡） 地目変更による減少 (29)
	合 計	0㎡	440,215.36㎡ 439,989.73㎡ 439,993.06㎡	2,098.00㎡	442,313.36㎡ 442,087.73㎡ 442,091.06㎡	校舎敷地（226㎡）土 地購入による増加 (30) その他（-0.37㎡）地 目変更による減少 (30)
(2) 校 舎	専 用		共 用	共用する他の 学校等の専用	計	九州造形短期大学（必 要面積3,000㎡）と共 用 校舎面積専用から厚生 施設・課外活動施設 11,419.37㎡を除いた (29)
	166,750.25㎡ <del>166,752.28㎡</del> 149,887.87㎡ 161,307.24㎡  (161,307.24㎡)	1,633㎡  ( 1,633㎡)	4,618.64㎡ <del>4,589.32㎡</del>	173,001.89㎡ <del>172,974.60㎡</del> 156,110.19㎡ 167,529.56㎡  (167,529.56㎡)	3号館新築（16,603.77 ㎡）売店新築（187.31 ㎡）に伴う増加（30） バス車庫解体（88.36 ㎡）に伴う減少（30） 厚生施設用途変更 （161.69㎡）に伴う増 加（30）  屋外トイレ解体 （54.50㎡）に伴う減 少（元）  屋外トイレ新築 （52.47㎡）に伴う増 加（元）  工房棟EV新設（29.32 ㎡）に伴う増加（元）	
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 一部九州造形短期大学 と共用
	169室 153室 150室	228室 227室 204室 208室	487室 491室 502室 503室	27室 26室 24室  (補助職員 0 人)	13室 15室  (補助職員 0 人)	用途を変更した（29） 3号館新築に伴う増加 および既存施設用途変 更のため（30）  用途を変更したため （元）
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		平成30年4月専任教員1 名を新規採用のため (30)
	理工学部 電気工学科			12 11 室		

(5)	新設学部等の名称	図書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標本	点	大学全体での共用分を含む			
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル						点	点	点
		冊	種	[うち外国書]								
理工学部	79,101 [18,902] (89,849[34,020]) (70,029[18,712]) (72,472-[18,919]) (77,381-[18,902])	1,039 [701]		86 [80]	2,150 (2,776) (2,722) (2,656)	10,024 11,498 11,664 11,372 (10,024) (11,498) (11,664) (11,372)	0 (0)	理工学部の専門分野の分類を見直した(29)(30) 購入計画を変更したため(29)(30)(元)				
計	79,101 [18,902] (89,849[34,020]) (70,029[18,712]) (72,472-[18,919]) (77,381-[18,902])	1,039 [701]		86 [80]	2,150 (2,776) (2,722) (2,656)	10,024 11,498 11,664 11,372 (10,024) (11,498) (11,664) (11,372)	0 (0)	図書、視聴覚資料の増加分は新規購入および短期大学部図書を追加したことによる。(元)				
(6)	図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		座席を増やしたため(29)				
		8,828.26㎡		1,091 1,020		730,667 724,889 699,194			書架を増設したため(28)(29)(30) 造形短期大学部書架を含む(29)			
(7)	体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体				
		6,689.58㎡		武道館		弓道場						
				屋内プール		—						
(8)	経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。図書購入費について当初は、予算額を記入していたが、執行額に変更したため(29)(30) 当初は予算額を記入していたが、執行額に変更したため(29)(30)(元)			
		教員1人当り研究費等	581千円 460千円	581千円 460千円	図書購入費	6,281千円 4,300千円	15,050千円 4,300千円	4,300千円				
		共同研究費等	14,379千円 18,200千円	72,600千円	設備購入費	184,305千円 111,640千円	253,921千円 14,800千円	59,100千円				
		学生1人当り納付金	第1年次 1,450千円	第2年次 1,250千円	第3年次 1,250千円	第4年次 1,250千円	第5年次 —千円	第6年次 —千円				
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資金運用収入等									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	九州産業大学									備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収 容 員 定 員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍				
経済学部	4	400	-	1,600	学士 (経済学)	1.09	-	平成5年度	-	
経済学科	4	400	-	1,600	学士 (経済学)	1.09	-	平成5年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
経済学科 (夜間主コース)	4	-	-	-	学士 (経済学)	-	-	平成5年度	同上	平成30年より学生募集停止
商学部	4	500	-	1,000	学士 (商学)	1.05	-	平成30年度	-	
経営・流通学科	4	500	-	1,000	学士 (商学)	1.05	-	平成30年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
地域共創学部	4	280	-	560	学士 (観光学) (地域学)	0.98	-	平成30年度	-	
観光学科	4	150	-	300	学士 (観光学)	0.97	-	平成30年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
地域づくり学科 (昼夜開講制)	4	130	-	260	学士 (地域学)	0.99	-	平成30年度	同上	
商学部第一部	4	-	-	-	学士 (商学)	-	-	昭和35年度	-	
商学科	4	-	-	-	学士 (商学)	-	-	昭和35年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	平成30年より学生募集停止
観光産業学科	4	-	-	-	学士 (商学)	-	-	平成11年度	同上	平成30年より学生募集停止
商学部第二部	4	-	-	-	学士 (商学)	-	-	昭和39年度	-	
商学科	4	-	-	-	学士 (商学)	-	-	昭和39年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	平成30年より学生募集停止
経営学部	4	-	-	-	学士 (経営学)	-	-	昭和43年度	-	
国際経営学科	4	-	-	-	学士 (経営学)	-	-	昭和56年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	平成30年より学生募集停止
産業経営学科	4	-	-	-	学士 (経営学)	-	-	昭和43年度	同上	平成30年より学生募集停止
理工学部	4	370	-	1,110	学士 (情報科学) (工学)	0.97	-	平成29年度	-	
情報科学科	4	140	-	420	学士 (情報科学)	1.05	-	平成29年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
機械工学科	4	130	-	390	学士 (工学)	0.90	-	平成29年度	同上	
電気工学科	4	100	-	300	学士 (工学)	0.97	-	平成29年度	同上	
生命科学部	4	110	-	330	学士 (工学)	0.92	-	平成29年度	-	
生命科学科	4	110	-	330	学士 (工学)	0.92	-	平成29年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
建築都市工学部	4	200	-	600	学士 (工学)	1.00	-	平成29年度	-	
建築学科	4	75	-	225	学士 (工学)	0.94	-	平成29年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
住居・インテリア 学科	4	65	-	195	学士 (工学)	1.11	-	平成29年度	同上	
都市デザイン工 学科	4	60	-	180	学士 (工学)	0.95	-	平成29年度	同上	

大学の名称	九州産業大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
工学部	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	昭和38年度	-	
機械工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	昭和38年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	平成29年より学生募集停止
電気情報工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	昭和38年度	同上	平成29年より学生募集停止
物質生命化学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	昭和38年度	同上	平成29年より学生募集停止
都市基盤デザイン工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	昭和39年度	同上	平成29年より学生募集停止
建築学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	昭和39年度	同上	平成29年より学生募集停止
住居・インテリア設計学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成22年度	同上	平成29年より学生募集停止
バイオロボティクス学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成16年度	同上	平成29年より学生募集停止
芸術学部	4	300	-	1,200	学士(芸術)	0.97	-	昭和41年度	-	
芸術表現学科	4	65	-	260	学士(芸術)	1.08	-	平成28年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
写真・映像メディア学科	4	50	-	200	学士(芸術)	1.20	-	平成28年度	同上	
ビジュアルデザイン学科	4	75	-	300	学士(芸術)	1.16	-	平成28年度	同上	
生活環境デザイン学科	4	70	-	280	学士(芸術)	0.72	-	平成28年度	同上	
ソーシャルデザイン学科	4	40	-	160	学士(芸術)	0.59	-	平成28年度	同上	
美術学科	4	-	-	-	学士(芸術)	-	-	昭和41年度	同上	平成28年より学生募集停止
デザイン学科	4	-	-	-	学士(芸術)	-	-	昭和41年度	同上	平成28年より学生募集停止
写真映像学科	4	-	-	-	学士(芸術)	-	-	昭和41年度	同上	平成28年より学生募集停止
国際文化学部	4	140	-	680	学士(国際文化)(文学)	1.11	-	平成6年度	-	
国際文化学科	4	80	-	320	学士(国際文化)	1.12	-	平成6年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	平成30年より編入学学生募集停止
日本文化学科	4	60	-	240	学士(国際文化)	1.09	-	平成6年度	同上	平成30年より編入学学生募集停止
臨床心理学科	4	-	-	-	学士(文学)	-	-	平成16年度	同上	平成30年より学生募集停止
人間科学部	4	230	-	460	学士(人間科学)	0.92	-	平成30年度	-	
臨床心理学科	4	70	-	140	学士(人間科学)	1.02	-	平成30年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
子ども教育学科	4	80	-	160	学士(人間科学)	0.72	-	平成30年度	同上	
スポーツ健康科学科	4	80	-	160	学士(人間科学)	1.03	-	平成30年度	同上	
情報科学部										
情報科学科	4	-	-	-	学士(情報科学)	-	-	平成21年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	平成29年より学生募集停止
大学全体	4	2,530	-	10,325	-	1.00	-	-	-	



大学の名称		九州産業大学 大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
経済・ビジネス研究科									-	
経済学専攻 (博士前期課程)	2	7	-	14	修士 (経済学)	0.42	-	田成21年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
現代ビジネス専攻 (博士前期課程)	2	20	-	40	修士 (商学) 修士 (経営学)	0.32	-	平成21年度	同上	
経済・ビジネス専攻 (博士後期課程)	3	5	-	15	博士 (経済学) 博士 (商学) 博士 (経営学)	0.06	-	平成21年度	同上	
工学研究科									-	
産業技術デザイン専攻 (博士前期課程)	2	35	-	70	修士 (工学)	0.22	-	田成23年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
産業技術デザイン専攻 (博士後期課程)	3	4	-	12	博士 (工学)	0.08	-	平成23年度	同上	
芸術研究科									-	
造形表現専攻 (博士前期課程)	2	14	-	28	修士 (芸術)	1.10	-	田成24年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
造形表現専攻 (博士後期課程)	3	6	-	18	博士 (芸術)	0.27	-	平成11年度	同上	
国際文化研究科									-	
国際文化専攻 (博士前期課程)	2	15	-	30	修士 (文学)	0.93	-	田成10年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
国際文化専攻 (博士後期課程)	3	5	-	15	博士 (文学)	0.20	-	平成10年度	同上	
情報科学研究科									-	
情報科学専攻 (博士前期課程)	2	20	-	40	修士 (情報科学)	0.17	-	平成16年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	
情報科学専攻 (博士後期課程)	3	4	-	12	博士 (情報科学)	0.00	-	平成16年度	同上	
大学院全体 (博士前期課程)	2	111	-	222	-	0.55	-	-		
大学院全体 (博士後期課程)	3	24	-	72	-	0.12	-	-		
大学の名称		九州産業大学造形短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
造形芸術学科	2	150	-	300	短期大学士 (芸術)	0.95		平成19年度	福岡県福岡市東区松香台二丁目3番1号	平成29年度より名称変更

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。























専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名	
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
兼任	講師	NICHOLAS Bovee <平成29年4月> M.S.Ed. in TESOL (米国) Reading & Writing III Reading & Writing IV Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV Domestic Job Training Introduction to Translation	兼任	講師	NICHOLAS Bovee <平成29年4月> M.S.Ed. in TESOL (米国) Reading & Writing III Reading & Writing IV Listening & Speaking III Listening & Speaking IV <b>Four Skills I</b> <b>Four Skills II</b> <b>Labo Training I</b> <b>Labo Training II</b> Domestic Job Training	兼任	准教授	NICHOLAS Bovee <平成29年4月> M.S.Ed. in TESOL (米国) <b>Listening &amp; Speaking I</b> <b>Listening &amp; Speaking II</b> <b>Four Skills I</b> <b>Four Skills II</b> <b>Labo Training I</b> <b>Labo Training II</b> Domestic Job Training	兼任	准教授	NICHOLAS Bovee <平成29年4月> M.S.Ed. in TESOL (米国) <b>Listening &amp; Speaking IV</b> <b>Four Skills II</b> <b>Overseas Job Training</b> <b>Advanced Reading &amp; Writing I</b>				
兼任	講師	SHERLOCK Zelinda <平成29年4月> Master of Teaching English to Speakers of Other Languages (愛州) Reading & Writing I Reading & Writing II Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV Four Skills I Four Skills II Labo Training I Labo Training II													
兼任	講師	ANDREW Thompson <平成29年4月> Master of Applied Linguistics (愛州) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV Writing for Specific Purposes Four Skills I Four Skills II Labo Training I Labo Training II Writing for Specific Purposes	兼任	講師	ANDREW Thompson <平成29年4月> Master of Applied Linguistics (愛州) Reading & Writing III Reading & Writing IV Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV Writing for Specific Purposes	兼任	講師	ANDREW Thompson <平成29年4月> Master of Applied Linguistics (愛州) Reading & Writing III Reading & Writing IV Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV Writing for Specific Purposes							
兼任	講師	川嶋 真由美 <平成29年4月> 博士 (文学) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV	兼任	講師	川嶋 真由美 <平成29年4月> 博士 (文学) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV	兼任	講師	川嶋 真由美 <平成29年4月> 博士 (文学) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV	兼任	講師	川嶋 真由美 <平成29年4月> 博士 (文学) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV				
兼任	講師	武内 祥朗 <平成29年4月> 博士 (言語学) Reading & Writing I Reading & Writing II Four Skills I Labo Training I	兼任	講師	武内 祥朗 <平成29年4月> 博士 (言語学) Reading & Writing I Reading & Writing II Labo Training I <b>English Expressions</b>	兼任	講師	武内 祥朗 <平成29年4月> 博士 (言語学) Reading & Writing I Reading & Writing II <b>Reading &amp; Writing III</b> <b>Reading &amp; Writing IV</b> Labo Training I <b>Labo Training II</b> <b>English Expressions</b>	兼任	講師	武内 祥朗 <平成29年4月> 博士 (言語学) Reading & Writing I Reading & Writing II <b>Reading &amp; Writing III</b> <b>Reading &amp; Writing IV</b> <b>English Expressions</b> Labo Training I				
兼任	講師	NAGASHIMA Lyndell <平成29年4月> 修士 (文学) (愛州) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV Four Skills I Four Skills II Labo Training I Labo Training II	兼任	講師	NAGASHIMA Lyndell <平成29年4月> 修士 (文学) (愛州) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV Four Skills I Four Skills II Labo Training I Labo Training II <b>Overseas Job Training</b>	兼任	講師	NAGASHIMA Lyndell <平成29年4月> 修士 (文学) (愛州) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV Four Skills I Four Skills II Labo Training I Labo Training II	兼任	講師	NAGASHIMA Lyndell <平成29年4月> 修士 (文学) (愛州) Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV Labo Training I Labo Training II Four Skills I Four Skills II				
兼任	講師	GALLACHER Andrew <平成29年4月> Master of Applied Linguistics and English Language Teaching (英国) Reading & Writing III Reading & Writing IV Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV Four Skills I Four Skills II Labo Training I Labo Training II	兼任	講師	GALLACHER Andrew <平成29年4月> Master of Applied Linguistics and English Language Teaching (英国) <b>Reading &amp; Writing I</b> <b>Reading &amp; Writing II</b> Reading & Writing III Reading & Writing IV Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV Four Skills I Four Skills II Labo Training I Labo Training II	兼任	講師	GALLACHER Andrew <平成29年4月> Master of Applied Linguistics and English Language Teaching (英国) <b>Reading &amp; Writing I</b> <b>Reading &amp; Writing II</b> Reading & Writing III Reading & Writing IV <b>Reading &amp; Writing V</b> <b>Reading &amp; Writing VI</b> Listening & Speaking I Listening & Speaking II Listening & Speaking III Listening & Speaking IV Labo Training I Labo Training II Four Skills I Four Skills II	兼任	講師	GALLACHER Andrew <平成29年4月> Master of Applied Linguistics and English Language Teaching (英国) <b>Reading &amp; Writing I</b> Reading & Writing II Reading & Writing III <b>Reading &amp; Writing IV</b> <b>Reading &amp; Writing V</b> <b>Reading &amp; Writing VI</b> Listening & Speaking III Listening & Speaking IV Labo Training I Labo Training II Four Skills I Four Skills II				















専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	石丸 哲史 ＜平成29年4月＞ 博士 （文学） 地理の世界
兼任	講師	鴨川 武文 ＜平成29年4月＞ 理学修士 地理の世界
兼任	講師	方 大年 ＜平成29年4月＞ 博士 （文学） 地理の世界
兼任	講師	中村 大輔 ＜平成29年4月＞ Ph.D. in Economics （英国） 現代の経済
兼任	講師	石坂 元一 ＜平成29年4月＞ 博士 （商学） 現代の経営
兼任	講師	金光 理 ＜平成29年4月＞ 理学博士 地学の世界
兼任	講師	杉崎 裕子 ＜平成29年4月＞ 哲学修士※ 美学・美術史
兼任	講師	長野 俊樹 ＜平成29年4月＞ 芸術学修士 音楽概論
兼任	講師	安高 啓明 ＜平成29年4月＞ 博士 （史学） 博士 （国際文化） 世界の美術誌
兼任	講師	大塚 正純 ＜平成29年4月＞ 法学士 人権・同和問題
兼任	講師	貞永 靖 ＜平成29年4月＞ 芸術学修士 人権・同和問題
兼任	講師	阪井 俊文 ＜平成29年4月＞ 博士 （学術） ジェンダーと社会
兼任	講師	長谷川 伸子 ＜平成29年4月＞ 修士 （経済学） ※ ジェンダーと社会
兼任	講師	森川 晴 ＜平成29年4月＞ 文学修士 ジェンダーと社会
兼任	講師	好村 友江 ＜平成29年4月＞ 修士 （文学） ※ 実用国語Ⅰ（文章力） 総合講座C 総合講座D
兼任	講師	幸地 英理子 ＜平成29年4月＞ 修士 （文学） ※ 心の健康※
兼任	講師	浅田 えり佳 ＜平成29年4月＞ 修士 （文学） Reading & Writing I Reading & Writing II Reading & Writing III Reading & Writing IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	石丸 哲史 ＜平成29年4月＞ 博士 （文学） 地理の世界
兼任	講師	方 大年 ＜平成29年4月＞ 博士 （文学） 地理の世界
兼任	講師	中村 大輔 ＜平成29年4月＞ Ph.D. in Economics （英国） 現代の経済
兼任	講師	石坂 元一 ＜平成29年4月＞ 博士 （商学） 現代の経営
兼任	講師	金光 理 ＜平成29年4月＞ 理学博士 地学の世界
兼任	講師	杉崎 裕子 ＜平成29年4月＞ 哲学修士※ 美学・美術史
兼任	講師	長野 俊樹 ＜平成29年4月＞ 芸術学修士 音楽概論
兼任	講師	内島 美奈子 ＜平成29年4月＞ 修士 （国際文化） 世界の美術誌
兼任	講師	大塚 正純 ＜平成29年4月＞ 法学士 人権・同和問題
兼任	講師	貞永 靖 ＜平成29年4月＞ 芸術学修士 人権・同和問題
兼任	講師	阪井 俊文 ＜平成29年4月＞ 博士 （学術） ジェンダーと社会
兼任	講師	長谷川 伸子 ＜平成29年4月＞ 修士 （経済学） ※ ジェンダーと社会
兼任	講師	森川 晴 ＜平成29年4月＞ 文学修士 ジェンダーと社会
兼任	講師	渡辺 玄美 ＜平成29年4月＞ 文学士 実用国語Ⅰ（文章力） 実用国語Ⅱ（読解力） 幸地 英理子
兼任	講師	幸地 英理子 ＜平成29年4月＞ 修士 （文学） ※ 心の健康※
兼任	講師	浅田 えり佳 ＜平成29年4月＞ 修士 （文学） Reading & Writing III Reading & Writing IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	石丸 哲史 ＜平成29年4月＞ 博士 （文学） 地理の世界
兼任	講師	方 大年 ＜平成29年4月＞ 博士 （文学） 地理の世界
兼任	講師	中村 大輔 ＜平成29年4月＞ Ph.D. in Economics （英国） 現代の経済
兼任	講師	石坂 元一 ＜平成29年4月＞ 博士 （商学） 現代の経営
兼任	講師	金光 理 ＜平成29年4月＞ 理学博士 地学の世界
兼任	講師	杉崎 裕子 ＜平成29年4月＞ 哲学修士※ 美学・美術史
兼任	講師	長野 俊樹 ＜平成29年4月＞ 芸術学修士 音楽概論
兼任	講師	渡辺 玄美 ＜平成29年4月＞ 文学士 実用国語Ⅰ（文章力） 実用国語Ⅱ（読解力） 幸地 英理子
兼任	講師	幸地 英理子 ＜平成29年4月＞ 修士 （文学） ※ 心の健康※ 心理学概説
兼任	講師	浅田 えり佳 ＜平成29年4月＞ 修士 （文学） Reading & Writing III Reading & Writing IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	石丸 哲史 ＜平成29年4月＞ 博士 （文学） 地理の世界
兼任	講師	方 大年 ＜平成29年4月＞ 博士 （文学） 地理の世界
兼任	講師	中村 大輔 ＜平成29年4月＞ Ph.D. in Economics （英国） 現代の経済
兼任	講師	石坂 元一 ＜平成29年4月＞ 博士 （商学） 現代の経営
兼任	講師	金光 理 ＜平成29年4月＞ 理学博士 地学の世界
兼任	講師	長野 俊樹 ＜平成29年4月＞ 芸術学修士 音楽概論
兼任	講師	渡辺 玄美 ＜平成29年4月＞ 文学士 実用国語Ⅰ（文章力） 実用国語Ⅱ（読解力） 幸地 英理子
兼任	講師	幸地 英理子 ＜平成29年4月＞ 修士 （文学） ※ 心の健康※ 心理学概説
兼任	講師	浅田 えり佳 ＜平成29年4月＞ 修士 （文学） Reading & Writing III Reading & Writing IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	石丸 哲史 ＜平成29年4月＞ 博士 （文学） 地理の世界
兼任	講師	方 大年 ＜平成29年4月＞ 博士 （文学） 地理の世界
兼任	講師	中村 大輔 ＜平成29年4月＞ Ph.D. in Economics （英国） 現代の経済
兼任	講師	石坂 元一 ＜平成29年4月＞ 博士 （商学） 現代の経営
兼任	講師	金光 理 ＜平成29年4月＞ 理学博士 地学の世界
兼任	講師	長野 俊樹 ＜平成29年4月＞ 芸術学修士 音楽概論
兼任	講師	渡辺 玄美 ＜平成29年4月＞ 文学士 実用国語Ⅰ（文章力） 実用国語Ⅱ（読解力） 幸地 英理子
兼任	講師	幸地 英理子 ＜平成29年4月＞ 修士 （文学） ※ 心の健康※ 心理学概説
兼任	講師	浅田 えり佳 ＜平成29年4月＞ 修士 （文学） Reading & Writing III Reading & Writing IV











































(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・昇任に伴う職名の変更「橋口 卓平」
- ・学部長就任に伴う職名の変更「鶴田 和寛」
- ・退職に伴う担当者変更のため「高橋 誠」
- ・時間割編成において担当者の変更「洪田 敬史」
- ・昇任に伴う職名の変更「富田 英夫」
- ・国外研修に伴う担当者の変更「市原 猛志」
- ・時間割編成において担当者の変更「鳴海 孝之」
- ・専任教員採用に伴う担当者の変更「小倉 弘毅」
- ・時間割編成において担当者の変更「石橋 睦」
- ・時間割編成において担当者の変更「西岡 昌幸」
- ・時間割編成において担当者の変更「久保 幸貴」
- ・時間割編成において担当者の変更「寺田 貢」
- ・時間割編成において担当者の変更「緒方 泉」
- ・時間割編成において担当者の変更「秋山 優」
- ・時間割編成において担当者の変更「金川 一夫」
- ・時間割編成において担当者の変更「福田 馨」
- ・時間割編成において担当者の変更「安永 信二」
- ・時間割編成において担当者の変更「奥村 浩正」
- ・時間割編成において担当者の変更「安河内 春彦」
- ・時間割編成において担当者の変更「石川 泰成」
- ・時間割編成において担当者の変更「森 英一」
- ・時間割編成において担当者の変更「清水 陽子」
- ・時間割編成において担当者の変更「聞間 理」
- ・時間割編成において担当者の変更「千 相哲」
- ・時間割編成において担当者の変更「宗像 優」
- ・時間割編成において担当者の変更「佐野 彰」
- ・時間割編成において担当者の変更「酒井 順一郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「木村 俊夫」
- ・時間割編成において担当者の変更「富原 裕二」
- ・時間割編成において担当者の変更「堀内 ゆかり」
- ・時間割編成において担当者の変更「西菌 秀嗣」
- ・時間割編成において担当者の変更「河野 賢治」
- ・時間割編成において担当者の変更「田中 康一郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「森 誠子」
- ・時間割編成において担当者の変更「藤田 尚志」
- ・時間割編成において担当者の変更「三浦 香織」
- ・時間割編成において担当者の変更「伊藤 高志」
- ・時間割編成において担当者の変更「JEFF ANDERSON」
- ・昇任に伴う職名の変更「長谷川 由起子」
- ・時間割編成において担当者の変更「伊藤 精男」
- ・時間割編成において担当者の変更「横井 克典」
- ・時間割編成において担当者の変更「松原 岳行」
- ・時間割編成において担当者の変更「福田 拓哉」
- ・時間割編成において担当者の変更「高橋 芳弘」
- ・時間割編成において担当者の変更「高杉 美佳子」
- ・時間割編成において担当者の変更「中尾 嘉秀」
- ・時間割編成において担当者の変更「志水 智子」
- ・時間割編成において担当者の変更「酒井 一臣」
- ・時間割編成において担当者の変更「石田 俊一」
- ・時間割編成において担当者の変更「林 政喜」
- ・時間割編成において担当者の変更「鍛冶 俊輔」
- ・時間割編成において担当者の変更「宮内 紀子」
- ・退職に伴う教員区分の変更及び時間割編成において担当者の変更「鬼塚（峯） 淳子」
- ・時間割編成において担当者の変更「JEFFREY Stewart」
- ・時間割編成において担当者の変更「NICHOLAS Bovee」
- ・就任辞退のため担当者変更「SHERLOCK Zelinda」
- ・時間割編成において担当者の変更「ANDREW Thompson」
- ・時間割編成において担当者の変更「武内 祥朗」
- ・時間割編成において担当者の変更「NAGASHIMA Lyndell」
- ・時間割編成において担当者の変更「GALLACHER Andrew」
- ・時間割編成において担当者の変更「David Johnson」
- ・時間割編成において担当者の変更「ALEXANDER Cameron」
- ・時間割編成において担当者の変更「HARROLD Peter」
- ・時間割編成において担当者の変更「HOWARTH Mark」
- ・時間割編成において担当者の変更「小田部 貴子」
- ・時間割編成において担当者の変更「堀口 悟郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「小川 悠紀」
- ・時間割編成において担当者の変更「W I T K I N Ne i l」
- ・時間割編成において担当者の変更「KUKHARUK Alexey」
- ・時間割編成において担当者の変更「CAPOBIANCO Paul」
- ・時間割編成において担当者の変更「BAKER Matthew」
- ・時間割編成において担当者の変更「PAIN Ryan」
- ・時間割編成において担当者の変更「内田 友子」
- ・時間割編成において担当者の変更「石元 みさと」
- ・時間割編成において担当者の変更「隅田 康明」
- ・時間割編成において担当者の変更「隈本 覚」
- ・時間割編成において担当者の変更「上田 直次」
- ・時間割編成において担当者の変更「東寺 祐亮」
- ・時間割編成において担当者の変更「丹後 享」
- ・時間割編成において担当者の変更「平 誠一」
- ・時間割編成において担当者の変更「中本 幹生」
- ・時間割編成において担当者の変更「奥野 新太郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「梶原 律子」
- ・時間割編成において担当者の変更「金坂 弥起」
- ・時間割編成において担当者の変更「木村 太一」
- ・時間割編成において担当者の変更「中島 俊介」
- ・時間割編成において担当者の変更「荒井 秋晴」
- ・時間割編成において担当者の変更「紙谷 聡志」
- ・時間割編成において担当者の変更「中島 道夫」
- ・時間割編成において担当者の変更「鴨川 武文」



- ・時間割編成において担当者の変更「内島 美奈子」
- ・時間割編成において担当者の変更「渡辺 玄英」
- ・時間割編成において担当者の変更「浅田 えり佳」
- ・時間割編成において担当者の変更「大塚 知昇」
- ・時間割編成において担当者の変更「岡田 美鈴」
- ・時間割編成において担当者の変更「萱嶋 崇」
- ・時間割編成において担当者の変更「川口 千富美」
- ・時間割編成において担当者の変更「近藤 直美」
- ・時間割編成において担当者の変更「進藤 範子」
- ・時間割編成において担当者の変更「高木 留美」
- ・時間割編成において担当者の変更「高田 とも子」
- ・時間割編成において担当者の変更「都地 沙央里」
- ・時間割編成において担当者の変更「平川 知子」
- ・時間割編成において担当者の変更「松原 留美」
- ・時間割編成において担当者の変更「三瀬 亜紀」
- ・時間割編成において担当者の変更「宮本 なつき」
- ・時間割編成において担当者の変更「與古光 宏」
- ・時間割編成において担当者の変更「大場 智恵子」
- ・時間割編成において担当者の変更「Markus Yong」
- ・教員区分の変更及び時間割編成において担当者の変更「Adam Stone」
- ・時間割編成において担当者の変更「Samuel Taylor」
- ・時間割編成において担当者の変更「Gerard Maher」
- ・時間割編成において担当者の変更「Stephen Farmer」
- ・時間割編成において担当者の変更「Phillip Pinniger」
- ・時間割編成において担当者の変更「Nicholas Shillingford」
- ・時間割編成において担当者の変更「Laura-Mae Noma」
- ・時間割編成において担当者の変更「Michael Sherlock」
- ・時間割編成において担当者の変更「Luke Ashby」
- ・時間割編成において担当者の変更「篠崎 元」
- ・時間割編成において担当者の変更「Zeilhofer Luisa」
- ・時間割編成において担当者の変更「Holst Sven-Ohle」
- ・時間割編成において担当者の変更「任 春江」
- ・時間割編成において担当者の変更「原田 裕里」
- ・時間割編成において担当者の変更「山本 崇代」
- ・時間割編成において担当者の変更「末永 京子」
- ・時間割編成において担当者の変更「Benjamin Laba」
- ・時間割編成において担当者の変更「元 慶臣」
- ・時間割編成において担当者の変更「金 貞淑」
- ・時間割編成において担当者の変更「小島 大輝」
- ・時間割編成において担当者の変更「徐 正三」
- ・時間割編成において担当者の変更「安 滯珠」
- ・時間割編成において担当者の変更「朴 順伊」
- ・時間割編成において担当者の変更「荀 暁崢」
- ・時間割編成において担当者の変更「張 欣」
- ・時間割編成において担当者の変更「陳 菁」
- ・時間割編成において担当者の変更「李 岩」
- ・時間割編成において担当者の変更「岡田 美穂」
- ・教員区分の変更及び時間割編成において担当者の変更「藤田 恵里子」
- ・時間割編成において担当者の変更「青木 志穂子」
- ・時間割編成において担当者の変更「松本 妙子」
- ・時間割編成において担当者の変更「中村 萬里」
- ・時間割編成において担当者の変更「田鹿 絃」
- ・時間割編成において担当者の変更「吉原 さくら」
- ・時間割編成において担当者の変更「福田 尚法」
- ・時間割編成において担当者の変更「江藤 宏」
- ・時間割編成において担当者の変更「原田 論」
- ・時間割編成において担当者の変更「後藤 啓倫」
- ・時間割編成において担当者の変更「西 貴倫」
- ・時間割編成において担当者の変更「栗山 雅央」
- ・時間割編成において担当者の変更「長谷川 真史」
- ・時間割編成において担当者の変更「貞方 浩二」
- ・時間割編成において担当者の変更「保家 信太郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「才津 絢子」
- ・時間割編成において担当者の変更「福田 成美」
- ・時間割編成において担当者の変更「蒲原 順子」
- ・時間割編成において担当者の変更「隈部 渉」
- ・時間割編成において担当者の変更「前屋敷 太郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「渡邊 裕子」
- ・時間割編成において担当者の変更「谷岡 敏博」
- ・時間割編成において担当者の変更「古賀 奈里」
- ・時間割編成において担当者の変更「戸丸 優作」
- ・時間割編成において担当者の変更「Aaron Gibson」
- ・時間割編成において担当者の変更「Kevin White」
- ・時間割編成において担当者の変更「Shane Shalless」
- ・時間割編成において担当者の変更「コクラン 由美子」
- ・時間割編成において担当者の変更「ブルノ クリスチャン」
- ・時間割編成において担当者の変更「Perry Brandon」
- ・時間割編成において担当者の変更「Laurie Griffiths」
- ・時間割編成において担当者の変更「Paul Arenson」
- ・時間割編成において担当者の変更「Andrew McMahon」
- ・時間割編成において担当者の変更「Alexander Rykers」
- ・時間割編成において担当者の変更「Juha Vaittinen」
- ・時間割編成において担当者の変更「Christian Mercado」
- ・時間割編成において担当者の変更「金子 賢治」
- ・時間割編成において担当者の変更「Martin Nutt」
- ・時間割編成において担当者の変更「村上 浩明」
- ・時間割編成において担当者の変更「伊東 沙織」
- ・時間割編成において担当者の変更「Minimo Maiwald」
- ・時間割編成において担当者の変更「甲斐 春香」
- ・時間割編成において担当者の変更「野村 知佐子」
- ・時間割編成において担当者の変更「木下 樹親」
- ・時間割編成において担当者の変更「Torres Benard」
- ・時間割編成において担当者の変更「カント'リョン フォビアン」

- ・時間割編成において担当者の変更「白岩 美穂」
- ・時間割編成において担当者の変更「李 今淑」
- ・時間割編成において担当者の変更「鄭 美京」
- ・時間割編成において担当者の変更「朴 永奎」
- ・時間割編成において担当者の変更「姜 希京」
- ・時間割編成において担当者の変更「李 延恩」
- ・時間割編成において担当者の変更「胡 山林」
- ・時間割編成において担当者の変更「顧 紅英」
- ・時間割編成において担当者の変更「塩田 寿美子」
- ・時間割編成において担当者の変更「立花 奈央」
- ・時間割編成において担当者の変更「満生 洋子」
- ・時間割編成において担当者の変更「姚 瑤」
- ・時間割編成において担当者の変更「香月 智恵」
- ・時間割編成において担当者の変更「竹下 直子」
- ・時間割編成において担当者の変更「戸田 宏治」

【平成30年度】

- ・時間割編成において担当者の変更「鷹野 重之」
- ・昇任に伴う職名の変更「西岸 照和」
- ・時間割編成において担当者の変更「貞方 敦雄」
- ・国外研修に伴う担当者の変更「富田 英夫」
- ・昇任に伴う職名の変更「神屋 郁子」
- ・学長就任に伴う職名の変更「榊 泰輔」
- ・時間割編成において担当者の変更「三澤 賢明」
- ・時間割編成において担当者の変更「小倉 弘毅」
- ・時間割編成において担当者の変更「石橋 陸」
- ・時間割編成において担当者の変更「一政 遼太郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「乾 弘幸」
- ・時間割編成において担当者の変更「田中 靖人」
- ・時間割編成において担当者の変更「原 巖」
- ・時間割編成において担当者の変更「安河内 春彦」
- ・時間割編成において担当者の変更「尾張 充典」
- ・時間割編成において担当者の変更「石川 泰成」
- ・時間割編成において担当者の変更「間間 理」
- ・時間割編成において担当者の変更「千 相哲」
- ・時間割編成において担当者の変更「森(田口) 誠子」
- ・時間割編成において担当者の変更「大菌 修一」
- ・時間割編成において担当者の変更「長谷川 由起子」
- ・時間割編成において担当者の変更「木村 隆幸」
- ・時間割編成において担当者の変更「酒井 一臣」
- ・時間割編成において担当者の変更「福田 潤」
- ・時間割編成において担当者の変更「秋山 大輔」
- ・時間割編成において担当者の変更「田中 真理」
- ・時間割編成において担当者の変更「林 政喜」
- ・時間割編成において担当者の変更「安陪 大治郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「NICHOLAS Bovee」
- ・時間割編成において担当者の変更「武内 梓朗」
- ・時間割編成において担当者の変更「NAGASHIMA Lyndell」
- ・時間割編成において担当者の変更「GALLACHER Andrew」
- ・時間割編成において担当者の変更「David Johnson」
- ・時間割編成において担当者の変更「ALEXANDER Cameron」
- ・時間割編成において担当者の変更「HARROLD Peter」
- ・時間割編成において担当者の変更「小田部 貴子」
- ・時間割編成において担当者の変更「小川 悠紀」
- ・時間割編成において担当者の変更「WITKIN Neil」
- ・時間割編成において担当者の変更「KUKHARUK Alexey」
- ・時間割編成において担当者の変更「CAPOBIANCO Paul」
- ・時間割編成において担当者の変更「BAKER Matthew」
- ・時間割編成において担当者の変更「Jonathan Shachter」
- ・時間割編成において担当者の変更「Lisa Barker」
- ・時間割編成において担当者の変更「Paul Matthews」
- ・時間割編成において担当者の変更「Samar Kassim」
- ・時間割編成において担当者の変更「大枝 和浩」
- ・時間割編成において担当者の変更「高田 芽味」
- ・時間割編成において担当者の変更「本山 清喬」
- ・時間割編成において担当者の変更「門田 理代子」
- ・時間割編成において担当者の変更「高山 和幸」
- ・時間割編成において担当者の変更「濱川 和洋」
- ・時間割編成において担当者の変更「阪田 俊輔」
- ・時間割編成において担当者の変更「豊田 直樹」
- ・時間割編成において担当者の変更「石元 みさと」
- ・時間割編成において担当者の変更「占部 匡美」
- ・時間割編成において担当者の変更「橋本 聖美」
- ・時間割編成において担当者の変更「森 元齋」
- ・時間割編成において担当者の変更「金坂 弥起」
- ・時間割編成において担当者の変更「樋渡 孝徳」
- ・時間割編成において担当者の変更「幸地 英理子」
- ・時間割編成において担当者の変更「岩崎 一恵」
- ・時間割編成において担当者の変更「鎌田 裕文」
- ・時間割編成において担当者の変更「小林 明子」
- ・時間割編成において担当者の変更「空井 由花」
- ・時間割編成において担当者の変更「松原 留美」
- ・時間割編成において担当者の変更「三瀬 亜紀」
- ・時間割編成において担当者の変更「宮本 なつき」
- ・時間割編成において担当者の変更「渡邊 晶子」
- ・時間割編成において担当者の変更「Adam Stone」
- ・時間割編成において担当者の変更「Samuel Taylor」
- ・時間割編成において担当者の変更「Stephen Farmer」
- ・時間割編成において担当者の変更「篠崎 元」
- ・時間割編成において担当者の変更「山本 洋一」
- ・時間割編成において担当者の変更「Ronald Reibert」
- ・時間割編成において担当者の変更「任 春江」
- ・時間割編成において担当者の変更「野母 倫子」
- ・時間割編成において担当者の変更「原田 裕里」
- ・時間割編成において担当者の変更「山本 崇代」
- ・時間割編成において担当者の変更「Plaut Se'bastien」
- ・時間割編成において担当者の変更「李 相穆」
- ・時間割編成において担当者の変更「申 鎭」
- ・時間割編成において担当者の変更「安 滯珠」
- ・時間割編成において担当者の変更「洪 鍾熙」
- ・時間割編成において担当者の変更「張 欣」
- ・時間割編成において担当者の変更「張 璐」
- ・時間割編成において担当者の変更「張 玲」
- ・時間割編成において担当者の変更「井料 佐紀子」
- ・時間割編成において担当者の変更「青木 志穂子」
- ・時間割編成において担当者の変更「松本 妙子」
- ・時間割編成において担当者の変更「保家 信太郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「才津 絢子」
- ・時間割編成において担当者の変更「蒲原 順子」

- ・時間割編成において担当者の変更 「隈部 歩」
- ・時間割編成において担当者の変更 「前屋敷 太郎」
- ・時間割編成において担当者の変更 「渡邊 裕子」
- ・時間割編成において担当者の変更 「谷岡 敏博」
- ・時間割編成において担当者の変更 「Aaron Gibson」
- ・時間割編成において担当者の変更 「Kevin White」
- ・時間割編成において担当者の変更 「Shane Shallless」
- ・時間割編成において担当者の変更 「コ克蘭 由美子」
- ・時間割編成において担当者の変更 「Laurie Griffiths」
- ・時間割編成において担当者の変更 「Alexander Rykers」
- ・時間割編成において担当者の変更 「Christian Mercado」
- ・時間割編成において担当者の変更 「金子 賢治」
- ・時間割編成において担当者の変更 「Martin Nutt」
- ・時間割編成において担当者の変更 「伊東 沙織」
- ・時間割編成において担当者の変更 「Torres Bernard」
- ・時間割編成において担当者の変更 「ガ'ド' U'ン フヒ'ア'ン」
- ・時間割編成において担当者の変更 「白岩 美穂」
- ・時間割編成において担当者の変更 「塩田 寿美子」
- ・時間割編成において担当者の変更 「立花 奈央」
- ・時間割編成において担当者の変更 「満生 洋子」
- ・時間割編成において担当者の変更 「姚 瑤」
- ・時間割編成において担当者の変更 「香月 智恵」
- ・時間割編成において担当者の変更 「竹下 直子」
- ・時間割編成において担当者の変更 「山本 浩二」
- ・時間割編成において担当者の変更 「張 玲」
- ・時間割編成において担当者の変更 「池田 静香」
- ・時間割編成において担当者の変更 「蛭沼 芽衣」
- ・時間割編成において担当者の変更 「天野 ひろみ」
- ・時間割編成において担当者の変更 「鈴木 由佳」
- ・時間割編成において担当者の変更 「大谷 美咲」
- ・時間割編成において担当者の変更 「鎌田 厚志」
- ・時間割編成において担当者の変更 「佐藤 岳詩」
- ・時間割編成において担当者の変更 「岩崎 華奈子」
- ・時間割編成において担当者の変更 「中村 昌広」
- ・時間割編成において担当者の変更 「秋田 寛子」
- ・時間割編成において担当者の変更 「川野 祐二」
- ・時間割編成において担当者の変更 「山本 幸治」
- ・時間割編成において担当者の変更 「角田 佳充」
- ・時間割編成において担当者の変更 「野藤 妙」
- ・時間割編成において担当者の変更 「田島 健太郎」
- ・時間割編成において担当者の変更 「早瀬 沙織」
- ・時間割編成において担当者の変更 「松崎 徹」
- ・時間割編成において担当者の変更 「松下 紗耶」
- ・時間割編成において担当者の変更 「横尾 聡子」
- ・時間割編成において担当者の変更 「幸山 智子」
- ・時間割編成において担当者の変更 「Jean Ware」
- ・時間割編成において担当者の変更 「Joseph McInnis」
- ・時間割編成において担当者の変更 「Linda Joyce」
- ・時間割編成において担当者の変更 「Manuel Senna IV」
- ・時間割編成において担当者の変更 「Raymond Stubbe」
- ・時間割編成において担当者の変更 「Steven Apotheker」
- ・時間割編成において担当者の変更 「Suzy Connor」
- ・時間割編成において担当者の変更 「Timothy Pritchard」
- ・時間割編成において担当者の変更 「内田 (臼井) るり」
- ・時間割編成において担当者の変更 「脇 崇晴」
- ・時間割編成において担当者の変更 「赤木 祐美子」
- ・時間割編成において担当者の変更 「高木 信宏」
- ・時間割編成において担当者の変更 「柳 基憲」
- ・時間割編成において担当者の変更 「文 芝瑛」
- ・時間割編成において担当者の変更 「宋 宥佳」
- ・時間割編成において担当者の変更 「増田 正彦」

【令和元年度】

- ・時間割編成において担当者の変更「織田 一弘」
- ・退職に伴う担当者の変更「金子 和也」
- ・時間割編成において担当者の変更「竹下 達也」
- ・時間割編成において担当者の変更「鷹野 重之」
- ・時間割編成において担当者の変更「鷹野 重之」
- ・時間割編成において担当者の変更「長須 正明」
- ・時間割編成において担当者の変更「田中 靖人」
- ・昇任に伴う職名の変更「横田 雅紀」
- ・時間割編成において担当者の変更「末松 安由美」
- ・時間割編成において担当者の変更「原田 克彦」
- ・時間割編成において担当者の変更「小倉 弘毅」
- ・時間割編成において担当者の変更「南部 幸久」
- ・時間割編成において担当者の変更「田島 大介」
- ・時間割編成において担当者の変更「中條 大介」
- ・時間割編成において担当者の変更「入江 洋右」
- ・時間割編成において担当者の変更「石橋 睦」
- ・時間割編成において担当者の変更「花元 誠一」
- ・時間割編成において担当者の変更「一政 遼太郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「牧原 義一」
- ・時間割編成において担当者の変更「乾 弘幸」
- ・時間割編成において担当者の変更「秋山 優」
- ・時間割編成において担当者の変更「高橋 公忠」
- ・時間割編成において担当者の変更「田中 靖人」
- ・時間割編成において担当者の変更「梶原 茂正」
- ・時間割編成において担当者の変更「小林 繁夫」
- ・時間割編成において担当者の変更「中原 由木子」
- ・時間割編成において担当者の変更「村谷 博美」
- ・時間割編成において担当者の変更「呉 紅華」
- ・時間割編成において担当者の変更「森 英一」
- ・時間割編成において担当者の変更「千 相哲」
- ・時間割編成において担当者の変更「宗像 優」
- ・時間割編成において担当者の変更「佐野 彰」
- ・時間割編成において担当者の変更「木村 俊夫」
- ・時間割編成において担当者の変更「河野 賢司」
- ・時間割編成において担当者の変更「垣迫 裕俊」
- ・時間割編成において担当者の変更「片桐 康宏」
- ・時間割編成において担当者の変更「和田 勉」
- ・時間割編成において担当者の変更「森(田口) 誠子」
- ・時間割編成において担当者の変更「安達 隆博」
- ・時間割編成において担当者の変更「大菌 修一」
- ・時間割編成において担当者の変更「長谷川 由起子」
- ・時間割編成において担当者の変更「木村 隆之」
- ・時間割編成において担当者の変更「酒井 一臣」
- ・時間割編成において担当者の変更「吉田 公子」
- ・時間割編成において担当者の変更「脇 夕希子」
- ・時間割編成において担当者の変更「李 泰勳」
- ・時間割編成において担当者の変更「田中 真理」
- ・時間割編成において担当者の変更「林 政喜」
- ・時間割編成において担当者の変更「宮内 紀子」
- ・昇任に伴う職名の変更「安陪 大治郎」
- ・時間割編成において担当者の変更「JEFFREY Stewart」
- ・時間割編成において担当者の変更「NICHOLAS Bovee」
- ・時間割編成において担当者の変更「ANDREW Thompson」
- ・時間割編成において担当者の変更「武内 梓朗」
- ・時間割編成において担当者の変更「NAGASHIMA Lyndell」
- ・時間割編成において担当者の変更「GALLACHER Andrew」
- ・時間割編成において担当者の変更「JOHNSON David」
- ・時間割編成において担当者の変更「ALEXANDER Cameron」
- ・時間割編成において担当者の変更「HARROLD Peter」
- ・時間割編成において担当者の変更「小川 悠紀」
- ・時間割編成において担当者の変更「WITKIN Neil」
- ・時間割編成において担当者の変更「KUKHARUK Alexey」
- ・時間割編成において担当者の変更「CAPOBIANCO Paul」
- ・時間割編成において担当者の変更「Lisa Barker」
- ・時間割編成において担当者の変更「Paul Matthews」
- ・時間割編成において担当者の変更「Samar Kassim」
- ・時間割編成において担当者の変更「門田 理代子」
- ・時間割編成において担当者の変更「高山 和幸」
- ・時間割編成において担当者の変更「中世古 貴彦」
- ・時間割編成において担当者の変更「Arron Passmore」
- ・時間割編成において担当者の変更「Michael McAuliffe」
- ・時間割編成において担当者の変更「Tomas Kos」
- ・時間割編成において担当者の変更「高田 芽味」
- ・時間割編成において担当者の変更「荒木 雪葉」
- ・時間割編成において担当者の変更「石元 みさと」
- ・時間割編成において担当者の変更「宇都 義和」
- ・時間割編成において担当者の変更「宮野 真生子」
- ・時間割編成において担当者の変更「森 元齋」
- ・時間割編成において担当者の変更「倉田 剛」
- ・時間割編成において担当者の変更「松島 綾美」
- ・時間割編成において担当者の変更「中村 大輔」
- ・時間割編成において担当者の変更「石坂 元一」
- ・時間割編成において担当者の変更「杉崎 裕子」
- ・時間割編成において担当者の変更「大塚 正純」
- ・時間割編成において担当者の変更「岩崎 一恵」
- ・時間割編成において担当者の変更「鎌田 裕文」
- ・時間割編成において担当者の変更「河野 世莉奈」
- ・時間割編成において担当者の変更「小林 明子」
- ・時間割編成において担当者の変更「淵上 啓子」
- ・時間割編成において担当者の変更「大場 智恵子」
- ・時間割編成において担当者の変更「渡邊 晶子」
- ・時間割編成において担当者の変更「Adam Stone」
- ・時間割編成において担当者の変更「Zachary Robertson」
- ・時間割編成において担当者の変更「Samuel Taylor」
- ・時間割編成において担当者の変更「Laura-Mae Noma」
- ・時間割編成において担当者の変更「Mason Lampert」
- ・時間割編成において担当者の変更「Robert Preslar」

・時間割編成において担当者の変更「山本 崇代」  
 ・時間割編成において担当者の変更「李 相穆」  
 ・時間割編成において担当者の変更「申 鎬」  
 ・時間割編成において担当者の変更「安 滯珠」  
 ・時間割編成において担当者の変更「張 允慶」  
 ・時間割編成において担当者の変更「洪 鍾禧」  
 ・時間割編成において担当者の変更「水本 敬子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「井料 佐紀子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「藤田 恵里子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「青木 志穂子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「松本 妙子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「波多野 真理子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「福田 尚法」  
 ・時間割編成において担当者の変更「江藤 宏」  
 ・時間割編成において担当者の変更「西 貴倫」  
 ・時間割編成において担当者の変更「隈部 歩」  
 ・時間割編成において担当者の変更「渡邊 裕子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「谷岡 敏博」  
 ・時間割編成において担当者の変更「コクラン 由美子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「金子 賢治」  
 ・時間割編成において担当者の変更「伊東 沙織」  
 ・時間割編成において担当者の変更「木下 樹親」  
 ・時間割編成において担当者の変更「Torres Bernard」  
 ・時間割編成において担当者の変更「ガト' ヲン フビ' ア」  
 ・時間割編成において担当者の変更「朴 永奎」  
 ・時間割編成において担当者の変更「塩田 寿美子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「立花 奈央」  
 ・時間割編成において担当者の変更「満生 洋子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「姚 瑤」  
 ・時間割編成において担当者の変更「香月 智恵」  
 ・時間割編成において担当者の変更「竹下 直子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「天野 ひろみ」  
 ・時間割編成において担当者の変更「鈴木 由佳」  
 ・時間割編成において担当者の変更「岩崎 華奈子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「川野 祐二」  
 ・時間割編成において担当者の変更「山本 幸治」  
 ・時間割編成において担当者の変更「野藤 妙」  
 ・時間割編成において担当者の変更「早瀬 沙織」  
 ・時間割編成において担当者の変更「松下 紗耶」  
 ・時間割編成において担当者の変更「Manuel Senna IV」  
 ・時間割編成において担当者の変更「内田 (臼井) るり」  
 ・時間割編成において担当者の変更「赤木 祐美子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「高木 信宏」  
 ・時間割編成において担当者の変更「柳 基憲」  
 ・時間割編成において担当者の変更「文 芝瑛」  
 ・時間割編成において担当者の変更「増田 正彦」  
 ・時間割編成において担当者の変更「飯嶋 裕治」  
 ・時間割編成において担当者の変更「井上 法久」  
 ・時間割編成において担当者の変更「國越 道貞」  
 ・時間割編成において担当者の変更「塩盛 俊明」  
 ・時間割編成において担当者の変更「西谷 郁」  
 ・時間割編成において担当者の変更「樋口 和美」  
 ・時間割編成において担当者の変更「松木 俊暁」  
 ・時間割編成において担当者の変更「宮崎 真佐也」  
 ・時間割編成において担当者の変更「村山 実和子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「安居 誠」  
 ・時間割編成において担当者の変更「矢野 太一」  
 ・時間割編成において担当者の変更「秦浦 知仁」  
 ・時間割編成において担当者の変更「城戸 浩章」  
 ・時間割編成において担当者の変更「鈴木 裕介」  
 ・時間割編成において担当者の変更「Dragana Lazic」  
 ・時間割編成において担当者の変更「Katharina Barkley」  
 ・時間割編成において担当者の変更「Nicolas Emerson」  
 ・時間割編成において担当者の変更「Shane Minter」  
 ・時間割編成において担当者の変更「海村 佳惟」  
 ・時間割編成において担当者の変更「朴 熙成」  
 ・時間割編成において担当者の変更「矢ヶ部 あかり」  
 ・時間割編成において担当者の変更「金 活蘭」  
 ・時間割編成において担当者の変更「山口 晋平」  
 ・時間割編成において担当者の変更「清永 克己」  
 ・時間割編成において担当者の変更「中村 公泰」  
 ・時間割編成において担当者の変更「渡部 明子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「富田 裕」  
 ・時間割編成において担当者の変更「富岡 美穂」  
 ・時間割編成において担当者の変更「平川 公子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「後藤 典子」  
 ・時間割編成において担当者の変更「柴藤 絵美」

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、  
 大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
9 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
5	5	1	0	11	7	4	1	0	12
(6)	(4)	(1)	(0)	(11)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
7	4	1	0	12	7	4	1	0	12
[ 2 ]	[ Δ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 2 ]	[ Δ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 1 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
教授 70/66 准教授 64 講師 64 助教 60	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{12}{11} = \boxed{109.09} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし									
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし									
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	金子 和也	選択	基礎ゼミナール	①	H31.3.31付け66歳で定年退職(元)				
			必修	基礎物理	①					
			選択	物理学Ⅰ	①					
			必修	物理実験	①					
			選択	物理学Ⅱ	①					
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 専任教員の定年に伴う退職にあたり、予定していた後任補充を行い学生への影響が出ないように対応した。</p> <p>「学生への周知方法」 授業開始前に対応が完了しており、特に混乱はない。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>設 置 時 ( 2 8 年 )</p>	<p>・芸術学部ビジュアルデザイン学科の入学定員超過の是正に努めること。</p> <p>・商学部第二部商学科、芸術学部生活環境デザイン学科及びソーシャルデザイン学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>・芸術学部ビジュアルデザイン学科の入学定員超過の是正に努め、平成29年度は入学定員75名に対し入学者は80名となった。その結果、入学定員超過率は1.07倍となり、平成29年度平均定員超過率は、1.23倍と是正されている。(29)</p> <p>①商学部第二部商学科定員充足率が数年来0.7倍未満となっていることから、教育改革や様々な入試制度改革を行いながら定員の確保に努めてきたが、社会的な需要等を含め、定員充足には至っていない。そこで、当該学部を含む「文系領域」全体の再構築を検討する中で、新たに届出により「商学部」及び「地域共創学部」を設置することとし、商学部第二部商学科は、平成30年度から学生募集を停止する。(29)</p> <p>②芸術学部生活環境デザイン学科 ③芸術学部ソーシャルデザイン学科</p> <p>芸術学部については、従来の3学科体制から、学科の学びの対象を整理し、高校生にわかり易く再配置するとともに社会の需要に合わせた新規の領域を加え、平成28年4月から5学科体制とした。</p> <p>しかしながら、学部全体の定員充足率は改組前に比して著しく向上したものの、上記の2学科については、改組の意図や学びの領域の新設等が受験生に浸透できなかったため、定員を満たすことが出来なかった。このような結果に至った原因を点検・検証し、今後は改善策を講じた上で学生募集を行い、確実に入学定員を充足できるように務める。(29)</p>	<p>左記同様、定員を満たすことが出来なかった原因を点検・検証し、今後は改善策を講じた上で学生募集を行い、確実に入学定員を充足できるように務める。(29)</p> <p>履行中</p>

<p>設置計画履行状況 調査時 (30年)</p>	<p>芸術学部生活環境デザイン学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> <p>芸術学部ソーシャルデザイン学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>芸術学部については、従来の3学科体制から、学科の学びの対象を整理し、高校生にわかり易く再配置するとともに社会の需要に合わせた新規の領域を加え、平成28年4月から5学科体制とした。</p> <p>しかしながら、学部全体の定員充足率は改組前に比して著しく向上したものの、生活環境デザイン学科及びソーシャルデザイン学科の2学科については、改組の意図や学びの領域の新設等が受験生に浸透できなかったため、定員を満たすことが出来なかった。このような結果に至った原因を点検・検証し、今後は改善策を講じた上で学生募集を行い、確実に入学定員を充足できるように務める。(30)</p> <p>当該学部を含む「文系領域」全体の再構築を行い、新たに届出により「商学部」及び「地域共創学部」を平成30年度から設置したことに伴い、商学部第二部商学科は、同年度から学生募集を停止した。(30)</p>	<p>履行中</p> <p>履行済</p>	<p>左記同様、定員を満たすことが出来なかった原因を点検・検証し、今後は改善策を講じた上で学生募集を行い、確実に入学定員を充足できるように務める。(30)</p>
<p>設置計画履行状況 調査時 (31年)</p>	<p>・入学定員未充足の改善に努めること。(芸術学部生活環境デザイン学科)</p>	<p>指摘事項(改善)</p>	<p>芸術学部については、従来の3学科体制から、学科の学びの対象を整理し、高校生にわかり易く再配置するとともに社会の需要に合わせた新規の領域を加え、平成28年4月から5学科体制とした。</p> <p>しかしながら、学部全体の定員充足率は改組前に比して著しく向上したものの、生活環境デザイン学科については、入学初年度からの定員未充足という実績を踏まえ、高校訪問やオープンキャンパス等において学生募集の強化を図った。その結果として、開設初年度からは大きく入学者数の改善は見られるが、いまだ定員の充足するには至っていない。</p> <p>来年度は、学科開設からの志願者状況等を改めて検証し、更なる学生募集活動の強化を図った上で確実に定員を充足できるよう努める。(元)</p>	<p>履行中</p>	<p>左記同様、定員を満たすことが出来なかった原因を点検・検証し、今後は改善策を講じた上で学生募集を行い、確実に入学定員を充足できるように務める。(元)</p>

<p>設置計画履行状況 調査時 (31年)</p>	<p>・入学定員未充足の改善に努めること。(芸術学部ソーシャルデザイン学科)</p>	<p>指摘事項 (改善)</p>	<p>芸術学部については、従来の3学科体制から、学科の学びの対象を整理し、高校生にわかり易く再配置するとともに社会の需要に合わせた新規の領域を加え、平成28年4月から5学科体制とした。 しかしながら、学部全体の定員充足率は改組前に比して著しく向上したものの、日本初の学科として設置したソーシャルデザイン学科については、学びの特色や教育内容等について高校生等に浸透できなかったため、開設3年間は定員を充足することができなかった。この結果を踏まえて、改めて高校訪問やオープンキャンパス等による学生募集等の強化を図り、学科の特色等について積極的に高校生等に説明する取り組みを行った。 これらの取り組みにより、平成31年度は志願者も増加し、定員を充足することができたため、今後も引き続き学生募集等の強化を図り、継続して定員を確保できるよう努める。(元)</p>	<p>履行済</p>	
-----------------------------------	--	----------------------	--	------------	--

<p>設置計画履行状況 調査時 (31年)</p>	<p>・入学定員未充足の改善に努めること。(人間科学部子ども教育学科)</p>	<p>指摘事項 (改善)</p>	<p>人間科学部子ども教育学科は、「人間の尊重」を基本理念に、乳幼児期(こども)からの人間の成長及び発達過程を「こころ」と「からだ」の両面から多角的かつ科学的に探究し、「人を支える人」を育て、地域社会に貢献できる人材を養成することを目的として、平成30年度から発足した。 しかしながら、開設初年度においては、学びの特色や教育内容等について高校生等に浸透できなかったため、定員を確保することができなかった。 この結果を踏まえ、改めて高校訪問やオープンキャンパス等の学生募集の強化を図り、学科の特色等について積極的に高校生等に説明する取り組みを行った。 また、開設と同時期に完成した子ども教育学科の実習施設等、オープンキャンパス等を通して広く高校生等に紹介することにより、入学後の学習に対するイメージの向上を図った。 これらの取り組みにより、平成31年度は定員を充足することができたため、今後も引き続き学生募集の強化を図り、継続して定員を確保できるよう努める。 (元)</p>	<p>履行済</p>	
-----------------------------------	---	----------------------	--	------------	--

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<理工学部 電気工学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

- ・ファカルティ・ディベロップメント委員会（以下「FD委員会」という。）
- ・FD委員会学部専門部会

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・FD委員会 年5回 構成員20人 [2018年度実績]
- ・FD委員会学部専門部会 年1回 構成員14人 [2018年度実績]
  
- ・FD委員会 年3回 構成員21人 (FD専任教員1人を含む) [2019年度予定]
- ・FD委員会学部専門部会 年1回 構成員14人 [2019年度予定]

##### c 委員会の審議事項等

##### FD委員会

- ・授業及び研究指導改善のための基本方針の策定に関する事項
- ・研修会及び講習会の開催に関する事項
- ・教員の授業及び研究指導の内容・方法についての相互研鑽に関する事項
- ・学生による授業及び研究指導の評価に関する事項
- ・学生の学力育成と能力向上に関する事項
- ・学部間、学科間及び研究科間、専攻間の履修制度の整備及び授業科目の開発・支援に関する事項
- ・その他、委員会が必要と認めた事項

##### 理工学部FD委員会

- ・FD実施計画書及び実施報告書に関する事項  
（項目：公開授業、授業研究会、授業アンケート、産学懇談会、卒業時アンケート）

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

- ・授業アンケート
- ・FD研修会
- ・公開授業
- ・授業情報交換会（FDセミナー等）
- ・教員による授業改善報告書（全専任教員がその情報（抽出したもの）を共有し授業改善に有効に活用）
- ・1年次生へのアンケート
- ・シラバス第三者チェック
- ・学外FDフォーラム等研修会への参加 等

#### 理工学部FD委員会

- ・公開授業（教員相互の授業参観）
- ・学科別授業研究会（教育効果の点検評価）
- ・理工学部授業研究会（学科横断科目等についての情報共有）
- ・FD活動報告書、FD活動計画書
- ・産学懇談会
- ・卒業時アンケート

#### b 実施方法

- ・授業アンケート（マークシート自由記述併用）  
前学期は7月、後学期は12月～1月に在籍学生全員を対象に実施  
全専任教員・非常勤講師対象。
- ・FD研修会（講義方式、パネルディスカッション方式、質疑応答）
- ・公開授業  
学部で作成した計画に基づき実施。公開授業参観者のアンケート提出。各学部で授業研究会を実施。
- ・授業情報交換会（FDセミナー等）  
授業実施方法の工夫・改善に関する事例発表及び意見・情報交換
- ・1年次生へのアンケート（マークシート・自由記述併用）  
1年次生全員を対象に6月に実施（アンケート結果は全教職員が情報を共有し活用）
- ・シラバス第三者チェック  
専門科目は学部、基礎教育科目・外国語科目は基盤教育委員会においてシラバスの第三者チェックを実施  
学部長等から当該教員に対し修正依頼  
学部長等からFD委員会委員長（学長）へ結果報告  
理工学部FDの実施方法は次のとおりである。
- ・公開授業（教員相互の授業参観）
- ・学科別授業研究会（教育効果の点検評価）  
学科毎に、授業研究会を開催し、継続的に教育効果の点検評価を実施する。  
公開授業参観者アンケートについての意見交換も行う。
- ・理工学部授業研究会（学科横断科目等についての情報共有）  
各学科から前年度の学科別授業研究会の報告を行う。  
学科横断科目等についての情報共有を行う。  
他学部等教員の参加希望があれば受け入れる。
- ・FD活動報告書、FD活動計画書
- ・産学懇談会（学科により年1回開催または前期後期各1回実施。地場の企業を招き、授業視察、意見交換会を実施する）
- ・卒業時アンケート（Webにて入力させる）

#### c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・全学FD研修会（年2回開催予定）
- ・公開授業（学部で作成した計画に基づき実施予定）
- ・授業研究会（学部で作成した計画に基づき実施予定）
- ・授業情報交換会（授業実施の方法の工夫・改善に関する事例及び出席者との意見・情報交換等）  
（年1回予定）  
理工学部FDの開催状況は次のとおりである。
- ・公開授業（教員相互の授業参観） 全教員が公開授業科目と公開日を指定し、実施する。
- ・学科別授業研究会（教育効果の点検評価） 各学期末の各1回開催予定。
- ・理工学部授業研究会（学科横断科目等についての情報共有） 前期1回開催予定。
- ・産学懇談会（学科により年1回開催または各学期1回の実施）
- ・卒業時アンケート（3月に実施予定）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業アンケート結果は、各教員に授業アンケート集計結果を配付し、各々が授業改善・授業方法の工夫等に鋭意取り組んでいる。加えて、教員のみならず、学生へのフィードバックや社会への公表のため、ホームページで公表している。

理工学部FD活動結果を踏まえた授業改善への取り組み状況は次のとおりである。

- ・ 公開授業  
参観アンケートの結果を参考に、担当科目の検証・改善を行っている。
- ・ 学科別授業研究会  
授業研究会で意見交換される学生の状況や教育方法等の事例を参考に担当科目の検証・改善を行っている。
- ・ 理工学部授業研究会  
学科別授業研究会の報告を基に担当科目の検証・改善を行っている。
- ・ 産学懇談会  
企業との懇談会で出された意見を参考に、授業内容や授業方法の検証・改善を行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 授業アンケートを実施。実施時期：（前学期：7月、後学期：12月～1月を予定）年2回

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 大学ホームページ上に公開している。（過去5カ年分掲載）
- ・ 各教員にアンケート集計結果を配付している。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）



(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

理工学部は、親和性の高い情報科学と機械工学、電気工学の融合による「情報メカトロニクス」という九州地域の産業を支えている学術領域を中心とした「教育研究」、「人材養成」、「地域貢献」を学部の特色としている。平成31年度の理工学部の入学者数は下表のように定員370名に対して374名となった。定員に対して4名のプラスとなった。また、情報科学科の第2志望者を機械工学科、電気工学科で数名受け入れられたことは、理工学部がわかりやすい学科構成、地域社会に貢献しやすい学術領域となっていることの表れと評価できる。今後は、学科独自の特色を出し、学部全体でもロボットや人工知能などの複合領域における研究のアウトプットを推進し、社会貢献を積極的に進めていくとともに情宣活動にも注力していく。

〈H31入試結果〉	定員	入学者	定員に対する入学者の比率
理工学部	370	374	1.010
情報科学科	140	146	1.042
機械工学科	130	124	0.953
電気工学科	100	104	1.040

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・2018年度自己点検・評価報告書 2019年5月

b 公表方法

・ホームページ上で公表（過去5カ年分掲載）。

③ 認証評価を受ける計画

・2019年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の大学評価を受審

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （  有  無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年5月31日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

## ファカルティ・ディベロップメント委員会規程（大学）

### （趣旨）

第1条 この規程は、九州産業大学の学部及び大学院の授業内容及び方法の改善を図ることを目的として設置するファカルティ・ディベロップメント委員会（以下「委員会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

### （任務）

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項の推進を図ることを任務とする。

- (1) 授業及び研究指導改善のための基本方針の策定に関する事項
- (2) 研修会及び講習会の開催に関する事項
- (3) 教員の授業及び研究指導の内容・方法についての相互研鑽に関する事項
- (4) 学生による授業及び研究指導の評価に関する事項
- (5) 学生の学力育成と能力向上に関する事項
- (6) 学部間、学科間及び研究科間、専攻間の履修制度の整備及び授業科目の開発・支援に関する事項
- (7) その他、委員会が必要と認めた事項

### （構成）

第3条 委員会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 各学部長
- (4) 各研究科長
- (5) 健康・スポーツ科学センター所長
- (6) 教務部長
- (7) 語学教育研究センター所長
- (8) 基礎教育センター所長
- (9) 教職課程主任
- (10) 委員長が指名する専任教員
- (11) 事務局長

### （委員長及び副委員長）

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、学長をもって充て、副委員長は副学長をもって充てる。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

### （会議）

第5条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員の3分の2以上の出席によって成立する。
- 3 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決定し、可否同数のときは、議長が決定する。
- 4 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を委員会に出席させることができる。

### （専門部会）

第6条 委員会の任務を円滑に遂行するために、委員会の下に学部専門部会及び大学院専門部会を置

く。

2 専門部会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第7条 委員会の事務は、大学評価室が行う。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、学長が協議会の意見を聴取した上で行う。

附 則

- 1 この規程は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 九州産業大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程は、廃止する。
- 3 九州産業大学大学院ファカルティ・ディベロップメント委員会規程は、廃止する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

## ファカルティ・ディベロップメント委員会学部専門部会運営要領

### (趣旨)

第1条 この要領は、ファカルティ・ディベロップメント委員会規程（大学）（以下「規程」という。）第6条第2項の規定に基づき、学部専門部会（以下「専門部会」という。）の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

### (任務)

第2条 専門部会は、ファカルティ・ディベロップメント委員会委員長の諮問に応じ、規程第2条に関する事項を協議し、委員長に答申することを任務とする。

### (構成)

第3条 専門部会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

- (1) 教務部長
- (2) 各学部、健康・スポーツ科学センター及び基礎教育センターから選出された専任教員各1名
- (3) 教職課程専任教員1名
- (4) 教務部事務部長

### (部会長及び副部会長)

第4条 専門部会に部会長及び副部会長各1名を置く。

- 2 部会長は、教務部長をもって充てる。
- 3 副部会長は、委員の中から部会長が指名する。
- 4 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときは、その職務を代行する。

### (会議)

第5条 専門部会は、部会長が招集し、その議長となる。

- 2 専門部会は、委員の3分の2以上の出席により成立する。
- 3 専門部会の議事は、出席委員の過半数をもって決定し、可否同数のときは、議長が決定する。
- 4 部会長が必要と認めたときは、委員以外の者に出席を求め、意見を聞くことができる。

### (事務)

第6条 専門部会の事務は、大学評価室が行う。

### (改廃)

第7条 この要領の改廃は、学長がファカルティ・ディベロップメント委員会の意見を聴取した上で行う。

### 附 則

この要領は、平成18年4月1日から施行する。

### 附 則

この要領は、平成19年4月1日から施行する。

### 附 則

この要領は、平成27年4月1日から施行する。

### 附 則

この要領は、平成31年4月1日から施行する。